

会長のページ 常在戦場	秦 喜八郎	3
日州医談 卒後臨床研修必修化と指導医	浜田 恵亮	4
はまゆう随筆(その2)		6
尾崎 峯生, 前田 資雄, 山下 博, 上田 孝, 宮田 典男 寺本 仁郎, 福富 アツ, 森山英五郎, 白尾 一定, 坂田 師隣		
エコー・リレー(348)	高山 修二, 上野 尚美	15
グリーンページ 骨太の方針2004	志多 武彦	19
宮崎大学医学部だより(内科学第三講座)	塩見 一剛	30
診療メモ(非アルコール性脂肪性肝炎)	楠元 寿典, 林 克裕	73
私 の 本 戦争と人間	谷口 二郎	75
宮崎県感染症発生動向		16
表彰・祝賀		18
各都市医師会だより(児湯医師会, 西都市・西児湯医師会)		26
各種委員会(医学会誌編集委員会, 救急医療委員会)		31
第1回各都市医師会長協議会		33
第136回宮崎県医師会定例代議員会(概要)		36
第15回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会		40
宮崎県医師会互助会定時評議員会		42
平成16年度第59回宮崎県医師会定例総会, 第54回宮崎県医師会互助会総会		43
薬事情報センターだより(208) アンジオテンシン受容体拮抗薬		49
日医 FAX ニュースから		50
医事紛争情報		52
理事会日誌		54
県医の動き		59
追悼のことば		60
会員消息		61
ドクターバンク情報		63
ベストセラー		64
医師協同組合だより		65
行事予定		67
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		69
おしえて!ドクター 健康耳寄り相談室		76
読者の広場		78
あとがき		84
~~~~~		
ご案内 第5回宮崎県医師会医家芸術展		32
お知らせ 第20回参議院議員選挙の結果について		25
郡市医師会への送付文書		82

## 医師の誓い

人の生命を尊重し、これを救い、更に健康増進に寄与するは、医師たる職業の貴い使命である。

人の生命を至上のものとし、如何なる強圧に遇うとも人道に反した目的のために医学の知識を乱用せず、絶えず医学の研鑽と医術の練成に励み、細心の注意と良心に従って医を行う。

社会の倫理にもとらず、不正の利を追わず、病を追ひ、病を究め、病める人を癒し、同僚相睦び相携えて、医学の名誉と伝統を保持することを誓う。

## 宮崎県医師会

(昭和50年 8 月26日制定)

〔表紙写真〕

### 一瞬の美

大淀河畔，ホテル街の夏の夜まつりで打ち上げられる花火は借景の美しさから格別に引き立ちます。

この花火は撮影時に息を止める程にとても素晴らしい光の花でした。

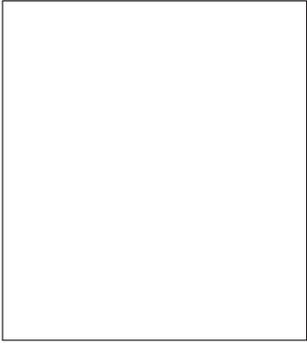
今夏も一瞬の美に挑戦したいと思っています。

宮崎市 井ノ口 信子

## 会長のページ

## 常在戦場

秦 喜 八 郎



西島選挙(参院選)に明け暮れた新年度でした。選挙期間中、「李下に冠を正さず」で一切の会議を飲食禁止にしました。全く関係ない会議の先生方にも御迷惑をかけました。7月27日(火)に県医連の総括を行いました。自民逆風下に5位当選を果たし面目を保った、前回の武見選挙で16位であった本県が今回全国2位に躍進したのは多とすべき、との見解がありました。他方、竹中票に遥かに及ばなかったのは全面敗北である、医療制度改革の未来は暗い、とする意見もありました。

反省すべきは二点であると思います。執行部が普段どれだけ会員とのコミュニケーションをはかっているか。医師会員が日常的にどれだけ従業員や患者さんを含めた地域住民とのかかわりあいを持っているか。細かい戦術論的な検討はあるにせよ、いかに周りの人々を大切にしているか、日常の生きざまにおいて「努力に憾みなかりしか」が問われたと思います。地域共生の理念をかかげて7年目になります。羊頭狗肉に墮しているのではないかと自省しています。

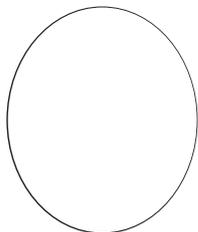
選挙の争点にもなりましたが、年金制度を含む安全安心の社会保障制度の構築、イラク派兵の是非も踏まえた憲法第9条改正問題、これらは此の国の姿はどうあるべきか、21世紀の日本の針路をどうするかの本根に関わる問題です。徹底して議論すべき時が来ています。

「骨太の方針2004」を踏まえた来年度の予算概算要求基準(シーリング)が明らかにされています(7/16日経新聞)。社会保障費自然増1兆800億のうち2,200億削減に、財務省・厚労省が合意したと報道されています(7/28朝日新聞)。労使から委員の出ている政府の「社会保障の在り方に関する懇談会」の動向も要注意です。今後のスケジュールとして2004年度は介護保険の見直し、2006年までに新高齢者医療制度、診療報酬体系の見直しを含む医療制度抜本改革法案の提出が予定されています。

これからの2年間、常在戦場の覚悟を新たにして、県民の皆様方とともに進んでまいりたいと思います。(H16.7.28)

さるすべり どこで咲く 戦火のない銀河 (前原 東作)

## 日州医談



## 卒後臨床研修必修化と指導医

常任理事 浜 田 恵 亮

医師としての人格を涵養すること、プライマリ・ケアへの理解を高め患者を全人的に診ることができる基本的な診療能力を修得すること、指導體制を充実し研修に専念できる環境を整備することなどを基本的な考え方とした新しい医師臨床研修制度が今春から導入された。研修プログラム、研修施設マッチング、研修医の処遇、医療機関の役割などが新制度を理解する上で重要であるが、プライマリ・ケア重視の方針が打ち出されていることに注目したい。特定機能化された大学病院や国立病院ではプライマリ・ケアの実習は困難であるとされ、離島・僻地、診療所、中小病院、保健所、老人施設などでの保健、医療の経験が研修プログラムとして想定されている。言い換えれば臨床研修の一部は地域医療に依存して実施される。そのために日本医師会員にも研修医の教育を担当する機会が生じ、指導医としての教育能力や教育技法を身につけることが必要になる。

日本医師会は指導医の臨床研修における教育能力を高めるために「卒前臨床実習および卒後臨床研修指導医のための教育ワークショップ」(指導医のための教育ワークショップと略)を開催している。夏田常任理事(地域医療担当)はすでに日本医師会主催の「指導医のための教育ワークショップ」への参加を終えているが、浜田(学術・生涯教育担当)は第4回のワークショップ(平成16年5月22日～23日、晴海グランドホテル、定員30名)に参加した。延べ16時間におよぶ合宿形式の

ワークショップは、「試験問題の難易度とは、受験生の何%が正解したかという数字で表される」ことは正しいか、誤りかといったようなプリテストで始まった。ワークショップのテーマは、「医学生および研修医に対し適切な医学教育を推進するために、教育への関心を深め、望ましいカリキュラムを理解し、実践する能力を身につける」ための「カリキュラムプランニング」であり、作業は個人またはグループ、全体講義、全体討論の形式で進んだ。プログラムの大まかな内容は以下の通りである。

## 第1日

## プリテスト

## ワークショップとは

## グループ作業1 臨床研修の問題点

KJ法

発表・討論

## カリキュラムとは

## グループ作業2 学習目標

学習目標とは

ユニットの選択

学習目標作成

発表・討論

## グループ作業3 学習方略

学習方略とは

学習方略作成

night session 指導医のあり方

第1日目の評価記入

## 第2日

振り返り

グループ作業3 学習方略(続)  
発表・討論

グループ作業4 教育評価  
ブレ教育評価演習  
教育評価とは( )  
教育評価作成  
発表・討論

OSCEについて

教育評価とは( )

グループ作業5 臨床研修の問題点への  
対応  
二次元展開法  
問題解決作業  
発表・討論

総括：医師会における医学教育の役割  
(W .オスラー)

ポストテスト

参加者コメント

修了証授与

学習(研修)を行うには、目標の設定を行い、  
種々の資源を用いて目標に到達するための方略  
を考え、学習の過程における成果の判断(評価)  
を行うプロセスがあり、学習者が教育目標に到  
達するための計画書が「カリキュラム」である。  
そして学習者中心型の教育でなければならない

と講義を受ける。これまでの研修医に対する指  
導のほとんどは経験や勘に基づいたものであっ  
たのではないかとしばしば脳裏を過ぎる。多忙  
な診療の中で適切かつ効率的な教育を研修医に  
行うためには、教育に客観的で普遍的な要素を  
取り入れること、また指導医としての教育技法  
やカリキュラム立案能力を身につけることが望  
まれるとして日本医師会主催のみならず各都道  
府県医師会主催で「指導医のための教育ワークショ  
ップ」が行われている(福岡県医師会、佐賀県医師  
会、沖縄県医師会、北海道医師会、石川県医師  
会、茨城県医師会など)。先頃、宮崎大学医学部  
附属病院、県立宮崎病院、その他の臨床研修に  
携る地域施設群および宮崎県医師会が一体となっ  
て「宮崎県臨床研修運営協議会」が設けられた(事  
務局は宮崎県医師会)。トラブルなどの相談窓口、  
保険医療および医療安全などをテーマにした講  
習会および指導医のための教育ワークショップ  
の開催など研修医と臨床研修病院に対して様々  
な支援を行うためである。将来の良き医師の育  
成が日本医師会員の使命の一つであれば質の高  
い教育を行うために指導医対策を前向きに考え  
る必要があるのではないか。「教えることは学ぶ  
こと。その思いを地域の医師会員が共有し、研  
修医の指導に生かしてくれる動きに期待してい  
る」(読売新聞、平成16年6月22日)と語る橋本  
信也氏(日本医師会常任理事)の姿勢に賛同で  
きる。

# はまゆう随筆

その2

(7, 8, 9月号に分けて掲載いたします)

## サンディエゴ再訪

日向市 尾崎眼科 お尾 ざき崎 みね峯 お生

米国白内障屈折矯正手術学会(ASCRS)の日程がちょうどゴールデンウィークに重なったので、3年ぶりにサンディエゴまで出かけました。

テロ対策になるのかどうか分かりませんが、全日空利用。サンフランシスコ空港での入国審査は日本人以外にはかなり厳しく、自分の順番がくるまで大分待たされました。

サンディエゴは快晴。湾にはヨットが多数浮かび、豪華客船の向こうに空母が見えます。学会のアトラクションは空母の体験乗艦だったので(参加はしませんでした)、「戦時中」という雰囲気を少し感じました。

学会場には世界中から眼科医が参加しており、アジアからの参加者の増加が目立ちました。正味2日間しか学会に出られないので、時差ぼけに悩まされつつ、勉強(?)。器械展示場も広大で目指すメーカーの手術用小器具と医学書を購入。

ASCRSは手術学会なので、新しい手術テクニック・新しい器械器具の研究・教育などのビデオ演題の授賞式が盛大に行われます。

フルオーケストラのバンドも入り、アカデミー賞のようにショーアップした夕べです。タキシードの審査委員によるスピーチも堂々として気が利いており、かえってこんなところに彼我の差

を感じてしまいます。

今年は日本人眼科医がグランプリを含む3部門で受賞し、レベルの高さを示しました。

ホテルへ帰る途中で、ほぼ満席の寿司レストランTakaへ。街は3年前よりさらに活気があり、地域によるのでしょうか、予想以上に米国の好景気を実感しました。

Takaではカウンターの隣がカリフォルニア・ロールに日本酒という小柄なカナダ人男性。寿司に象徴される文化、車の話で盛り上がりました。日本の突き詰めてゆく仕事振りを評価しているといいます。巻物を食べていてもなかなか侮れない方ようです。セミールさんは小生より一回り若いのですが、サプライ・チェーン・マネジメント会社の経営者で、社員3,000人、博士号取得者1,000人と聞いて驚きました。世界は広い。

彼の言葉どおり、カルガリーの彼の豪邸にいつかお邪魔してよいのかしらと思いつつ、サンディエゴの夜は更けてゆくのでありました。

## 北欧の冬の楽しみ

串間市 串間市国民健康保険病院 まえ 前 だ 田 より 資 お 雄

10数年前、スウェーデンで1年余り過ごした時のことです。8月も半ばを過ぎると北の大地は夜が長くなり観光客もめっきり減ってきます。その頃になるとストックホルム駅からそう遠くない200年程の歴史の有る王立オペラハウスのオペラとバレエの公演が始まります。私の居た時のオペラの演目はCarmen (by Bizet) , Trollflojten (= Magic Flute by Mozart) , Maria Stuart (by Donizetti) でバレエはA skungen (= Cinderella) で月にそれぞれ2~3回公演していました。時間をみつけて何度か足を運びました。イタリア、フランス、ドイツ等のオペラ劇場にくらべるとスケールは小さいのですが、建物の中は華麗で、観客席は5階まであり、チケットも500円から8,000円位であったと記憶しています。公演は夕方から始まり、中休みには観客はロビーでコーヒーを飲んだり、パンを食べたりして時間を過ごし、後半に備えます。また、3階の通路に、かつてこのオペラハウスで歌い世界にはばたいたスウェーデンの誇る Jussi Björling , Birgit Nilsson の金色の胸像が置いてあります。現在でもここに出演していて有名になった歌手

も見かけるようです。180万人程のこの都市の人口で、劇場が歌手、バレエの踊り手、合唱のメンバー等をかかえて経営していくのは大変であろうと思います。ストックホルムにはこのほかに町の中心から10km程離れたドロットニング宮殿という国王の別荘に付属するオペラ劇場もあり、ここは夏の間、バロックオペラを公演しています。昔の国王の趣味が現在でも市民の楽しみになっているのは面白いことです。北欧は夏が観光シーズンですが、秋から冬の季節に訪れて、音楽を楽しんでみてはいかがでしょうか。

## 市町村合併について

三股町 山下医院 やま 山 した 下 ひろし 博

小生、少年期を鹿児島で過ごした。

昭和10年(小学校4年生)に中郡宇村で当時父源之丞が村長をしていた。中郡宇村は中村(現鴨池)郡元(現郡元)宇宿(現宇宿)で、中村と郡元で小学校1校、1学年で3クラス(1クラス50名)位であった。

現在騎射場電停から鴨池電停辺りまでが鴨池、鴨池電停から涙橋電停辺りまでが郡元、涙橋から脇田電停辺りまでが宇宿で大学病院の辺りは山であった。現県庁辺りは海で鴨池新町となっ

ている。市の医師会病院が前にあり、甥の結婚式で泊ったホテルも近くにあった。合併当時の市の人口は10万そこそこで現在県民半分近くの70万の大都市になっている。昔は自家の井戸で間に合った水が、今遠くの河から引いているらしい。

都市も30万位の規模がいいとの話である。三股は合併しないと説明している。前の町長は一

応合併協議会に参加して話を聞いた方が良いと新聞に発表している。

都城北諸は人口合計で20万に達しない。3割自治の町が20年後、孫の時代にどうなるか心配である。先の事は誰も分からない。鹿児島島の昭和10年と70年後を比べてみた。三股に住んで40年になるが都市としての進歩は余り感じられない。 (地図参照)



## 脳から見た医療現場での ヒューマンエラー防止法

宮崎市 南部病院 ^{うえ} ^だ ^{たかし}  
上 田 孝

最近の私共の脳の研究からヒューマンエラーについて考察してみました。医療過誤(ヒューマンエラー)の発生原因は、外的要因と内的要因に分類されますが、脳の生理学的特性から見たその防止法について検討してみました。その方法は、各種の五感刺激や手指の運動に伴う脳血流の変化を私共が開発した $^{99m}\text{Tc-HMPAO}$  持続静注下連続 dynamic SPECT(脳血流連続測定)法を用いて観察しました。また異なる2つの刺激が同時に与えられた時の脳の変化や、注意・注視時の局所脳血流量の変化も観察しました。その結果、いずれの単一五感刺激もその一次中枢のみならず、視床、前頭前野、扁桃体の血流が増加しました。異なる2種類の刺激が同時に加わると前頭前野の血流増加が抑制されました。眼球の垂直運動、水平運動は中脳、視床、後頭葉のみならず、広く脳内、特に前頭前野を活性化しました。前頭前野は注意、関心の中脳ですので、異なる刺激の同時刺激は、注意力の低下につながると考えられます。医療事故の原因は、機器の操作が煩雑で誤操作を生じる(外的要因)場合と作業者が何か別の事を考えていてつかかりとしてしまう(内的要因)場合があります。外的要因を減らすには、人間の五感の特性に合致するような機器類や環境をデザインし、並列ではなく直列的な作業手順にする必要があります。内的要因への対策は、意識の迂回の深度を浅くし、その発生回数を少なくする事です。医療事故を防ぐには可能な限り、思考と作

業の標準化と平準化を行い、職場の管理監督者や先輩、同僚が作業者の不満や意見を誠意をもって聴いて上げることです。注意力、集中力を保持するには、眼球運動は有用で、乍ら作業はエラーにつながり危険であるといえます。脳の生理学的特性を良く理解することにより、医療現場から医療過誤がなくなることを切に望むものです。もちろん自身の知識や技術が及ばないことへの無謀なチャレンジは論外です。ヒューマンエラーを少しでも少なくするために、脳についての理解が深まることはとても大切なことです。

## 「鹿児島宮田眼科」誕生

都城市 宮田眼科病院 ^{みや} ^た ^{のり} ^お  
宮 田 典 男

—昨年はまだ外は寒い2月頃、のんびりとビールを飲んでいた私の所に院長(愚息)の和典と副院長の中村医師がやってきた。

鹿児島にクリニックを出したいという。

最近、永年通院して来られた鹿児島方面(離島を含む)の患者さんたちが、高齢となり転医をすすめてもやはり無理して来院され大変心配である。それに中村医師の専門である斜視弱視と神経眼科、院長の専門である白内障、角膜移植、近視矯正などの術後患者さんも多いという。そう言われてみれば、開業以来40年間に手術した方々を最後まで見せてほしい私の気持ちもあった。

ただ、この医療状況の厳しい時にいかなものかと考えてしまった。

そのうちに足に便利な鹿児島中央駅の近くに外資系のビルで空きがある事が分かり借りる事になったと報告をうけた。

それからが大変だった。

和典院長は、先ず中村医師を院長にすること、専門外来は本院から交代で行くこと、鹿児島採用の従業員が慣れるまでは各部署から応援し教育すること等を決めた。内容については事務長に「鹿児島プロジェクト」を誕生させ、先に活動していた「IT委員会」が協力するよう、そして従業員全員に参加を呼びかけた。

小さいクリニックを本院と同じレベルにするのは予想以上の難しさであった。検討会が続き意見が出され、現地と往復すること6か月、みんなげっそりとやせた。

5月10日、鹿児島分院開業の日は感激的であった。しばらく見なかった懐かしい患者さんの顔々。

「本当に来てくださったんですね」「ありがとう。よかった」と握手したり抱き合ったり。

私の最終目的であった事を従業員の努力で実現し、皆の達成感で輝く笑顔がうれしかった。

## 有り難う、ジョン

川南町 国立病院機構宮崎病院 寺本 仁 郎

6月4日昼食で官舎に帰っていた時、電話が鳴った。熊本の妻からであった。

「ジョンが今、死んだ」しばらくの沈黙の後、かるうじて「それだけ連絡です」と言うのがやっとの感じで電話は切れた。

ジョンは16歳、ミニチュアダックスフンドのカーリーヘアであった。今でこそあちこちで見かけるが、飼い始めた頃は珍しがられた。近所で生まれたのを妻がもらってきたのだった。当時はすでに我が家にはビーグル犬の“ビリー”がいたので、2匹も要らないと思っていた。顔ばかりやけに長い感じでうるさくて最初は余り良い印象はなかった。ビリーは屋外で、ジョンは室内で飼うのも何となく納得出来なかった。室内で飼った最初の犬であったが、成長するに連れ可愛くて仕方がないようになった。我が家の子供たちも未だ小さく、一緒に育ち遊んでいたのが昨日のように思い出される。写真も一杯撮り、スライドに何枚もつくり、看護学校の講義などの合間に使ったりした。月日が経つにつれ、2人の子供も我が家を離れ、4年前から私も宮崎に移りと、ジョンにとっては何故みんな居なくなるのか理解できなかったのであろうと思う。

そのせいか一人にされるのを極端に嫌がった。特に妻が居ないと探し回ることが多かった。

2年近く前から後ろ足が立たなくなり這いずりしか出来なくなってきた。犬の介護が妻の仕事の一つに加わった。5月連休明けに学会があり、東京へ妻も一緒に行くことになり、ジョン

をかかりつけの犬猫病院に2泊3日で預けた。それが、ショックだったのか、その後より具合が悪くなり、とうとう約1か月後に死んでしまった。丁度死ぬ時は我が家にお坊さんが来ており、お経をあげていたとのことで、そのお経を聞きながら？あの世へと旅立った感じだったと妻より聞いた。

色々の思い出を作ってくれたジョン有り難う。

## 何の鳥じゃろかい?(笑話寸劇)

宮崎市 ぶくとみ小児科内科医院 ^{ぶく}福 ^{とみ}富 ア ッ

A : 女 医 70代後半  
 B : 家事手伝い 60代前半  
 C : ナースワープロ手伝い 50代前半  
 D : 主人(自由業) 60代後半  
 E : 家事手伝いの手伝い 30代前半  
 F : ナース 50代前半

- A 「小母さーん、昨日二人で選り分けた梅干の実はどうしたの」  
 B 「知りません。先生が直されたのでしょうか」  
 A 「なんで私が直すかね。小母さんが明日砂糖を入れてジャムに煮詰めるといって手に取ったわ。冷蔵庫に入れたのでは？それともまたこの間の白酢梅みたいに棄てたんじゃないかね」  
 B 「分かりません。知りません」  
 A 「小母さんも、よう忘れて困るわ」  
 B 「ハイ、家の娘に母さんは三歩歩いたら忘れ

るから鶏じゃと言われました」

- A 「アッハッハ、そりゃ面白いわ。それじゃー、二歩歩いたら忘れる私はなんの鳥じゃろかい。何でもよく忘れてくれる貴女や旦那を追いかけ廻して文句ばかり言ってるから、ホロホロ鳥じゃね。それともブツブツ鳥かな」  
 B 「プー、ウッフッフ」(笑って少し機嫌直し)  
 A 「それにしても家の旦那は何もせん。一歩も歩きもせんうちに朝起きてすぐから眼鏡がない、時計がないと騒ぐわ。出かける時は必ずといって良いくらい自動車の鍵がない、財布がないと一度外へ出たのにまた帰って来て騒ぐから、結局私が探し出してあげるけど。ありゃ、阿呆鳥じゃ！」  
 一同 「プーウ、ウハッハッハ」  
 C 「先生や小母さんが忘れるのは当たり前ですわ。50歳になったばかりの私が右を向いては忘れ、左を向いては忘れるんですもん」  
 A 「あんたも、よう忘れるね。まだ若いのにー。あんたは、かしわじゃね。でもあんたは結局自分で思い出して探し出すけど、小母さんや旦那は忘れていることを忘れているから、結局私が探し出してやらんにゃならんもん。私は自分の忘れ物も探さにゃならんし全く手間暇かかって、一日探し物や片付けかたばかりしているようで疲れ果てるわ」  
 C 「先生も大変ですね」  
 D 「今まで女どもはうるさいとばかり、私達を振り向きもせず、馬耳東風でパソコンに向かっていた旦那が急にこちらを向いてEを呼ぶ。「Eちゃん、これをコピーして来て」  
 A 「駄目よ、Eちゃんを使っては。仕事だから。コピー取り位は自分で行ってきて

- よ。少しは運動しなさいよ。糖尿病の父ちゃん、一寸は頑張ってね！ウヒッヒッヒ」
- D 黙って立ち上り、下へコピー取りに降りる。
- E (私が行ったんでは仕事が捗らないと言いたいんでしょう。仕事は遅いけれど言われたことは確実に実行するし、一度聞いたことは忘れません)とでも言いたげに目を上げてこちらを見たがすぐに下を向いて雑巾を黙々と一針一針、小学生のように丁寧に縫っている。
- A (Eは本当に鈍問なんだから、そしてすぐにふくれるんだからー。貴女はプー鳥よといいたいけれどそこまでは言わない。大体いつも一言多くては物議をかもす私だから少し慎重になる)
- 「ほんなら下の窓口でブスーッと無愛想に頑張っている彼女は何鳥じゃろかい。ありゃブス鳥か唐揚げかな」
- 一同 「ウッハッハッハ」
- A 「下には内緒、内緒、大きな目を向いてまた先生が怒られにゃあならんもん。それは御勘弁。
- ところで皆ごめんね、悪口の材料にして。こんな馬鹿でも言うたらんことにはクランケが一寸も来ないで雑用ばかりでやっちゃおれんよ。仕事を止めれば楽になるかもしれんけど生き甲斐もないし、それに旦那にますますこき使われて損するばかりだし、呆け防止にもなるから頑張らねばね。皆も助けてね」
- 一同 「先生頑張って下さい。先生の悪口には慣れているし、根がないから大丈夫です」鳥ども一同礼。

## 桜めぐり

門川町 宮崎県済生会日向病院 もり やま えいごろう  
森 山 英五郎

この4月下旬、JTB 企画の“みちのく桜めぐりハイライト3日間”のツアーに参加して桜を充分に観賞してきた。

JAL 一番機で博多へ飛び、福岡空港で添乗員の案内にて一行20名 JAL 便に搭乗して仙台空港へ、12:20着。直ちに岩手交通観光バスにて東北自動車道を北上。150分後北上市立公園展勝地で下車、満開のソメイヨシノや枝垂れ桜のトンネルの中を雨にうたれてしばらく散策。樹齢80年を越える約1万本の桜並木で、北上川沿いに約2kmに亘るといふ。60分後、盛岡市地方裁判所の中庭にある“石割桜”を雨上りの夕暮れに観賞後、繋温泉に一泊、大浴場の檜風呂にて汗を流す。

石割桜：周囲21mの巨大な花崗岩を真二つに割って咲くエドヒガンザクラ。幹周囲4.6m樹高10.8m樹齢350年前後の由(写真1)。



(写真1)

翌日は仙岩トンネルを経て、角館町の武家屋敷などの当時を偲ばせる風格ある町並みと枝垂れ桜を賞でた後に、檜木内川堤の之又鮮やかな桜並木(約4,000本のソメイヨシノが約2kmに及ぶ)を時折射す陽射し下に目にして驚嘆(約90分)、田沢湖を経て16:00雨も上り、弘前公園にて古城を華やかに染め上げている枝垂れ桜や壕を蔽う桜(写真2)など満開の見事なのに又又感嘆(約2,600本が咲き競う由)、1時間後、大湯温泉に到着。旅の疲れを癒した。



(写真2)

翌朝、窓外にはボタン雪が舞っているのに眼を疑い、一面の銀世界に吃驚。十和田湖から奥入瀬渓流を経て、今なお2~3mの積雪の八甲田山の“長生きの3杯茶”を戴いて身体を暖め、青森をJAL便にて14:30発。福岡にて散会。19:00過ぎ宮崎空港へ帰ってきた。

この3日間にて、雨の中、晴れ間の陽射しの中、霰降る折もあり、夫々の桜を観賞、日本人としての心を顧みて考えさせてくれた桜見物であり、ボタン雪・積雪などおまけ付きの旅でした。

## 「すいきり」と slow life

宮崎市 宮崎社会保険病院 ^{しら}白 ^お尾 ^{かず}一 ^{さだ}定

高校の恩師の葬儀に出席して、恩師の授業中の言葉を思い出した。記憶が確かなら、「すいきり」とは、「お茶をつぐときに急須から最後の一滴まで絞りだす」ことを言い、小便をするとき、最後の一滴まで絞りだすことに喩えられていたのを覚えている。大学受験に向けて「すいきれ!」と黒板に書かれていた。「すいきれ!」とは、最後の最後まで自分を信じて、最後の一滴まで頭から絞り出せという意味で、叱咤激励の合言葉であった。

大学時代、ボート部に属していた。ボートはただ単に力をこめて漕げばよいと思われがちであるが、いくつかの勝負時がある。スタートからスタートダッシュ・ミドルスパート・ラストスパートと他のクルーとのスパート時期の駆け引きや、クルーの中での声の掛け合いなど、多くのドラマがある。一人ではボートは進まないし、左右に分かれてオールを漕ぐため力を抜くと曲がってしまい遠心力が低下する。ゴール後は、全身がしびれて酸素欠乏状態になる。これも「すいきり」状態と言えよう。人には100%以上の能力を発揮できる力があることをボート競技で教わった。

外科医として手術をしていると、人の自然治癒力に驚かされることは少なくない。104歳の虚血性腸炎で入院した患者が治癒していく姿、汎発性腹膜炎で小腸瘻となった腹壁がしだいに縮小していく姿など数限りなく経験する。外科医は自然治癒力を信じて手術を行っているのであり、それを手助けすることしかできない。癌の術後には、免疫力(自然治癒力)を高めるために、自然と親しみ、ストレスを避け、疲れるまで仕事をしない slow life を勧めている。

最近、時に小便をしながら、ふる回数が増えたのは「すいきり」が足りないためであろうか、それとも体を「すいきり」すぎて slow life が必要という警告であろうか。いずれにせよ、この医療情勢の中、心身のバランスを維持しながら日々診療に向いたいと思うこの頃である。

## 私 の 青 春

高鍋町 坂田病院 ^{さか}坂 ^た田 ^{もろ}師 ^{さと}隣

先日、古い衣装箱をかき回していたら野球のユニフォームを発見しました。このユニフォームは、私が大学時代所属していた準硬式野球部のユニフォームでした。このユニフォームを視つめると野球部時代の記憶が蘇ってきました。私は、外野を守っていましたが良い選手では在

りませんでした。守れない、打てない、走れないと3拍子そろった逆イチローでした。しかし部員が少ないのと他の部員の温情もあり試合に出場することも多々あり、好プレー・珍プレーも経験し又夏の合宿では、余りの練習の辛さのため雨乞い踊りを仲間としたこともありました。

閑話休題 野球部の仲間です私の友人の一人は、内科の医局に入局する際、主任教授への挨拶時、学生時代の部活動について尋ねられ、その時野球の守備位置について問われたそうです。彼は、私の守備位置は、ベンチと答えたそうです。教授は、ベンチは大切な守備位置ですかといわれ彼は、ベンチは、野球全体を監督する大切なポジションですと答えたそうです。私はこの話を聞いて非常に衝撃を受けました。何故なら、私達の毎日の診療、又病院経営において必ず心に留めておく謙虚な気持ちを感じたからです。

話は学生時代に戻りますが、野球一筋の学生生活は良いことだけでもありませんでした。

まず勉強がおろそかになり進級や国家試験でかなり苦労した事です。しかし野球活動を供にした仲間は、今でもお互い助け合う私の宝です。大学時代の私の野球は、私の青春でした。

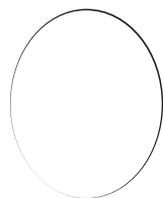
今年も学生野球の筆頭である高校野球が始まります。私の青春時代を思い浮かべて応援したいと思います。

## エコー・リレー

(348回)

(南から北へ北から南へ)

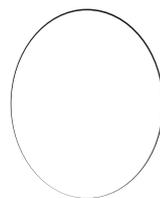
## テニスのおーじん様

高鍋町 たかやま小児科 ^{たか}高 ^{やま}山 ^{しゅう}修 ^じ二

私がラケットを握ったのは、大学時代にさかのぼる。理学研究室の先輩等とフレッドペリーのテニスウェアに身を固め、同好会のもので始めた。適当な練習場がなく、屋上で壁打ち。打つ回数よりも、壁に当たらず自然の摂理で下に落ちていくボールを探しに行く方が多かった。ボールを拾う際に、間違っただけで真っ黒に日焼けしボールのように丸々していたテニス部員(妻)も拾ってしまった。医大ではポリクリ班にテニス部員がいたことから、ヒポクラテス杯なる大会まで作って、その初代優勝チームの一員に名を連ねた。という格好いいが、その頃も性格そのものの弱気のテニスで、自滅することが多かった。テニス歴の長さと比較して、腕は上がりず、着実に進歩したのは、ラケットの材質と私の腹囲だった。開業して一時遠ざかった時期もあったがここ数年は、児湯地域の「コートの中の懲りない面々」の仲間入りをして週数回楽しむこともある。圧倒されるのは、70を越える方もおられるが、その体力とテニスに取り組む真摯な姿勢である。早い方は6時にはコートに出て練習を2時間、その後2時間試合を楽しまれる。それに引き替え、試合10分前ぐらいにコートに出て、試合中ちょこまかと動くことからインベーダーと揶揄され、その後の泡の立つ麦飲料をテレビCMに負けないぐらい爽快に飲み干すことだけを生き甲斐にしている軟弱な私。今年にはテニスの王子様ならぬ、テニスのおーじん様を目指そう。そのおじんパワーで、公式戦入賞を果たすぞ。そして、できれば(かなり弱気)妻からも一勝するぞ。

〔次回は、日南市の岩切美利先生にお願いします〕

## 台 風

西都市 上野医院 ^{うえ}上 ^の野 ^{なお}尚 ^み美

平成16年6月19日神戸で学会があり、出席した。台風6号が接近しており、飛行機の発着も危ぶまれていた。案の定前の便のJAL機は欠航となり、あきらめかけたところANA機は無事出発することができた。帰りのことを心配しながらも、順調に神戸につき、先発していた看護師さん2人と妹にも会えたことで、台風のことなど忘れ、神戸の夜を楽しんだ。

ホテルにつき、さっそくテレビを見たところ、6月20日宮崎に台風が上陸しそうな様子。私の帰れるかどうかの不安な気持ちをよそに、妹たちは明日の買い物はどうしようかなど悠長な話。学会どころではない。眠れない日を過ごし、朝からどうするか宮崎と連絡をとり、昼頃は飛行機飛ぶのか、朝から帰るべきか、台風のスピードは遅く、頭を悩ませ、あせるばかり。その時、事務長から「新幹線で博多まで来なさい。車で迎えに行くから」との電話。飛行機はキャンセルし、事務長の車の時間も考え合わせ、お土産も無事に買うことができ、新幹線にも乗れ、何のために神戸に来たのか忘れていた自分を反省しつつ、安堵感に満ち、新幹線の旅を楽しんだ。事務長にも無事に会うことができ、宮崎への車のたびも順調だったが、えびのにはいった途端、台風のすごさを思い知らされ、午後7時35分無事自宅到着。長い1日であった。疲れたが、忘れられない1日でもあった。

〔次回は、都城市の飯田正幸先生にお願いします〕

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 6月～

2004年 5月31日～ 7月4日( 第23週～27週)

## 全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：細菌性赤痢 1例が小林保健所から報告された。エジプト，ギリシャに渡航歴のある30歳代女性で，症状として腹痛，下痢が見られた。原因菌はソネ赤痢菌であった。

3類：腸管出血性大腸菌感染症が中央( 2例 )，都城( 3例 )，小林( 3例 )，宮崎市( 1例 )の各保健所から計 9名が報告された。

## 《中央保健所管内》

- 1歳の女児：症状は下痢，発熱。血清型は 0-157( V T1，V T2産生 )
- 2歳の男児：無症状。血清型は 0-157( V T2産生 )

## 《都城保健所管内》

- 50歳代女性：無症状。血清型は 0-157( V T1，V T2産生 )
- 70歳代女性：無症状。血清型は 0-157( V T1，V T2産生 )
- 2歳の男児：症状は血便。血清型は 0-26( V T1産生 )

## 《小林保健所管内》

- 80歳代女性：症状は血便，下痢。血清型は 0-157( V T2産生 )
- 10歳代男性：無症状。血清型は 0-157

( V T1，V T2産生 )

- 80歳代男性：無症状。血清型は 0-157

( V T1，V T2産生 )

## 《宮崎市保健所管内》

- 10歳代男性：無症状。血清型は 0-157

( V T2産生 )

5類：髄膜炎菌性髄膜炎 1例が高鍋保健所から報告された。40歳代女性で，症状として頭痛，発熱，意識障害，髄膜刺激症状が見られた。

ウイルス性肝炎( B型 ) 1例が都城保健所から報告された。中国に駐在の30代男性で，異性間( 夫婦 ) 性的接触または内視鏡検査による感染が疑われる。

クロイツフェルト・ヤコブ病1例が中央保健所から報告された。70歳代女性の孤発性で，感染経路等は不明。

## 5類定点報告の感染症【表】

定点からの患者報告総数は3,685人( 定点あたり111.2人 )で，前月比119%と増加し，昨年

表( 前月との比較 )

	例年比	2004年 6月		2004年 5月	
		報告数	定点当 た(人)	報告数	定点当 た(人)
インフルエンザ		0	0.0	16	0.3
R S ウイルス		1	0.0	2	0.1
咽頭結膜熱		274	7.6	249	6.9
溶レン菌咽頭炎		473	13.1	350	9.7
感染性胃腸炎		1,356	37.7	1,407	39.1
水痘		501	13.9	552	15.3
手足口病		20	0.6	13	0.4
伝染性紅斑		124	3.4	82	2.3
突発性発しん		274	7.6	194	5.4
百日咳		1	0.0	3	0.1
風しん		3	0.1	2	0.1
ヘルパンギーナ		533	14.8	179	5.0
麻疹		0	0.0	0	0.0
流行性耳下腺炎		82	2.3	76	2.1
急性出血性結膜炎		1	0.3	0	0.0
流行性角結膜炎		35	8.8	25	6.3
細菌性髄膜炎		1	0.1	0	0.0
無菌性髄膜炎		5	0.7	3	0.4
マイコプラズマ肺炎		1	0.1	1	0.1
クラミジア肺炎		0	0.0	0	0.0
成人麻疹		0	0.0	0	0.0

例年同時期( 過去3年の平均 )より報告数が多い  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

の同時期と比べると79%と大幅減少した。今月増加の見られた主な感染症は、ヘルパンギーナ、手足口病、伝染性紅斑、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

ヘルパンギーナの報告数は533人(14.8人)で前月の約3倍に増加した。県内全域で報告されているが、特に県北地域の延岡、日向保健所からの報告が多かった。年齢別では、1歳と2歳で全体の6割を占めた。

### 結核の発生動向 5月

新登録患者数は14人(男9人,女5人),活動性肺結核患者は11人(うち喀痰塗抹陽性患者は5人)であった。また,統計的には新登録患者数に含まれない(別掲扱い)マル初*の患者は3人,非定型抗酸菌陽性者数は1人であった。

*マル初...結核の感染が強く疑われ発病予防のための治療を受けている者。正確には結核発病者ではない。

### 月報告対象疾患の発生動向 6月

性感染症(定点医療機関総数:11)【図】

定点からの報告総数は100人(定点あたり9.1人)で,前月比120%と大幅に増加したが,昨年6月(14.8人)と比較すると少なかった。

#### 【疾患別】

- 性器クラミジア感染症:報告数は50人(4.6人)で,男性28人,女性22人。
- 性器ヘルペスウイルス感染症:報告数は11人(1.0人)で,男性5人,女性6人。
- 尖圭コンジローマ:報告数は4人(0.4人)で,男性2人,女性2人。
- 淋菌感染症:報告数は35人(3.2人)で,男性31人,女性4人。

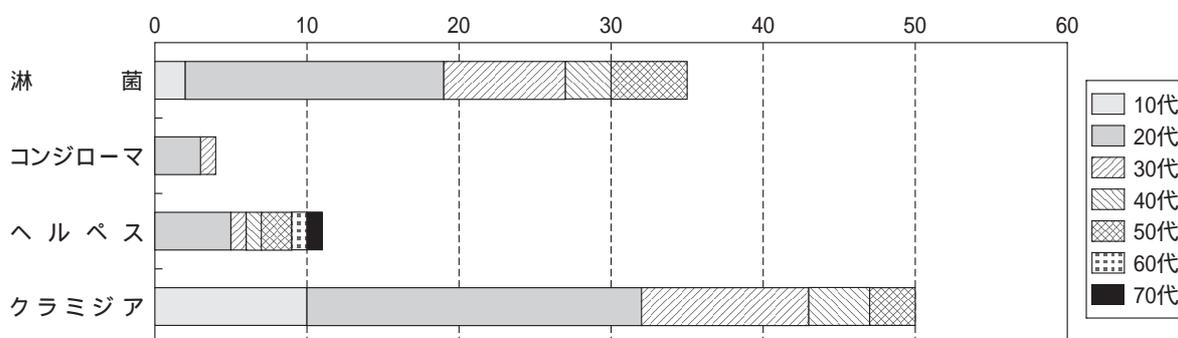


図 年齢別性感染症報告数(6月)

薬剤耐性菌(定点医療機関総数:7)

定点からの報告総数は前月と同じ22人(3.1人)で,昨年6月と比べると85%と減少した。

#### 【疾患別】

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症(MRSA):報告数は18人(2.6人)で,70歳以上が14人(全体の78%)であった。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症(PRSP):報告数は4人(0.57人)で,いずれも10歳未満であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症:報告なし。

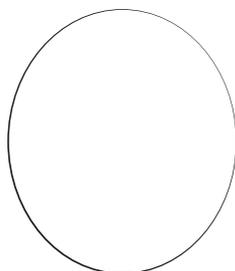
最新の発生動向は <http://www.pref.miyazaki.jp/fukushi/ipe/index.html> をご覧ください。

## 表彰・祝賀

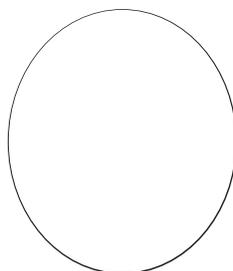
## 地域医療功勞により県知事表彰

たて	やま	ひろ	みち	先生（宮崎市）
立	山	浩	道	
いの	うえ	はく	すい	先生（都城市）
井	上	博	水	
わた	なべ	みょう	へい	先生（日向市）
渡	邊	命	平	
かわ	の	きょういちろう		先生（高鍋町）
河	野	恭一郎		
やま	ぐち	かず	ひこ	先生（日南市）
山	口	和	彦	
はり	かい	まさ	ずみ	先生（小林市）
針	貝	正	純	

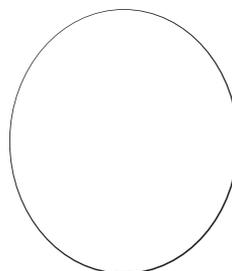
地域医療の永年の功勞により，6月26日(土)県医師会館において開催されました第59回本会定例総会において，安藤県知事から6名の先生が医療功勞者知事表彰をお受けになりました。



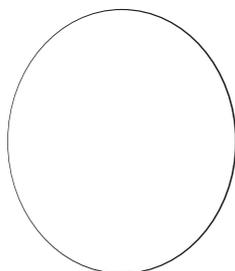
立山 先生



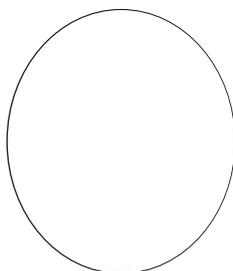
井上 先生



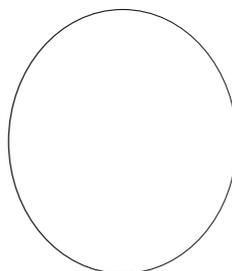
渡邊 先生



河野 先生



山口 先生



針貝 先生

表彰されました先生方に対しまして，衷心から祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。

## グリーンページ

## 骨太の方針2004

副会長 志 多 武 彦

要点とコメント(日医ニュース1027号 平成16年6月20日)より筆者が短文化

1. 社会保障制度(年金, 医療, 介護等)を一体として総合的に改革する。全体として抑制する意図が隠されている。
2. 構造改革の考え方は民間需要主導の経済成長の実現と政府歳出の抑制により潜在的国民負担率を50%とすることである。又, 改革とは企業・地域・個人の能力が最大発揮されるための制度・政策・政府の在り方を変革することである。一方的な経済財政主導の論理であり, 社会保障の理念を欠いている。
3. 市場化テストや民間開放のための数値目標など, 民間開放のための制度を早期に導入する。会議のいう官製市場の開放と連動し, 国民皆保険制度の崩壊につながる。
4. 特区を拡充し, 全国展開を推進する。これを足がかりに拡大する計画が意図されている。
5. 医療制度改革は給付費の急増を回避し, 将来とも持続可能制度とするべく総合的に進め

る。医療効率化プログラム(診療報酬体系の見直し, 公的医療保険守備範囲の見直し等)を早期に完全実施する。明らかに国民皆保険制度への挑戦である。国民の立場に立った社会保障の理念による新制度創設の協議には参加する。

6. 予算の改革として年々増加する社会保障費の伸びの抑制が最大の課題である。そのため, 自然増を放置せず公的給付の見直し抑制を図る。国全体としての重要課題を示さず, 財政運営のみ最大課題としている。高齢化など自然増も抑制するとは自然の定理を無視している。

マスコミによるコメント

多くの政策で達成に向けた数値目標を示し, 少子高齢化対策や金融再生などでは期限を切った新たな政策を公約している。しかし, 今回も与党や関係省庁の反発, 参院選を控えた国民感情への配慮から後退を重ねている。回を重ねる毎に迫力を失い, 形骸化しており骨抜きの方針と揶揄されている。

## 基本方針の主な修正点

	5月28日時点の原案	最終的な基本方針
社 会 保 障	中期的な観点から社会保障給付費について目標を定める	目標などの課題について論点整理し 2006年度内を目途に結論
年 金 一 元 化	公的年金の一元化を展望	社会保障全般についての一体的見直しに合わせて体系を検討
防 衛	言及なし	自衛隊の既存の組織・装備等の抜本的な見直し・効率化をはかる
三位一体改革	税源移譲額は明記せず	税源移譲はおおむね3兆円規模を目指す
官 民 交 流	幹部職員について数値目標を掲げ, 推進	数値目標を掲げて推進することを目指す

政府は「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004」(骨太の方針2004)を6月4日閣議決定した。

経済財政諮問会議 平成13年1月の中央省庁等再編の柱として内閣府に設置された。議長は小泉首相が6月3日に小泉首相に答申し、正式決定した。

骨太の方針は当面の経済財政運営、構造改革の指針となるもので、来年度の予算編成に反映される。小泉政権の改革路線を裏付けるもので今回は第4弾である。

骨太の方針の策定にあたり、経済財政諮問会議は5月19日に素案を作成し、5月28日に原案をまとめ、6月3日に成案を決定し答申している。

閣議決定に際し、小泉首相は「これまでの改革の芽を大きな木に育てていくための基本戦略」と評価し、デフレ脱却を計り新たな成長に向けた基盤強化を図りたいと強調した。また、閣僚に対し具体化に向けて格段の努力を指示した。

過去3年間の骨太の方針の取りまとめに当たっては、諮問会議の民間議員が、一般歳出の4割を含める社会保障の給付費の抑制を強く主張してきたが、今回も同様であった。当然のことながら、諮問会議と自民党・厚労省の間で激しい論争があった。

原案では「潜在的国民負担率でみて、その用途を50%程度としつつ、政府の規模の上昇を抑制する」として、政府全体の歳出抑制を打ち出し、社会保障給付費に中期的目標を定め、それに合わせて歳出を見直す考えを示した。この点について坂口厚労相は「最初に国民負担率を決め、社

会保障はこれだけとキャップをかぶせ、その中でやれという議論は順序が逆だ」と指摘し、「どうしても必要な給付は何なのか、それには財源がいくらいるのか検討し、社会保障全体の中で個人の負担と税の負担を決める手順が大事だ」とした。

自民党重点政策推進委員会でも厚労部会長が「社会保障は国民の生活に関わるもので、財政が厳しいからと削るのは本末転倒だ」として、潜在的国民負担率や社会保障給付費の中期目標部分の削除を求めた。異論が噴出したとされる。

社会保障問題では、原案では抑制するための目標設定(年金や介護など給付費総額の中期目標設定)が最終案では表現もあいまいな論点整理に後退した。

厚労省や自民党の圧力で抑制につながる表現は「骨抜き」にされたとの評判が高い。財務省は制度維持には経済成長と整合的給付が必要と強調しているが、骨太の方針では社会保障制度全体を巡る議論の方向性は定まっていないという。7月の参院選を控えて与党や関係団体に配慮した結果、具体性の乏しいものになったといわれる。

社会保障見直しの課題として、

中期的な観点からの社会保障給付費の目標  
税・保険料の負担や給付のあり方

公的給付の範囲のあり方

各制度間の調整のあり方

制度運営のあり方

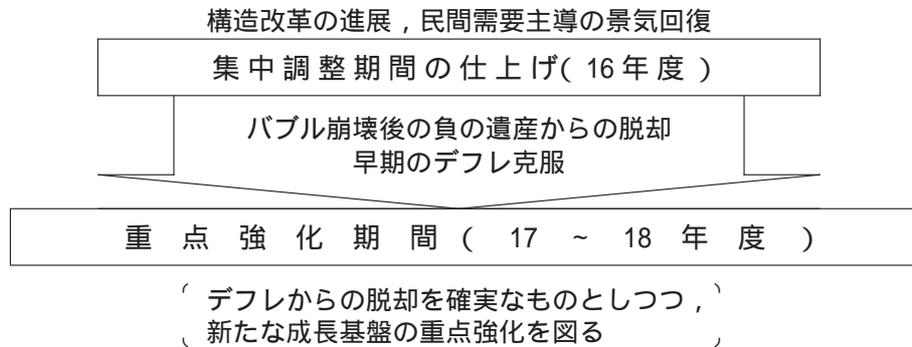
などをあげているが、内容が多岐にわたり焦点も定まっていないとの批判もある。

制度改革のスケジュール  
政府の社会保障制度改革の取り組み

	年 金	医 療	介 護
2001年	社 会 保 障 改 革 大 綱		
2002年		医療制度改革大綱	介護給付費分科会で介護報酬の見直し審議
2003年	坂口大臣試案 社会保障審議会年金部会で「年金制度改革に関する意見」を取りまとめ	健保法等改正法成立  医療保険制度体系及び診療報酬体系に関する「基本方針」策定(閣議決定) 社会保障審議会医療保険部会において議論	介護報酬改定について諮問・答申 第2期介護保険事業運営期間開始 社会保障審議会介護保険部会において議論
	厚生労働省案の公表 基礎年金国庫負担割合引上げの道筋とその財源 給付と負担の水準について政府・与党で合意	論 点 ○都道府県単位を軸とした保険運営についての検討 ○新たな高齢者医療制度に関する検討 ○高齢者医療費の伸びの適正化方策 ○公的保険給付の内容及び範囲の見直し等	論 点 ○被保険者の範囲 ○保険給付の内容と水準 ○利用者負担
2004年	年金改革関連法案国会提出		
2005年		「基本方針」に基づき 概ね2年後を目途に新しい高齢者医療制度の創設を含む制度改革に順次着手	法律施行後5年を目途に、その全般に関して検討し、必要な見直し等の措置を講ずる(介護保険法附則)
2006年			介護報酬の改定 保険料の見直し 第3期介護保険事業運営期間開始

(備考) 経済財政諮問会議資料, 社会保障審議会資料に基づき, その後の進捗状況を踏まえ作成

## 経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004



## 主な改革

1. 「官から民へ」「国から地方へ」の徹底  
郵政民営化(基本方針取りまとめと法案提出)  
政府の仕事を民間に移管(市場化テストの導入)  
医療，福祉・保育，教育等の分野で大胆な規制改革案  
三位一体の改革  
(補助金改革，3兆円規模を目指した財源移譲，交付税改革)  
「道州制特区」の推進
2. 「官の改革」の強化  
国民に理解される予算への改革  
(成果目標の明示と事後評価の徹底)  
特別会計の改革案の策定  
行政改革の徹底  
(独立行政法人の改革，官民の人事交流等)  
包括的かつ抜本的な税制改革
3. 「民の改革」の推進  
「日本経済21世紀ビジョン」(仮称)  
(人口減少下での成長戦略の確立)  
「金融重点強化プログラム」(仮称)  
(金融セクターの強化に向けた金融行政の積極的推進)
4. 「人間力」の抜本的強化  
若年者の雇用対策の強化  
(能力開発等)  
雇用関連事業の整理統合と民間開放  
教育現場の活性化  
(教育委員会の改革等)
5. 「持続的な安全・安心」の確立  
社会保障制度の総合的改革

(年金，医療，介護，生活保護等)

少子化対策の充実

(保育施設の競争促進等)

健康・介護予防の推進

治安・安全の確保

(大規模災害・テロ対策，情報セキュリティ，食の安全等)

経済活性化に向けた重点施策

## 1. 地域再生

既存の補助金を見直し，地域が裁量的に活用できる仕組みを構築

地域の基幹産業等の再生・強化

農業の競争力強化

建設業の新規ビジネス進出支援(農業，福祉，環境等)

観光戦略の強化

## 2. 雇用政策・人材育成施策の新たな展開

「若者自立・挑戦プラン」の強化

(民間委託の拡充，フリーター対策，職業教育の強化)

ハローワーク事業の民間活用の拡大

## 3. 「新産業創造戦略」の推進，市場環境の整備及び発展基盤の強化

7つの戦略産業分野の重点的育成(人材育成，研究開発等)

アジア各国等との経済連携交渉の推進(看護等の分野での外国人労働者の受け入れ等)

IT 戦略の重点化，加速化(医療の IT 化，電子政府の推進等)

## 経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004

「持続的な安全・安心」の確立は本文第1部「重点強化期間」の主な改革の5番目であるが全文を掲載する。

## 5. 「持続的な安全・安心」の確立

## (1) 社会保障制度の総合的改革

## (社会保障の一体的見直し)

○ 社会保障制度全般について、広く有識者の参加も得つつ、一体的な見直しを開始する。平成16年中に、社会保障制度の国民生活における基本的役割、その持続可能性、経済や雇用との関係、家族や地域社会の在り方を踏まえ、中期的な観点からの社会保障給付費の目標、税・保険料の負担や給付の在り方、公的に給付すべき範囲の在り方、各制度間の調整の在り方、制度運営の在り方等の課題についての論点整理を行い、重点強化期間内を目途に結論を得る。

○ 国民の利便性向上、事業効率化に向けて、保険料の徴収体制及び社会保険庁の在り方を見直す。

○ 社会保障制度を国民にとって分かりやすいものとするとともに、個々人に対する給付と負担についての情報開示・情報提供を徹底する。

## (年金制度改革)

○ 制度に対する信頼を確保できるよう、国民一人一人の立場に立った運営を目指し、その見直しを進める。また、前述の社会保障制度全般についての一体的見直しにあわせて、体系の在り方について検討する。

## (医療制度改革)

○ 給付費の急増を回避し、将来にわたり持続可能な制度となるよう、社会保障制度の総合的改革の観点に立って、医療制度改革を平成16年度以降も引き続き着実に進める。

○ 「基本方針2003」で閣議決定されたように、昨年3月の「医療保険制度体系及び診療報酬体系に関する基本方針」(平成15年3月28日閣議決定。以下「医療に関する基本方針」という)の具体化について実施可能なものから極力早期に実施するとともに、増大する高齢者医療費の伸びの適正化方策や、公的保険給付の内容及び範囲の見直し等の「医療に関する基本方針」以外の課題について早期に検討し、実施する。

○ 「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」(平成13年6月26日閣議決定)における「医療サービス効率化プログラム」(診療報酬体系の見直し、公的医療保険の守備範囲の見直し等を含む)を早期に完全実施する。

○ 診療報酬体系の見直しに当たっては、利用者の立場が反映され、また審議の透明化が図られるよう、中央社会保険医療協議会等の在り方を見直す。

## (介護保険制度改革)

○ 給付費の急増を回避し、将来にわたり持続可能な制度となるよう、社会保障制度の総合的改革の観点に立って、平成17年度に改革を行う。給付の実態を精査し、給付の重点化と効率化を図りつつ、制度創設以来の議論を踏まえ、以下の内容を中心とする改革を行う。これによって、保険料負担の上昇を極力抑制する。

軽度要介護者に対するサービスを効果ある介護予防に重点化

在宅における痴呆ケア 施設における個室・ユニット化等の推進

第三者評価の義務付け等のサービスの質の向上

## 経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004

在宅と施設の給付範囲の不均衡の是正及び年金との重複給付の調整等を図る観点から「ホテルコスト」,食費等の利用者負担の見直し

## (生活保護の見直し)

- 社会経済情勢の変化等を踏まえ,加算等の扶助基準の見直し,保護の適正な実施に向けた地方公共団体の取り組みの推進など,制度,運営の両面にわたる見直しを行い,平成17年度から実施する。特に,雇用施策と連携しつつ,就労及び自立を促す。

## (2) 少子化対策の充実

- 人口減少の時代を目前に控え,家庭の役割を大切に,子どもを生子,育てることに喜びを感じることができる社会を構築する。「少子化社会対策大綱」(平成16年6月4日閣議決定)に基づき,国の基本政策として少子化の流れを変えるための施策を強力に推進する。平成16年中に大綱の重点施策についての具体的実施計画を策定するとともに,高齢関係給付の比重が高い現在の社会保障制度の姿を見直す。また,保育については,児童の視点に立って,利用者の選択を機能させ,サービスの向上について施設間の競争を促す方向で情報公開,第三者評価等の施策を推進する。

## (3) 健康・介護予防の推進

- 国民一人一人が生涯にわたり元気で活動的に生活できる「明るく活力ある社会」を構築する。このため,健康で自立して暮らすことのできる「健康寿命」の延伸を目指し,「働

き盛り層」「女性層」「高齢者層」など国民各層を対象とした生活習慣病対策及び介護予防について,平成17年度からの10か年戦略(「健康フロンティア戦略」として,施策の推進による成果について数値目標を設定し,その達成を図るため,地域における介護予防の拠点の整備など,関係府省が連携して重点的に政策を展開する。

- ゲノム科学・ナノテクノロジーの推進など健康寿命を伸ばす科学技術の振興を図るとともに,医薬品・医療機器について,治験環境の充実,承認審査の迅速化,後発医薬品市場の育成など関連産業の国際競争力の強化を図る。

尚,参考までに予算 項も掲載する。

## 第3部 経済財政運営と2005年度予算の在り方

## (4) 主要予算の改革

社会保障については,一般歳出の約4割,地方向け国庫補助負担金の約6割を占めている。少子高齢化が進展する中,年々増加する社会保障関係費の伸びの抑制に取り組むことが,我が国の財政運営上の最大の課題である。このため,概算要求段階及びその後の予算編成過程において,社会保障関係の自然増を放置することなく,「第1部5.「持続的な安全・安心」の確立」を踏まえ,介護,生活保護,医療その他の制度改革等に取り組み,公的給付の見直しを行うことにより,その抑制を図る。

## 第20回参議院議員選挙の結果について

### 1 . 比 例 区

当選 西 島 英 利 250,426

宮崎県内の得票数 5,746

#### 地区別の得票数

宮 崎 市 郡 1,403

都城市北諸県郡 730

延 岡 市 郡 479

日向市東臼杵郡 550

児 湯 240

西都市・西児湯 143

南 那 珂 1,351

西 諸 816

西 臼 杵 郡 34

### 2 . 宮崎県選挙区

当選 松 下 新 平 無 新 277,352

上 杉 光 弘 自民 現 260,621

馬 場 洋 光 共産 新 33,521

## 各郡市医師会だより

## 児 湯 医 師 会

会 長 ^{なが}永 ^{とも}友 ^{かず}和 ^{ゆき}之

児湯医師会の会長職を命ぜられて2年数か月、蛇行運転ながらも途中で炎上爆発することなく、何とか会務を執り行っています。さて本日は以下の2点について述べてみます。

## 1. 准看護学校を含む当医師会の財政状況

前会長が施行された医師会費と授業料の値上げに引き続き、今年3月までに教職員の退職金制度の見直し、給与のベースアップの凍結など一連の痛みを伴う財政改革があらまし完結致しました。准看護学校への補助金のカット、専任教員の増員など国の政策の大きな変更がなければ、向こう10年安心の財政制度が構築できたと考えています。

## 2. 救急医療について

平成16年度から「新医師臨床研修制度」の設置に伴い、国立宮崎病院及び西都救急病院の外科常勤医師不在の事態となりました。時間外休日の外科系一次救急には、西都救急病院が脳外常勤医と会員をフル動員して対応して頂いています。同じ医療圏内唯一の救急告示施設で、児湯郡内の患者も多数お世話になっておりますので、当医師会でも外科系の会員に、当直日直の協力を呼び掛けています。今のところ、協力者は山口前会長と私の2人だけです。

小児救急、時間外診療はそれぞれの施設が個別に対応しているのが現状です。児湯地区は国立宮崎病院小児科3人、海老原総合病院小児科2人など、地方の割には小児医療環境に恵まれています。現在、小児初期救急医療体制の整備に向けて、検討を始めようとしているところです。

児湯郡5町の合併協議会は暗礁に乗り上げていますが、児湯医師会は一枚岩で諸問題の解決を図りたいと存じます。皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

児湯医師会理事会

### 役員名簿（任期 平成16年4月1日～平成18年3月31日）

役職名	氏名	年齢	医療機関名	診療科	担当業務
会長	永友 和之	58	永友クリニック	泌尿器科	総括・児湯准看護学校長
副会長	蟻塚 高生	53	蟻塚クリニック	眼科	医療事故紛争・処理・医療安全 会員の倫理・自浄作用活性化 児湯准看護学校副校長
理事	高嶋 章	56	高嶋医院	内科・小児科	腎臓・糖尿検診・児童虐待 学校検診・救急医療
〃	高橋 政見	55	高橋耳鼻咽喉科医院	耳鼻科・咽喉科	県医師会理事 学校医部会・園医部会 医師国保・医師協同
〃	黒木 宗俊	50	黒木内科医院	内科・アレルギー科 リハビリ科・心療内科	総務・会計・地域医療・産業医部会 宮崎中部地域産業保健センター
〃	坂田 師隣	49	坂田病院	産婦人科	病院部会・医師協同 児湯准看護学校主事 児湯准看護学校医
〃	黒木 康博	48	黒木皮膚科	皮膚科	社会保険・労務・医師国保 医療関係者対策 日州医事スーパーバイザー
〃	北村 洋	46	北村医院	外科・消化器科 内科・整形外科 リハビリ科・肛門科	介護保険・会員福祉 外科医会・会館建設
〃	喜多保一郎	44	喜多医院	小児科・内科	心臓検診・腎臓検診 互助会・学校医部会
〃	内田 俊浩	43	内田医院	内科	学術・生涯教育 児湯カンファレンス 公衆衛生・健康教育・精神保健福祉
* 〃	大山 博司	41	大山脳神経外科 クリニック	脳神経外科 心療内科 神経内科・リハビリ科	情報システム・医師協同
監事	吉田 隆	79		内科・小児科 皮膚科	
〃	河野恭一郎	76	河野病院	外科・内科	
議長	茂木 晃	71	立津医院	神経科・精神科 内科	
* 副議長	城戸 栄爾	64	城戸医院	内科・循環器科	

*は新任

## 各都市医師会だより

## 西都市・西児湯医師会

会 長 おお つか なお ずみ  
大 塚 直 純

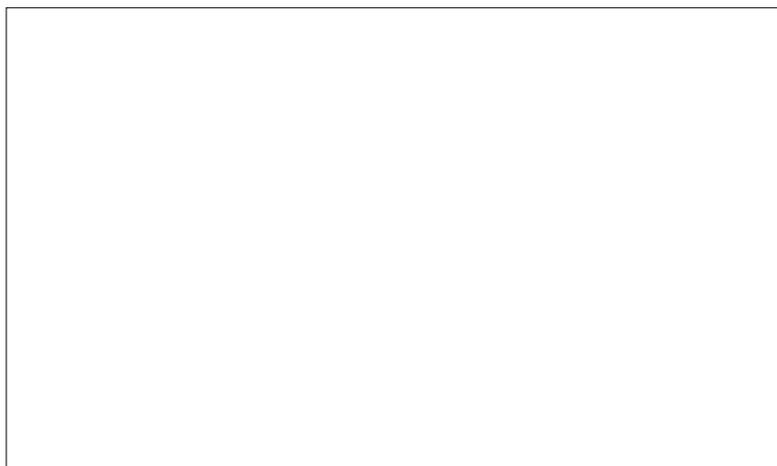
猛暑が続いておりますが、皆様方には、お元気でお過ごしのことと思います。

医療をとりまく環境は、極めて厳しくなっており、私達医師会員はこの厳しさの中で一致団結していかなければならないと思います。このような状況において、日本医師会常任理事西島英利先生の参議院議員選挙比例代表におけるみごとな高位当選は、誠に明るい話題であり、私達を勇気付ける出来事であったと思います。医師連盟の力をさらに強固にしていかななくてはならないと思います。

現在の医師会員数はA会員26名、B会員22名の48名で、B会員が2年前にくらべて1名増えました。今回の役員選挙で新たに児玉健二先生を理事に迎え、宇和田収先生が副議長に就任されました。

医師会が運営しております西都市・西児湯医師会立西都救急病院は西都市及び周辺町村の行政の方々の温かい御助成、御支援を受け、また宮崎大学医学部、他医師会の有志の先生方の御協力を得、西都市・西児湯医師会員の皆様方の御指導、ご協力を受けながら、留守健一副院長、野津原勝副院長、小濱祐博医局長、森本廣事務長を中心として職員一丸となって業務にあたっております。本年6月より新医師臨床研修制度の施行にともなう影響により、宮崎大学医学部第二外科より医師派遣が出来なくなりました。地域医療にとって大変な痛手ではありますが、常勤の宮崎大学医学部第一内科の3名の先生方、脳神経外科の2名の先生方の御尽力、御協力により、地域の救急医療にあたえる影響を最小限にすべく運営致しております。夜間、日祭日の救急外来医療に関しましては、常勤の先生方、宮崎大学医学部第一内科、脳神経外科の医局の先生方、他の医師会有志の先生方、また当医師会員の先生方の御尽力、ご協力を得て運営しております。

今後とも皆様方のより一層の御指導、御鞭撻をよろしくお願いいたします。



西都市・西児湯医師会理事会

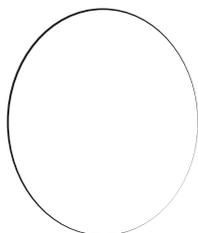
### 役員名簿（任期 平成16年4月1日～平成18年3月31日）

役職名	氏 名	年齢	医 療 機 関 名	診 療 科	担 当 業 務
会 長	大塚 直純	62	大塚病院	外科・胃腸科 内科・肛門科	総 括 西都救急病院院長
副会長	留守 健一	60	とめもり小児科	小児科	西都救急病院副院長 学校保健
”	相澤 潔	53	三財病院	内科・麻酔科 小児科・外科 皮膚科・リハビリ科 放射線科	救急医療・労務 会員福祉・文化厚生
理 事	富田 雄二	48	富田医院	内科・循環器科 小児科	宮崎県医師会常任理事 西都救急病院担当理事 総務・医療保険
”	鶴田 曜三	47	鶴田病院	外科・整形外科 内科・放射線科 リハビリ科	会 計
”	黒木 重晶	44	黒木胃腸科医院	胃腸科・内科	学術・公衆衛生 介護保険
”	野津原 勝	47	医師会立西都救急病院	内科・循環器科 消化器科 脳神経外科	西都救急病院副院長
”	岩見 晶臣	53	いわみ小児科医院	小児科	医療事故
* ”	児玉 健二	53	児玉内科クリニック	内科・循環器科	心臓検診 腎臓・糖尿検診
監 事	上野 百喜	78	上野医院	内科・循環器科 小児科・外科	
監 事	水田 雅久	75	水田内科医院	内科・リハビリ科	
議 長	上山征史郎	65	上山医院	整形外科 リハビリ科 リウマチ科・内科	
* 副議長	宇和田 収	45	宇和田胃腸科内科	胃腸科・内科・肛門 科・放射線科	

*は新任

## 宮崎大学医学部だより

### 内科学第三講座



なかざと まさみつ  
中里 雅光 教授

松倉 茂前教授(現岸和田市民病院院長)の退任後、中里雅光先生が第3代教授に就任されました。先生は宮崎県延岡市の生まれで、昭和55年宮崎医科大学の第一期生として卒業後、初代荒

木淑郎教授が創設された第3内科に入局されました。入局後は臨床医として研鑽を積み、また数々の臨床研究にも従事されました。教授就任後、後輩である若い教室員や学生の教育に特に情熱を傾けておられます。また地域に根ざした医療を目指し、各医師会員の先生方や地域の医療施設との間の連携をより強めるため、精力的に県内各地に足を運び医師会員の先生方との意見交換会に出席され、また先生方がより積極的に参加できる臨床講演会の発足や実際の臨床のためのセミナーの開催など、斬新的な医療体制作りにも努められております。地域医療の一環として、生活習慣病についての健康講座や一般市民も参加できる講演会など、大学として社会に説明する機会を数多く設けて、疾患の一次予防の相談や指導も積極的に行っておられます。

当教室は呼吸器、神経内科、糖尿病・代謝、内分泌の4部門を担当しております。担当医師は、呼吸器内科を芦谷淳一助手、床島真紀助手(病棟医長)、神経内科を中里雅光教授、杉本精一郎講師(副科長)、塩見一剛講師(医局長)、糖尿病・代謝を水田雅也助手、上野浩晶助手、内分泌を片上秀喜講師、山口秀樹助手、米川忠人

助手(外来医長)が担当しております。外来は初診日が月曜日と金曜日で、特殊再診日が火曜日、水曜日、木曜日です。この1年急速に紹介患者数が増加し、病床稼働率は今年1月から6月まで平均106%となっております。

呼吸器は肺癌や呼吸管理を必要とする重症感染症や間質性肺炎の入院が増えています。肺癌は紹介時にstageの症例が多いため、県内の主要施設に専門医を配置し、呼吸器専門外来を通じて肺癌の早期発見に努めております。また患者のQOLを考え、当院や関連病院での外来化学療法も始めています。

神経内科では日常よくみる神経疾患とともに、県内難病ネットワークに参加し、地域医療の協力体制を確立しつつあります。この体制作りは在宅あるいは地域での医療を勧めてゆく上で重要なことでもあります。

代謝、内分泌部門では、最近特に肥満と肥満に起因するいわゆる生活習慣病への取り組みを強化し、肥満特殊外来の導入や宮崎県全体の詳細な臨床疫学調査に着手しました。

クリニカルクラークシップや卒後新研修制度が始まり、臨床教育や医師育成は大学だけでなく地域の病院にもお願いすることとなりました。当教室では学外で活動しておられる臨床家の先生方に臨床教授や助教授あるいは招へい医として臨床教育に協力していただける体制を整え、大学病院を核として実践的な医療や内科救急を習得できる学外の教育病院群を構築し、体系だった卒後教育が行えるように計画しております。

今後も優れた医師の育成とより良き医療を目指し、地域医療の中核となるよう努力する所存ですので、医師会員の先生方におかれましては益々の御支援、御協力をお願いいたします。

(医局長 塩見 一剛)

## 各種委員会

## 医 学 会 誌 編 集 委 員 会

と き 平成16年 6月23日(水)

ところ 県医師会館

上田理事司会のもと、内科の原口靖昭委員長、整形外科の獅子目賢一郎副委員長、宮崎大学医学部臨床検査医学講座の岡山昭彦副委員長が紹介された。

掲載論文22編からなる第28巻1号のカテゴリーの検討が行われ、総説2編、臨床研究2編、診療4編、症例10編、地域医療2編、学会記録2編が決定した。

第29巻1・2号の総説依頼については、1号につき2名ずつ、宮崎大学医学部医学科の新任教授に依頼することが決まった。

出席者 - 原口委員長、獅子目・岡山副委員長  
市来・北村・多田・鮫島・杉田・楠元・  
鶴田・長友委員

県 医 - 上田・脇坂理事  
竹崎課長補佐、串間主事

## 救 急 医 療 委 員 会

と き 平成16年 7月12日(月)

ところ 県医師会館

平成16年度小児救急医療に関するアンケート調査について

県から依頼のあった「小児救急医療に関するアンケート調査」について、県医療薬務課高島課長、林主幹、長倉主事から説明をいただいた。小児科、内科のほかに保護者に対してのアンケートの実施を検討しており、アンケー

トの内容や集計方法など細かな協議については小委員会に一任することに決定した。

平成15年度救急医療現況調査について

平成14年度から県の委託事業で実施した標記調査について早稲田常任理事から説明があった。昨年度は春夏秋冬の4回調査を行い、15年度分の全ての年齢層と小児のみ、14・15年度合わせた全ての年齢層と小児のみの合計4部門に分けて集計した。調査結果については、全医療機関に配布の予定である。

平成16年度救急医療施設医師研修会について

この研修会は県の委託事業であり、昨年度は8月24日にACLS(Advanced Cardiovascular Life Support)アメリカ心臓学会が作成した蘇生法のガイドラインについて、廣兼委員を窓口にして65名の講師による研修会を実施し非常に好評であった。今年度もACLS研修会を廣兼委員にコーディネートをお願いして開催することが決定した。但し、本来の委託事業内容とは異なるため、行政と協議しこれからも新たな予算要請を検討する。

救急の日(9月9日)及び救急医療週間について

平成16年度救急の日・救急医療週間(9月5日(日)～9月11日(土))の行事の実施と報告について早稲田常任理事よりお願いがあった。

出席者 - 布井委員長、永吉副委員長、小牧・  
杉本・千代反田・高島・相澤・百瀬・  
野本・牛谷・廣兼・西口・河野・佐藤・  
山口委員

県医療薬務課 - 高島課長、林主幹、長倉主事  
県 医 - 秦会長、大坪副会長、早稲田常任理事  
和田理事  
島原課長、久永係長、牧野主事

## ご 案 内

## 第 5 回宮崎県医師会医家芸術展

第5回宮崎県医師会医家芸術展を開催する運びとなりました。会員及びご家族の方々から  
絵画・写真・書道の3部門で120点を超える作品を出品いただいております。新しい出品者  
も増えいずれもすばらしい力作でございます。

ご多忙とは存じますが、是非ともご鑑賞いただきますようご案内申し上げます。

会長 秦 喜八郎

日 時：平成16年 8 月24日(火)～ 8 月29日(日) 午前10時より午後 6 時

28日(土)は午後 8 時迄 29日(日)は午後 4 時迄

場 所：県立美術館 2 階 県民ギャラリー(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)

部 門：絵画・写真・書道

出品者：県医師会員とその家族

## 絵 画 部 門

安 藤 宣(西都市)	押 川 千賀子(宮崎市)	齋 藤 幸(えびの市)
齋 藤 キヌエ(えびの市)	佐 藤 彌 吉(宮崎市)	城 山 治 子(清武町)
瀬戸口 敏 明(宮崎市)	瀬ノ口 敬 介(都城市)	谷 口 二 郎(宮崎市)
谷 口 美喜子(宮崎市)	友 成 清 代(宮崎市)	外 山 節 子(日南市)
中 島 知 徳(宮崎市)	長 沼 弘三郎(延岡市)	長 沼 恭 子(延岡市)
藤 木 浩(宮崎市)	淵 脇 和 男(都城市)	細 見 茂 子(宮崎市)
丸 田 真 美(新富町)	吉 賀 幸 夫(宮崎市)	吉 山 絢 子(都城市)
橋 口 哲 美(宮崎市)		

## 写 真 部 門

飯 田 長 雄(都城市)	井 上 日出男(延岡市)	井ノ口 信 子(宮崎市)
岩 橋 幸(小林市)	牛 嶋 壯一郎(宮崎市)	小 川 次 男(宮崎市)
押 川 紘一郎(宮崎市)	木 谷 靖(延岡市)	楠 元 正 輝(宮崎市)
桑 原 淑 子(小林市)	園 田 文 雄(都城市)	田 崎 高 伸(宮崎市)
田 崎 力(高千穂町)	田 中 宏 幸(宮崎市)	谷 口 豊(宮崎市)
永 吉 令 子(都城市)	林 田 中(延岡市)	針 貝 純 子(小林市)
日 高 利 昭(宮崎市)	細 見 潤(宮崎市)	前 田 俊 二(小林市)
松 崎 武 壽(延岡市)	丸 田 茂 徳(都城市)	丸 田 英 夫(新富町)
吉 田 隆(木城町)	渡 辺 命 平(日向市)	竹 尾 康 男(宮崎市)

## 書 道 部 門

岡 村 公 子(延岡市)	尾 上 孝 子(宮崎市)	小 池 明 子(延岡市)
谷 口 恵 美(宮崎市)	谷 脇 かおる(延岡市)	戸 島 万 美(延岡市)
西 山 和 子(宮崎市)	日 高 芳 則(延岡市)	水 田 雅 久(西都市)
宮 崎 良 江(国富町)	弓 削 和 子(延岡市)	吉 山 政 敏(都城市)
弓 削 三重子(宮崎市)		

## 第 1 回各都市医師会長協議会

と き 平成16年 6 月 8 日(火)

ところ 県医師会館

稲倉常任理事の司会により、秦会長の挨拶に引き続き開催された。

### 議 事

#### 1 .5 /11(火) (日医)第 1 回都道府県医師会長協議会について

大坪副会長から、配布資料により次のとおり報告があった。

5 月11日に第 1 回都道府県医師会長協議会が開催されましたが、今年度から秦会長は日医理事として出席されますので、会長代理で出席いたしました。

都道府県医師会長協議会のほぼ 1 週間後に各都市医師会長協議会を開催して報告してきましたが、今回は種々の行事により報告が少し遅れました。

まず、都道府県医師会長協議会に先立ち日医連の宮崎副委員長より日医連常任執行委員会の決定事項について報告がありました。西島選挙は大変厳しい状況にあり、他の候補に比べて出遅れているということでありました。今回の選挙の当選ラインが25～30万票であるということになりますと、現在の状況では苦しいので、全力で取り組んで欲しい。今回の選挙については、広島県の檜田元衆議院議員が日医連参加になっており、檜田参加を西日本担当専従として、各県を廻るのでよろしくということでありました。

都道府県医師会長協議会報告をさせていただきます。

最初に、植松会長から就任 1 か月というこ

とで執行部一丸となって一生懸命取り組んでいる旨挨拶があり、その中でいくつかの問題点を挙げられました。

第 1 点として、中医協は、歯科医師会の問題で、歯科医師会の中医協委員は全て辞任しており、現在は、休眠状態になっているが、早く再開して欲しいと、実務関係があるので非常に困っている。

第 2 点は、最近の年金問題を見ていると、小泉内閣は財政主導の手法で社会保障を縮小する方向で見直そうとしている。これに対し日医は国民の医療を守るために社会保障制度の縮小ではなく、どうあるべきか考え直す時期に来ている。

第 3 点は、市場原理に基づく医療改革に日医としては断固反対である。あくまでも国民皆保険を守り抜く立場で頑張っていく。参議院選挙に関連して会員の政治離れが言われているが、今回の西島選挙は、新執行部にとって最初の試練である。医師会の力を今回の参議院選挙で見せねばならないと思っており、今回の選挙は会員の目を医政に向けさせるチャンスという風にも考えられるので頑張って参りたい。

協議題は、

- (1) 中医協の汚職事件に対する日医の見解を質す沖縄県並びに山口県医師会からの質問に対して、櫻井秀也副会長は、まず、「非常に驚いているし、あってはならないことが起きてしまったと考えている」との感想を述べ、この事

件をきっかけに中医協の見直しを行うとの動きがあることに関しては、見直すことには反対しないが、事件と関連付けて見直しを行うことには賛成できない。

これに関連して 植松会長は、「中医協が取り扱っていることは専門的な事柄が多く、中医協のメンバーの見直しを行って、市民や患者代表を入れるようなことについては慎重にならなければならない」と述べた。

- (2) 診療報酬改定への日医の対応に関する山口県医師会からの質問に対しては、松原謙二常任理事から次のような回答があった。診療報酬検討委員会では、これまでどおり診療報酬の内容に関する具体的な事項の検討を、医療保険制度検討委員会については、医療政策会議に吸収し、診療報酬の体系など、理論的な部分の検討をしてもらう。また、保険の専任担当役員を増員し、チーム(常任理事4人と副会長3人)を組んで、理論武装を行い、厚生労働省と対峙していく。

診療報酬改定の検証は、日医の役目であり、次に役立てられるよう、今後努力して参りたい。また、診療報酬改定のデータ収集は、日医にとっても会員にとっても必要なことであり、早急にシステムを構築したい。

- (3) 新潟県医師会から、「日医各種委員会の答申をもっと積極的に活用すべきではないか」と質問が出され、櫻井副会長は、「答申が、3月の年度末に出ると、年度変わりになって生かせない部分があるので、できたら12月ぐらいまでに出していただきたい。すぐに取り入れてもらいたい場合は、中間答申のような形で、執行部への提案をしていただければ、会務に反映されることになると思う」と説明された。
- (4) 「准看養成に対する日医の考え方」について、香川県医師会から質問があり、青木重孝常任理事から、日医としては、できるだけ郡市区

医師会に頑張ってもらい、准看護師の養成を続けてもらいたいと答弁があった。

厚労省の看護職の需給見通しでは、平成17年に需給が均衡するという予定になっていたが、特に地方都市において大変な不足を来している。これは准看護師養成所の閉校が一番の原因になっている。4月6日に坂口厚労相に面談し、看護職の不足は、今後、社会問題化してくるのではないかと、懸念を持っている旨、申し入れてきた。

寺岡暉副会長から、「ケアマネジャーや介護福祉士等の介護に携わる人が看護職の免許も同時に持って、医療と福祉の連携をしていく。准看護師に関わる、こうした新しい人材が地域の保健・医療・福祉には必要なのだということを主張していかねばならない。」との補足説明があった。

- (5) 沖縄県医師会より、禁煙指導料、ニコチンガム、ニコチンパッチ等を医療保険適用となるよう図って欲しいとの要望があった。

松原常任理事は、医療保険適用に関して、個人的には賛成としながらも、「(1)ニコチンパッチは、ニコチンを更に体に入れることになるという論議がある、(2)医療保険は、原則として、病気に対して適用されるものであり、ニコチンパッチは予防的なものである、(3)財政的な問題などを勘案すると、難しい面が多々ある」と回答した。

- (6) 平成16年度予算の補正については、三上裕司常任理事から、また、第111回日本医師会臨時時代議員会については野中常任理事から、それぞれ説明があった。事業計画の見直しが完了次第、補正予算案を編成し、常任理事会・理事会の協議を経たうえで、第111回臨時時代議員会に上程する予定である。

補正予算のための臨時時代議員会は当初8月頃開催予定であったが、秋の決算の臨時代

委員会と合わせて開催することにし、9月初旬開催の方向で調整していくこととなった。

- (7) 北海道医師会から、「昨年、小泉首相から道州制特区で、医師標準数の算定基準の緩和や自治体病院などの再編整備をして欲しい」との指示があったが、これは全国的に広がる危険性もあり、日医として対応して欲しいとの要望が出された。

これに対して、櫻井副会長から、早速、25日に全理事で、「医療に関する規制改革」をテーマとして検討を開始するとした。また、土屋隆常任理事も、「そもそも特区構想は、一点突破全国展開というものである。北海道にとどまる話ではないと考えており、日医としても検討していく必要がある」と述べられた。

- (8) 日医のテレビ会議、ORCA プロジェクトの見直し内容の島根県医師会の質問に対して、松原常任理事が回答され、まず、3月末日にテレビ電話のシステムが各都道府県医師会に送られた経緯を説明、そのうえで、このシステムが、日医の必要としているテレビ会議をできるような能力はないことがわかったため、医師会にとって将来役に立つものを導入すべく、現在検討中であると説明された。また、ORCA プロジェクトについては、多額の費用がかかっているので、その内容を分析したうえで、適正なものとし、各医療機関に必要な部分については必ず導入したいと考えている。現在の日医標準レセプトソフトは、かなりのレベルに達しているが、ソフトを普段使っている事務の人が乗り換えてもよいと思うような能力のあるものに育つにはもう少し時間が必要である。

更に、「これまでの IT 化してネットワークを作りさえすればよいという考え方を改め、医療機関にとって必要なものは何かという視点に立って医療の IT 化を進めて参りたい」と

述べられた。

- 2 . 6 / 26(土) (県医)平成16年度本会定例総会等について

稲倉常任理事から、配布資料により、6月26日(土)開催の定例総会・互助会・医師連盟大会・医師総決大会の開催内容について、説明され、更に早稲田常任理事から、会員等の多数の参加をお願いされ、各都市医師会のご協力をいただき、各都市医師会に参加人員を割当して、動員をお願いすることになった。

- 3 . 今年のインフルエンザワクチンの供給について

小玉会長から、昨年はインフルエンザワクチンが不足し、買い占める医療機関等があり、その対応に苦慮したが、今年はそういうことがないようにお願いしたいとの要望があった。種々意見の交換があり、今年は、情報を得て、早急に対応することになった。

- 4 . その他

本年度から研修医制度が始まり、研修医の給与問題がある。種々意見交換が行われ、日医を通じて厚生労働省に働きかけていくことになった。

(出席者)

各都市医師会 -

綾部会長、柳田会長、市原会長、  
甲斐会長、永友会長、大塚会長、  
小玉会長、大森会長

県医師会 - 秦会長、大坪・志多副会長、稲倉・  
西村・富田・早稲田・河野・濱砂・  
夏田・浜田常任理事、和田・吉田・  
小牧・高橋・脇坂・中島・上田・  
丹理事

事務局 - 島内事務局長、鳥井元・阿萬・島原  
課長・竹崎課長補佐、児玉国保課長、  
甲斐医協事務長

## 第136回宮崎県医師会定例代議員会(概要)

と き 平成16年 6月17日(木)

ところ 県医師会館

### 議長開会宣言

前原議長が、代議員の定数は33名、現在の出席者は31名であり、総数の過半数以上ですから、定款第44条の規定に基づき代議員会は成立する旨を告げ、18:50分開会を宣した。

### 議事録署名人選出

定款第46条第2項の規定に基づき、議事録署名議員として、23番佐藤雄一先生、27番川島謙一郎先生の両代議員が選出された。

### 秦会長挨拶

ウィークデーの雨の中、ご出席いただき有り難うございます。今、国会において、イラク派兵の問題、年金改正法これらは共に日本歴史の終戦後の曲がり角であると考えております。人生色々、会社も色々、社員も色々とやられている内にいつの間にか終戦後の日本の進路が変わる転換点にいるのではないかという気がしております。

医療制度もご承知のように、骨太の方針2004という来年度予算編成の基本方針におきまして、既に公的保険の守備範囲の見直しをしようと公的保険の範囲を決めようという訳です。混合診療の拡大は、既に特定療養費で混合診療は行われておりますので、混合診療を日本医師会が阻止したということではありますが実際には行われております。それをどこまで拡大していくか、ということでもあります。

もう1点は株式会社参入です。現在のところは高度医療で、しかも自由診療に限るとか、特区に限るとか言っておりますが、これは条例あるいは通達を動かして株式会社参入が一度始まりますと、止め処がなくなります。

今は株式会社が運営している病院が62か所あります。本県でも旭化成とか王子製紙がやっておりますが、採算が合わずに撤退しております。しかし採算が合って東芝とか日立とか、九州では麻生産業・飯塚病院がある訳です。

それで不都合は無いじゃないか。それなら株式会社が参入していいではないかという理論でありまして、理論的根拠を持って反論しないと納得を得られない状況になってきております。

日医新執行部に変わりました、6月20日(第1027号)の日医ニュースをお配りしておりますが、植松会長と寺岡副会長が日医の基本的な方針を発表しております。日医新執行部の理事として会議に出席していますが、5月から規制改革とか骨太の方針に対応する会議を今までに2回開催しております。3割負担導入を阻止するのに失敗したのがお終いであり、そのときに命がけでやらなければいけなかったと思っております。

前執行部は「これを政局にしない」と発言をしておりますが、そのときが関が原の戦いであったと思っております。もう4割5割という話が水面下であっているそうです。

混合診療、株式会社参入、公的保険の見直しにより守備範囲を狭くしようという話等、外堀・内堀が埋められているという感じがしております。

最後の本丸は、医療費の総額をどう決めるかという論議です。

例えば、伸び率の管理をして、「伸び率はこれだけですよ」として、その翌年の伸び率以上に医療費がかかっていけばその分の保険点数、1点

単価を安くしていく。翌年に伸び率をオーバーした分は保険者に返すという形を考えている訳です。ヨーロッパでは、現に行われており大変なことだと思っております。それならどうするかということを考えております。選挙の事は医連の方でお話ししたいと思っております。

一つは「安心・安全の医療」ということをしっかり医師会でやっていかないと、外から攻め込まれて魔女狩りに遭うおそれがあると思っております。

前執行部も新執行部も「自浄作用」の委員会を設置し、不心得者の医師が世間の非難を浴び、それが医療への非難となって返ってくるのでその処分、リピーターの問題等を考えております。「安心・安全の医療をするにはもっとお金がかかりますよ」という話をすべきであると思っております。今後、努力して参りたいと考えております。

もう一つは、診療点数の高い医療機関に対して、削減しようということで、そうしますと山が低くなっていく訳で、それに伴う社保指導、査定等に対して十分なディスカッションをして、対応をして参りたいと思っております。

医師会或いは私達の主張が通るためには、「医政」により医師会の力を見せないとならない現況にありますので、先生方のご協力をお願い申し上げます。

## 報 告

### 1. 平成16年度事業現況報告について

大坪副会長から、去る4月24日開催されました第135回定例代議員会において承認いただきました事業計画に基づきまして、事業を執行しております。平成16年度の事業に着手しまして、まだ約2か月余りでありましたが、事業現況につきまして概要をご報告いたします。

まず、会員の異動状況であります。5月末日現在のA会員は807名、B会員は849名、計1,656名となっております。

次に具体的な事項につきましてご報告いたします。

生涯教育の強化充実に関しましては、各専門分科医会長会を4月9日に開催し、医学会役員等について検討し、更に、本年度は、本会担当により、九州医師会医学会を、10月30日(土)・31日(日)の両日開催しますが、その準備状況についてご説明し、ご了承いただきました。その内容は、日州医事に掲載し、報告しております。

本会医学賞につきましては、選考委員会を6月10日に開催し、医学賞の選考を行い、6月26日の本会定例総会の際に表彰する予定にしております。

産業保健活動につきましては、4月22日に産業医部会理事会を開催し、平成16年度の事業計画・予算等につき、ご検討をいただいております。更に、5月15日に産業医部会総会・研修会を開催しております。

医療関係者対策につきましては、5月22日看護大学におきまして、「看護の日」並びに「看護週間の記念行事」としまして、県および県医師会等の主催により、「みやざきナース Today 2004」を開催しました。盛会裡に終了しております。

広報活動につきましては、広報委員会において、会内広報として、日州医事の充実に努めております。

「医家芸術展」は、来る8月24日(火)から29日(日)の6日間、県立美術館の県民ギャラリーにおいて開催いたします。世話人会を5月7日に開催して準備を進めておりますが、会員の先生方のご協力をいただきまして、写真・絵画・書道について多数の応募があることを期待しております。

代議員の先生方も、「医家芸術展」に是非来ていただきまして、ご鑑賞いただきますようお願いいたします。

各都市医師会との連携につきましては、本年度第1回の各都市医師会長協議会を6月8日に開催し、中央情勢報告等を行っております。

なお、今年度も前年同様、各都市医師会長協議会を開催し、先生方のご意見をいただきながら事業に反映して参りたいと考えております。

九州医師会連合会の運営につきましては、本年度は、本県医師会が担当であります。九州各県医師会長による常任委員会を、既に4月10日、5月29日の2回、更に、5月29日には、九医連定例委員総会、九医連執行委員会を主催してきました。またその際、寺岡日医副会長には「日本医師会新執行部の当面する課題について」特別講演をいただきました。九州各県医師会役員の先生方が、多数参加いただき、有意義に終了しております。

九州医師会医学会の開催準備につきましては、5月21日に九州医師会医学会第1回実行委員会を開催して、来る10月30日(土)・31日(日)両日の九州医師会連合会総会・医学会の開催に向けて、諸準備を進めております。

現在、九州各県医師会全会員への案内誌を作成準備中であります。近く、各都市医師会を通じまして、全会員へ案内誌を配布することにしております。代議員の先生方のご参加をお願いいたします。

その他の事項につきましては、5月18日に宮崎大学医学部教授と県医師会役員・各都市医師会長・各専門分科医会長との懇談会を開催し、地域医療等について懇談し、意志の疎通を図っております。また、6月1日に県福祉保健部と県医師会との懇談会を開催しております。今後とも行政との緊密な連携に努めて参りたいと考えております。

以上が主たる事業現況であります。事業計画に基づきまして、会務の遂行に努力して参りたいと考えております。今後共ご支援、ご協力をお願いしまして、報告を終わらせていただきます。

#### 議 事

- 議案第1号 平成15年度宮崎県医師会各会計  
収入支出決算に関する件  
一般会計  
福祉特別会計  
会館管理特別会計

西村常任理事から、各会計について、配付資料により説明が行われた。その後、尾田監事から、5月27日に甲斐・稲津監事と共に、(1)平成15年度県医諸会計決算、(2)平成15年度県委託料等諸会計決算、(3)平成15年度日本医師会会費取扱収支現況の各項目を詳細に監査し、証憑書類も整備され、出納正確で適正妥当と認めた旨の監査報告が行われた。

議長から質問を求めたが、特に質問もなく、議案第1号は全員賛成により承認可決された。

その後、質問に入った。

赤須代議員から、日医総研の人事関係についての質問は、懇談会に切り替えて、秦会長から、説明が行われた。

永吉代議員から、来年度は、介護保険制度の見直しが行われる年です。医療保険と介護保険の整合性について質問いたします。リハビリテーションに関する質問です。私達の医療機関から在宅訪問リハビリを行いますと、社会保険点数は在宅訪問リハビリ指導管理料530点、週3回が限度となっています。

一方、同じ患者さんに訪問リハビリテーション事業所から訪問リハビリを行いますと550単位、訪問看護ステーションからPTがリハビリを行いますと、830単位となっています。

リハビリは、医師の指示のもとに行うことになってはいますが、同じリハビリを行って治療報酬が医療保険と介護保険で格差があることに全く合点がいきません。走りながら考えるという介護保険制度の見直しの時期に、是非とも医療保険との整合性を求めたいと思います。

河野常任理事から、訪問看護ステーションからの訪問看護サービスの算出基準は、当時の訪問看護1回あたりの報酬額を平均訪問看護時間で割って、訪問看護1時間あたりの報酬額を算出したとなっております。これは訪問看護ステーションから訪問サービスを行いますと、リハビリテーションを含めて訪問看護とみなされることになっており、訪問看護ステーションには訪

問看護リハビリという項目は無い訳です。

つまり、看護師、PT が訪問してリハビリを行っても訪問看護という名目になるようです。日医の見解は、訪問看護ステーションは単独施設で訪問看護のみを行うので事務管理経費等を評価して単価が高めに設定してあるという見解であります。医療機関からの在宅リハビリは、530点でということです。この点数が高いのか低いのかよく判りませんが、医療保険ではそうなっております。

このように算出基準というのが、健康保険と介護保険ではまったく違っている訳です。報酬は健康保険では点数ですが介護保険では単位と

なっております。

その他医療保険と介護保険の整合性が無いというのはいくつもあり、九州医師会介護保険対策協議会等でも度々問題になっており、その度毎に、日医担当理事に要望しております。今後も日医を通じて厚生労働省において是正していただくように努力して参りたいと考えております。

議長閉会宣言

他に質問がないようですので、以上で代議員会の議事等は全部終了いたしました。ご協力をご感謝いたしますとの議長発言があった。

最後に、秦会長からの謝辞が行われ、前原議長が20：05分閉会を宣した。

#### 出席代議員

1番 柳 田 喜美子  
 2番 石 井 芳 満  
 3番 大 窪 利 隆  
 4番 坂 元 一 久  
 5番 井 上 博 水  
 6番 市 原 正 彬  
 7番 牧 野 剛 緒  
 8番 赤 須 正 道  
 9番 甲 斐 文 明  
 10番 渡 邊 康 久  
 11番 永 友 和 之  
 12番 大 塚 直 純  
 13番 小 玉 徳 信  
 14番 山 元 敏 嗣  
 15番 大 森 臣 道  
 16番 前 原 東 洋  
 17番 榎 健 一 郎

18番 植 松 正 雄  
 20番 高 崎 眞 弓  
 21番 綾 部 隆 夫  
 22番 楠 原 敏 幸  
 23番 佐 藤 雄 一  
 24番 井ノ口 寛  
 25番 市 来 齊  
 26番 金 丸 禮 三  
 27番 川 島 謙 一 郎  
 28番 永 吉 洋 次  
 29番 大 淵 達 郎  
 30番 王 丸 鴻 一  
 31番 元 村 祐 三  
 32番 中 山 健  
 33番 増 田 好 治

[ 出席者32名，印は予備  
 代議員，欠席1名 ]

#### 出席役員

会 長 秦 喜 八 郎  
 副 会 長 大 坪 睦 郎  
 " 志 多 武 彦  
 常 任 理 事 稲 倉 正 孝  
 " 西 村 篤 乃  
 " 富 田 雄 二  
 " 早 稲 田 芳 男  
 " 河 野 雅 行  
 " 濱 砂 重 仁  
 " 夏 田 康 則  
 " 浜 田 恵 亮  
 理 事 和 田 徹 也  
 " 吉 田 建 世  
 " 小 牧 一 磨  
 " 高 橋 政 見  
 " 脇 坂 信 一 郎  
 " 中 島 昌 文  
 " 上 田 章  
 " 丹 光 明  
 監 事 尾 田 博  
 " 甲 斐 允 雄  
 " 稲 津 舜 介  
 ( 出 席 22 名 )

## 第15回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会

と き 平成16年6月22日(火)

ところ 宮崎観光ホテル

本年度医師国家試験に合格し、臨床研修を行う医師を対象として、保険診療等説明会及び祝賀会が開催された。

説明会は稲倉常任理事の司会により、志多副会長から「保険診療について」、西村常任理事から「医事紛争について」、濱砂常任理事から「医師会への入会ご案内について」、夏田常任理事から「宮崎県臨床研修運営協議会について」、それぞれ説明が行われ、研修医は熱心に聴講して有

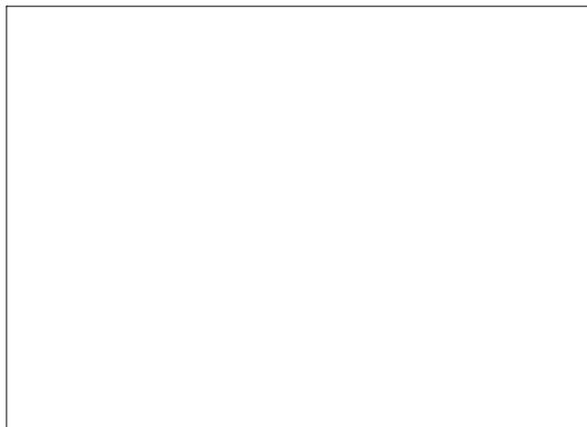
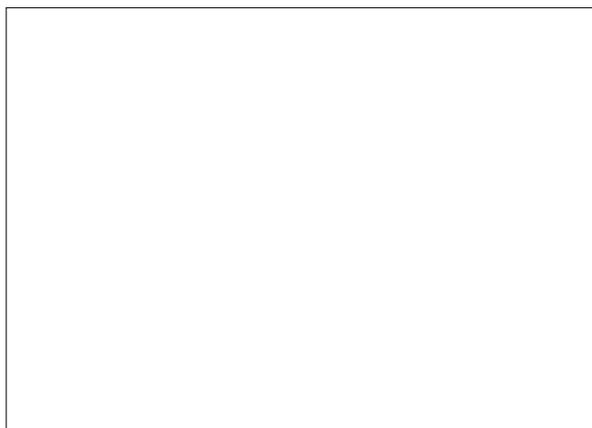
意義に終了した。

祝賀会は中原県福祉保健部長(県知事代理)、住吉宮崎大学長・各教授・各医局長及び豊田県立宮崎病院長・医局長並びに本会役員が出席して開催された。

稲倉常任理事の司会により、まず、秦会長からお祝いのことばを申し上げ、次いで県知事代理として中原県福祉保健部長及び住吉宮崎大学長から激励のことばがあり、豊田県立宮崎病院長の乾杯の発声により、祝賀会が開催された。

開宴の席上、新研修医の自己紹介が賑やかに行われ、盛会裡に終了した。

なお、本会から各研修医には記念の印鑑を贈呈した。



## 平成16年度新研修医名簿

宮崎大学医学部				36名
氏 名	出身 県	氏 名	出身 県	
石 井 廣 人	広 島 県	津 山 陽 子	熊 本 県	
岩 切 太幹志	宮 崎 県	鶴 身 小都絵	大 阪 府	
岩 村 佳 子	宮 崎 県	中 嶋 慶 子	熊 本 県	
宇田川 充 隆	東 京 都	長 野 健 彦	宮 崎 県	
蛭 原 功 介	宮 崎 県	長 嶺 和 弘	宮 崎 県	
大 江 梨 紗	宮 崎 県	新 甫 武 也	宮 崎 県	
加 茂 仁 美	佐 賀 県	比 嘉 聖	沖 縄 県	
河 野 勇泰喜	宮 崎 県	樋 口 誠 二	宮 崎 県	
神 尊 洋 美	宮 崎 県	彦 坂 ともみ	宮 崎 県	
近 藤 恭 平	長 崎 県	福 田 一	宮 崎 県	
酒 井 邦 夫	宮 崎 県	堀 川 永 子	沖 縄 県	
坂 元 昭 裕	宮 崎 県	前 田 理 恵	宮 崎 県	
鮫 島 直 樹	鹿 児 島 県	牧 智 子	大 分 県	
澤 大 介	宮 崎 県	南 史 朗	福 岡 県	
菅 田 耕	鹿 児 島 県	宮 元 周 作	鹿 児 島 県	
須 田 陽 子	鹿 児 島 県	横 田 敦 子	埼 玉 県	
仙 波 速 見	大 分 県	米 井 彰 洋	福 岡 県	
田 代 耕 盛	宮 崎 県	笠 新 逸	熊 本 県	
県立宮崎病院				13名
氏 名	出身 県	氏 名	出身 県	
福 留 祥 子	宮 崎 県	高 野 学	栃 木 県	
小 野 暢 子	宮 崎 県	兒 玉 圭 子	宮 崎 県	
宇 戸 啓 一	宮 崎 県	本 村 良 知	福 岡 県	
河 野 奈央子	宮 崎 県	早 水 憲 吾	鹿 児 島 県	
森 田 洋 之	東 京 都	永 山 学	宮 崎 県	
田 原 健 丞	広 島 県	山 下 靖 宏	宮 崎 県	
竹 囲 永 美	宮 崎 県			

## 宮崎県医師会互助会定時評議員会

### 開 会

近間議長の開会宣言により開会された。

### 秦 会長挨拶

本日は平成15年度の決算をご審議いただくわけであるが、決算書の果実部分において、本年度は多額の支出が発生しており、果実の現在残高からみて、このままの状態が続くとあと約8年間で果実がなくなってしまうことになる。

休業に関する見舞金の支出がほとんどを占めており、今後、互助会を運営していくためには、特にこの休業見舞金の会員への給付のあり方の見直しは必至とみられる。納入した会費の額を限度として、支給される終業見舞金、また会員が死亡したときは、納入した会費の額について全額を返還する規程になっている。

そこで、和田担当理事に対し、互助会の取扱い規程について抜本的な見直し等を行い、今後の互助会の運営のあり方について検討をお願いしたい旨の要請があった。

### 報 告

- 1) 基金の預金現況
- 2) 互助会加入者数
- 3) 互助会融資規程による郡市医師会別融資証明数(額)
- 4) 取扱銀行別融資証明数(額)

以上について和田担当理事より報告が行われた。

### 議 事

#### 議案第1号 平成15年度宮崎県医師会互助会収支決算について

和田担当理事より、会費の部・利息の部について、収入状況及び支出状況の内容について説明が行われた。その中で、利息の部において本年度分の収入に対し、支出が圧倒的に多く、多額の赤字を計上し、本年度分は昨年度分よりも、さらに約500万円の赤字が増えている。利息の部は運用面が厳しく、休業見舞金の給付が互助会

と き 平成16年6月24日(木)

と ころ 県医師会館

事業のメインで、本年度は休業見舞金の支出が多額(27名分)を占め、利息の部は休業見舞金の支出状況に大きく左右されている。

本年度の利息残高は前年度に比し減少になっている旨の報告がなされた。

続いて、楠元監事から監査報告が行われた。

近間議長が採決に入り、賛成全員で原案どおり承認可決された。

### その他

評議員から休業見舞金の給付として毎年度、多額の支出が発生すると利息の部は、毎年大きな赤字を計上することになり、何年後は利息がなくなる勘定になる。そこで、抜本的な対応が必要とみられるが、執行部の今後の対応をお尋ねしたい旨の質問があった。

執行部から、互助会の監査時にその件が毎年取り上げられ、見直しの結果、納入会費に対する複利部分(0.5%)のカットを行ったこと、互助会の会員相互扶助の精神のもとで運営するという規程があり、そのためには休業見舞金の給付期間の短縮、返還すべき会費を全てお返しできないこと等も含め、経過を見ながら、小委員会などを作り、今後の互助会の運営のあり方を検討したい旨の回答がなされた。

### 出席者

評議員 - 近間議長, 下村・永吉・元村・河野・近藤・福元・佐々木・野邊・日高・野田・三ヶ尻・千代反田・喜多・石見・山元・大井・佐保・宮崎評議員

支部長 - 綾部・大塚・小玉・大森支部長

監 事 - 尾田・甲斐・楠元・押川・田中監事

県 医 - 秦 会長, 大坪・志多副会長, 稲倉・西村・富田・河野・浜田常任理事  
和田・小牧・上田・丹理事

事務局 - 島内事務局長, 阿萬課長, 大野係長  
安井・喜入主事

# 平成16年度 第59回宮崎県医師会定例総会 第54回宮崎県医師会互助会総会

と き 平成16年 6 月26日(土)

ところ 県医師会館

## 定例総会

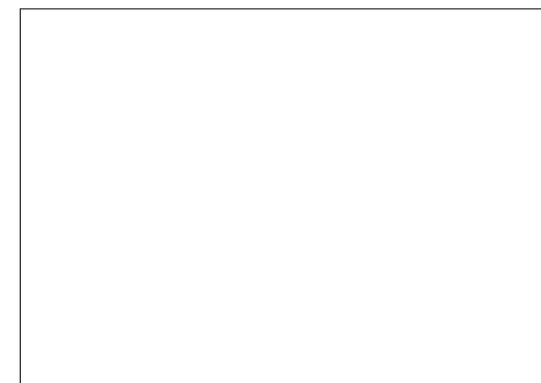
稲倉常任理事の司会により、大坪副会長から開会挨拶があった。

最初に、平成15年 6 月28日の定例総会以降の19名の物故会員の先生方のご生前の遺徳を偲び黙祷を捧げた。

永 嶺 陽 一 先生 ( 宮 崎 )  
田 爪 陽一朗 先生 ( " )  
倉 岡 誠 三 先生 ( " )  
丸 田 喜 太 先生 ( " )  
日 高 敏 美 先生 ( " )  
宮 里 典 先生 ( " )  
高 野 富 家 先生 ( " )  
田 代 逸 哉 先生 ( " )  
黒 木 建 次 先生 ( " )  
徳 丸 泰 稔 先生 ( " )  
土 井 彰 先生 ( 都 城 )  
野 邊 堅太郎 先生 ( " )  
坂 口 瑞 生 先生 ( " )  
中 野 宏 先生 ( " )  
武 石 邦 夫 先生 ( " )  
清 永 恕 先生 ( 延 岡 )  
和 田 文 男 先生 ( 日 向 )  
富 田 次 雄 先生 ( 西 都 )  
黒 木 達 先生 ( 西 諸 )

## 秦 会長挨拶

本日は、第59回定例総会を開催いたしましたところ、日本医師会長代理として宮崎秀樹副会



長、安藤忠恕宮崎県知事、江藤 拓・古川禎久衆議院議員、住吉昭信宮崎大学長を始め、来賓の方々にご出席いただきまして、心から感謝申し上げます。

また、永年地域医療に貢献をいただき、栄ある表彰・叙勲等を戴かれた先生方に心から感謝と祝意を申し上げます。

今朝の日経新聞に国の借金が700兆円になったと載っておりましたが、税収が42兆円ですから気の遠くなるような借金であります。この原因は「社会保障費が増加したからだ」と書いておりましたが、社会保障費がどうも悪者になっているようであります。6月4日に閣議決定されました「骨太の方針2004」でも、制度改革を進めて社会保障費を抑制していかなばならないと、そういうことが国の基本の方針となっているような現状であります。

ご承知のように医療制度改革の名の下に既に経済財政諮問会議或は規制改革民間開放推進会

議において、混合診療導入、株式会社参入を相変わらず唱えてきております。

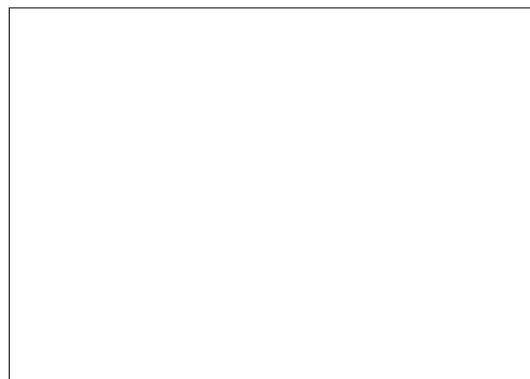
6月23日には日本医師会役員がヒアリングに行き、縷々説明をしておりますが、新聞等の報道によりますます理解はあまり得られていないようです。そういうことで思い返しますと、昨年の3割負担導入、これが関が原だったと思っておりますが、これに敗れて以来、外堀・内堀が段々埋められて参りました。例えば、医療費総額規制とか公的保険の守備範囲の見直しを始めるとか、本丸の方に火の手が上がってきています。このままで行きますと先人が築いてきました世界に冠たる国民皆保険制度は崩壊寸前であると認識しております。

これからの2年間にそういう医療制度、広く言いますと社会保障制度であります、国の基本方針が決まる、これで国のあり方も決まると私は考えております。この2年間の方向付けは非常に大事であろうと思っております。

私どもは、国民の信頼を得て国民のための医療制度改革、そういうものを目指す必要がある。そのためには、第1点は、医療事故が毎日マスメディアの紙面を賑わせてはいけないと思っております。「安心・安全の医療」を徹底的に行い、国民の信頼を得る必要があると思っております。情報の開示、広報が非常に大事であると認識しております。

第2点は、国民の代表である国会議員の先生方をしっかり説得しまして、私どもの意見に耳を貸していただきたいと思っております。

更に進みますと、私どもの代表を国会に送り込んでおく必要があり、西島選挙を一生懸命にやっている訳でございます。自分の選挙、家族や従業員のための、国民のための選挙であると考えています。ご理解を賜りたいと思っております。



本年度は、九州医師会連合会の担当県が宮崎県医師会でございます。更に、日本医師会理事が順番により本県医師会であります。直接、日医会長、副会長、常任理事の方々と毎月1回お話ししております、そのほかにもお会いする機会が増えますので、地方から日本の医療を変えて参りたいと考えております。皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

その後、秦会長から新執行部役員のご紹介があった。

引き続き、来賓祝辞及び来賓紹介が行われた。

#### 来賓祝辞

植松 治 雄 日本医師会長  
 (宮崎秀樹日医副会長代読)  
 安藤 忠 恕 宮崎県知事  
 江藤 拓 衆議院議員  
 古川 禎 久 衆議院議員

#### 来賓紹介

住吉 昭 信 宮崎大学学長  
 中原 健 次 宮崎県福祉保健部長  
 中山 成 彬 衆議院議員(代理)  
 上杉 光 弘 参議院議員(代理)  
 小齊平 敏 文 参議院議員(代理)

## 宮崎県医療功労者知事表彰

立山浩道先生(宮崎),井上博水先生(都城),  
渡邊命平先生(日向),河野恭一郎(児湯),山口  
和彦先生(南那珂),針貝正純先生(西諸)の6名に  
対し,医療功労者知事表彰が安藤県知事から行  
われた。

## 退任役員(前役員)に対する感謝状贈呈

退任役員(前役員)として,前理事の小玉徳信  
先生(南那珂)・高崎眞弓先生(宮大)・池井義彦  
先生(西諸),前議長の大塚直純先生(西都),前  
副議長の岩田達男先生(南那珂)に秦会長から感  
謝状が贈呈された。

## 県医師会医学賞贈呈

大坪副会長が,選考結果を説明し,「睡眠  
時無呼吸症候群の臨床像と生活習慣病との関  
連について」長友安弘先生他(第27巻第1号)

「HMG - CoA 還元酵素阻害剤による抗炎症  
作用」江藤琢磨先生他(第27巻第2号)の2論文を  
優秀論文として,秦会長から本会医学賞が贈呈  
された。

## 永年勤続事務職員表彰

永年勤続事務職員(20年以上)としての功労に  
より,本会地域医療課 小川道隆課長補佐に秦会  
長から表彰状が贈呈された。

## 高齢会員祝賀

米寿会員(4名)(大正5年1月1日～

大正5年12月31日生 88歳)

貴島 テル子 先生(宮崎)

隈元 宗夫 先生(宮崎)

假屋 壽生 先生(都城)

永友 正典 先生(西都)

喜寿会員(39名)(昭和2年1月1日～

昭和2年12月31日生 77歳)

麻生 昭典 先生(宮崎)

大田原文 男 先生(宮崎)

苅部 元継 先生(宮崎)

貴島 信夫 先生(宮崎)

黒田 隆 先生(宮崎)

重城 壽雄 先生(宮崎)

高木 秀昭 先生(宮崎)

高山 幸子 先生(宮崎)

土居 博 先生(宮崎)

浜田 健三 先生(宮崎)

古川 正次 先生(宮崎)

森 建二郎 先生(宮崎)

山下 宗秀 先生(宮崎)

山下 盛尚 先生(宮崎)

久保 貫 先生(都城)

相良 直矢 先生(都城)

田中 昭彦 先生(都城)

飛松 憲夫 先生(都城)

政所 修治 先生(都城)

宮永 家昌 先生(都城)

萩原 武雄 先生(延岡)

平野 宏 先生(延岡)

廣田 昭三 先生(延岡)

吉田 精孝 先生(延岡)

児玉 三千男 先生(日向)

千代反田 泉 先生(日向)

寺尾 博二 先生(日向)

沼田 俊男 先生(日向)

松岡 弘 先生(日向)

黒木 和裕 先生(児湯)

岩田 達男 先生(南那珂)

久光 富貴子 先生(南那珂)

丸田 民昭 先生(南那珂)

吉見 俊雄 先生(南那珂)

落合 紀夫 先生(西諸)

鬼塚 恵一郎 先生(西諸)

園田 定己 先生(西諸)

前田 昭久 先生(西諸)

森 憲正 先生(宮大)

各種表彰祝賀〔受賞(章)者〕

平成15年 8月 5日

保健衛生功勞により従六位・勲五等瑞宝章

故野 邊 堅太郎 先生(都 城)

平成15年 8月11日

学校保健及び学校安全功勞により

県教育長表彰

菊 池 清 文 先生(宮 崎)

柳 田 琢 也 先生(都 城)

吉 山 政 敏 先生(都 城)

瀨 田 義 次 先生(都 城)

平 野 宏 先生(延 岡)

江 崎 隆 先生(延 岡)

甲 斐 允 雄 先生(延 岡)

浦 上 裕 先生(日 向)

藤 浦 芳 郎 先生(南那珂)

平成15年 9月 9日

救急医療事業功勞により厚生労働大臣表彰

又 木 平八郎 先生(延 岡)

平成15年 9月19日

救急医療事業功勞により県知事表彰

松 崎 武 壽 先生(延 岡)

和 田 徹 也 先生(日 向)

大 塚 直 純 先生(西 都)

平成15年 9月27日

男女共同参画功勞により県知事表彰

柳 田 喜美子 先生(都 城)

平成15年10月17日

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

故倉 岡 誠 三 先生(宮 崎)

平成15年10月24日

宮崎日日新聞賞(文化賞)

立 山 浩 道 先生(宮 崎)

宮崎日日新聞賞(科学賞)

三 山 吉 夫 先生(宮 大)

平成15年10月29日

社会保険診療報酬支払基金関係功勞により

厚生労働大臣表彰

千 阪 治 夫 先生(宮 崎)

平成15年10月29日

国民健康保険関係功勞により厚生労働大臣

表彰

豊 田 清 一 先生(宮 崎)

平成15年10月29日

精神保健福祉事業功勞により県知事表彰

永 田 利 安 先生(都 城)

平成15年10月31日

精神保健福祉事業功勞により厚生労働大臣

表彰

夏 吉 新 平 先生(延 岡)

平成15年11月 3日

保健衛生功勞により旭日双光章

姉 川 朔 実 先生(都 城)

保健衛生功勞により瑞宝小綬章

谷 口 裕 先生(西 都)

平成15年11月 5日

公衆衛生事業功勞により県知事表彰

青 木 宏 先生(宮 崎)

児 玉 實 志 先生(都 城)

平成15年11月 5日

老人保健推進事業功勞により県知事表彰

故丸 田 喜 太 先生(宮 崎)

平成15年11月 6日

母子保健家族計画事業功勞による厚生労働

大臣表彰

塚 田 嘉 也 先生(都 城)

平成15年11月 6日

学校保健及び学校安全功勞により文部科学大

臣表彰

佐 井 勇二郎 先生(延 岡)

平成15年11月11日  
社会福祉功勞により厚生労働大臣表彰  
落合紀夫先生(西 諸)

平成15年11月11日  
生活保護行政運営功勞により  
厚生労働大臣表彰  
田上恒雄先生(西臼杵)

平成15年11月19日  
青少年健全育成功勞により県知事表彰  
杉本 潜先生(延 岡)

平成15年11月20日  
公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰  
佐藤重国先生(西 都)

平成15年11月20日  
公衆衛生事業功勞により(財)日本公衆衛生  
協会長表彰  
瀨田義次先生(都 城)  
田中浩夫先生(日 向)  
中林永一先生(西 都)

平成15年11月24日  
保健衛生功勞により正六位 瑞宝双光章  
故清永 恕先生(延 岡)

平成15年12月24日  
保健衛生功勞により正六位  
故和田文男先生(日 向)

平成16年 4月29日  
学校保健功勞により瑞宝双光章  
青山雅行先生(延 岡)

保健衛生功勞により旭日双光章  
児玉三千男先生(日 向)

平成16年 6月25日  
男女共同参画社会づくり功勞により  
内閣官房長官表彰  
柳田喜美子先生(都 城)

平成16年 6月26日  
地域医療功勞により県知事表彰  
立山浩道先生(宮 崎)

井上博水先生(都 城)  
渡邊命平先生(日 向)  
河野恭一郎先生(児 湯)  
山口和彦先生(南那珂)  
針貝正純先生(西 諸)

## 報告・議事

議事の進行にあたり、本会定款第30条により、  
秦会長が議長になり、議事録署名人として、千  
阪治夫先生、永吉洋次先生(いずれも宮崎)の2名  
が選出され、報告・議事に入った。

## 1. 報 告

大坪副会長から配布資料により「代議員会  
における決議事項」及び「会務報告」について、  
説明があった。

## ○第134回臨時代議員会

平成16年 2月21日(土)開催し、下記のいずれ  
の議案も承認可決された。

議案第 1号 平成16年度宮崎県医師会暫定事  
業計画に関する件

議案第 2号 平成16年度宮崎県医師会各会計  
収入支出暫定予算に関する件

一般会計

福祉特別会計

会館管理特別会計

議案第 3号 平成16年度宮崎県医師会暫定会  
費に関する件

次期本会役員等について

選挙が行われ、次期役員等が選任された。

(内容は、日州医事 4月号に掲載)

## ○第135回定例代議員会

平成16年 4月24日(土)開催し、下記のいずれ  
の議案も承認可決された。

議案第 1号 平成16年度宮崎県医師会事業計  
画に関する件

議案第 2号 平成16年度宮崎県医師会各会計  
収入支出予算に関する件

一般会計  
 県・その他からの委託事業・  
 補助事業特別会計  
 福祉特別会計  
 会館管理特別会計

(内容は、日州医事 6 月号に掲載)

○第136回定例代議員会

平成16年 6 月17日(木)開催し、下記のいずれ  
 の議案も承認可決された。

議案第 1 号 平成15年度宮崎県医師会各会計  
 収入支出決算に関する件

一般会計  
 福祉特別会計  
 会館管理特別会計  
 (内容は、38ページに掲載)

会務報告に関しては、主なる行事は、その  
 都度、日州医事に掲載して報告しているが、  
 平成15年度会務報告は 7 月号日州医事別冊と  
 して、詳細に掲載するので、本日の総会では  
 省略する旨の報告があり、質問もなく異議な  
 く了承された。

2. 議 事

議案第 1 号 平成15年度宮崎県医師会各会計  
 収入支出決算に関する件

一般会計  
 福祉特別会計  
 会館管理特別会計

西村常任理事から、配布資料により説明し、  
 質問もなく異議なく承認された。

最後に、志多副会長から、閉会挨拶があり定  
 例総会を閉会した。

その後、互助総会が開催された。

互助会総会

規程により、秦会長が議長となり、報告・議  
 事が行われた。

和田理事から、平成16年 6 月24日(木)開催され  
 た互助会評議員会の下記報告及び議事について  
 説明が行われ、質疑もなく了承された。

1. 報 告

基金の預け入れ  
 互助会加入者数  
 互助会規程による各都市医師会会員融資証  
 明数  
 取扱銀行融資証明額

2. 議 事

議案第 1 号 平成15年度宮崎県医師会互助会  
 収支決算について

以上をもって、互助会総会を終了し、引き  
 続き、平成16年度医師連盟大会並びに医師総  
 決起大会が開催され、盛会且つ有意義に終始  
 し、全日程を終了した。

なお、出席者は 572名であった。

## 薬事情報センターだより (208)

## アンジオテンシン受容体拮抗薬

アンジオテンシン受容体拮抗薬(A受容体拮抗薬)は、新しいJNC-7やESH/ESCで、アンジオテンシン変換酵素阻害薬(ACE阻害薬)とは独立した第一選択薬として認知される等、高血圧治療薬として一定の地位を築いています。

このA受容体拮抗薬が、我が国における一般の臨床の場に登場したのは1998年ですから、新しい分類に属する高血圧治療薬だと言えます。1998年にロサルタンカリウムが登場した後、だいたい一年に一成分の割合でこの分類に属する薬が登場し、現在では5成分(下表)となっています。

A受容体拮抗薬はレニン・アンジオテンシン系(RA系)に作用する薬ですが、RA系に作用する薬としては、ACE阻害薬がよく知られています。A受容体拮抗薬の特徴としては、ACE阻害薬に観られる空咳の副作用が少ないことが挙げられます。ACE阻害薬による空咳は、ACEがアンジオテンシンからアンジオテンシンへの変換を行う酵素であると同時に、カリクレン・キニン系のブラジキニンを分解する酵素でもあるため、ACEを阻害すると血中のブラジキ

ニン濃度が上昇し、空咳が発生するためと考えられています。

A受容体拮抗薬が直接作用するアンジオテンシン受容体には何種類かのサブタイプが存在することが知られていますが、A受容体拮抗薬の主な作用はAT₁受容体を介するものと考えられています。このAT₁受容体への作用の仕方によって現在販売されている薬を分類すると、カンデサルタン シレキセチルとオルメサルタン メドキシソミルはそれぞれ加水分解され、カンデサルタンとオルメサルタンになった後に作用するプロドラッグに分類できます。一方、バルサルタンとテルミサルタンはそのものが作用する活性型に分類できます。また、ロサルタンカリウムは未変化体(ロサルタン)も活性を有しますが、代謝物であるカルボン酸体がより強い活性を示しますので、プロドラッグに近いと考えられます。

A受容体拮抗薬はいずれも1日1回投与でその効果を発揮するため、患者さんのコンプライアンスも良いと考えられ、A受容体拮抗薬の登場は高血圧治療に新たな選択肢を提供したものであったと考えられます。

## 現在販売されているアンジオテンシン受容体拮抗薬

一 般 名	商 品 名	販 売 開 始 年 月
ロサルタンカリウム	ニューロタン錠	1998年 8月
カンデサルタン シレキセチル	プロプレス錠	1999年 6月
バルサルタン	ディオバン錠	2000年11月
テルミサルタン	ミカルディスカプセル	2002年12月
オルメサルタン メドキシソミル	オルメテック錠	2004年 5月

参考) ガイドラインに基づく高血圧治療 - 薬物療法 . 臨床と薬物治療23(4), 20-24. 2004  
空咳少なく ACE 阻害剤の後継候補に . 日経 D I41, 42-43. 2001

## 日医 FAX ニュースから

### 混合診療解禁問題は特定療養費制度の改善で

櫻井秀也副会長は6月29日の会見で、政府の規制改革・民間開放推進会議が主張する混合診療の解禁問題について改めて反対姿勢を示すとともに、国民のニーズが高く、普及が望まれる医療技術に関しては、保険適用を前提とした高度先進医療制度のような特定療養費制度を改善することで対応すべきだと強調した。一方で、特定療養費制度の拡大については、180日超の長期入院患者に対する入院基本料の特定療養費化などを例に、無原則な拡大運用に注意する必要性も説いた。

現行の特定療養費制度は、高度先進医療と室料差額や予約診療などアメニティ部分の「選定療養」の2つに分類される。櫻井副会長は高度先進医療の位置づけとして「その実施については未だ一般に普及するには至っていないものであり、当該医療が一般に普及し、保険に導入されるまでの間、本制度の対象とする」とした厚生労働省保険局通知を例示した。そのうえで、高度先進医療には該当しないが、技術の普及や保険導入が望まれる医療についても特定療養費制度に含める必要性を指摘。「2つの括りにしているのをやめて、新しい分類に入れる」ことを提案した。

あわせて現行の高度先進医療制度では、制度の対象となった医療技術について「承認した後のフォローがない」との問題意識を強調した。期間を決めて導入された技術の見直しや運用状況などを検証する必要性もあげた。

(平成16年7月2日)

### 保健事業の地域・職域連携を全国に普及へ

厚生労働省は7月1日、「地域・職域連携共同モデル事業評価検討会」の初会合を開き、地域保

健と産業保健の連携策について検討を始めた。地域・職域連携の普及方策などのガイドラインを11月までにまとめる予定で、連携が全国に広がることを目指す。

地域保健と産業保健は制度や目的、対象者が異なるため、連携がとれていない。しかし、生活習慣病の予防には青壮年期からの健康づくりが重要なことから、地域・職域連携による保健活動を充実させるための方策を全国に普及させることにした。

厚労省は、2002年度から2年間にわたり、市町村を実施主体にした連携のモデル事業を全国9か所で実施。各市町村は、保健所や地域産業保健センターなど地域保健と産業保健の関連機関による「地域職域連携推進協議会」を設置して、小規模事業所の実態調査や研修会を行うなどの事業を行っている。

同検討会は、モデル事業を行った自治体から、実施状況や課題、連携の効果などをヒアリングして連携策を議論。委員7人で設けるワーキンググループで検討内容を整理しながら、11月にガイドライン、来年2月に報告書をまとめる。

(平成16年7月6日)

### 健保組合・関連団体による健康サービス産業創出 経産省

経済産業省は今年度から3年計画で、健康保険組合や医療関連企業、医療関連団体などによる予防事業などを柱とした「健康サービス産業」の創出に向けた取り組みを始める。経産省は今年度「健康サービス産業創出支援事業」の予算として19.8億円を確保。全国11地域での地域活動組織(コンソーシアム)による保健・医療事業の推進をサポートする。健康保険組合が関与するプロジェクトも複数採択した。健保組合が行う保健事業の促進を図ることで疾病を予防し、医療費の削減を図るとともに、健康サービス産業にかかわる「新しいビジネスモデル」を提案したい考えだ。

(平成16年7月6日)

## 注射・点滴，輸血でエラー要因分析 第10回ヒヤリ・ハット事例収集

厚生労働省は7月7日に開かれた「事例検討作業部会」(部会長=橋本迪生・横浜市立大学医学部教授)で、ヒヤリ・ハット事例収集等事業の第9・10回の集計結果を報告した。

集計結果によるとヒヤリ・ハット事例は、第9回(昨年7月～9月)が69施設から1万4263事例、第10回(昨年10月～12月)は80施設から1万3443事例の報告があった。「間違いが実施されたが患者に影響がなかった事例」は、第9回で72%、第10回で75%と7割を超えた。

第9回集計(昨年8月27～11月25日)では、記述式で詳細な報告を求める「重要事例情報」は1551件(有効件数)、「医薬品・医療用具・諸物品等情報」は127事例だった。重要事例情報では、報告数の多い事例は従来と変わらず与薬「内服・外用」13.4%、「点滴・注射」10.6%、「チューブ・カテーテル類」13.0%、「転倒・転落」10.5%、「調剤・与薬準備」4.9%に関するものだった。ただ、転倒・転落の割合が減少する一方、与薬の割合が増加した。

第10回(昨年11月26日～今年2月24日)の収集件数は1879件(有効件数)で、与薬「点滴・注射、輸血」29.0%、「内服・外用、麻薬」15.0%、「転倒・転落、抑制」15.2%、「チューブ・カテーテル類」14.1%に関する事例の発生割合が依然として高い。このため第10回は報告件数の多かった「注射/点滴・輸血」をテーマに分析した。

(平成16年7月9日)

## サテライト診療所問題，四病協に提起

青木重孝常任理事は7月11日、宮崎市で開かれた九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会で中央情勢報告を行い、「紹介率とサテライト診

療所の問題は、いま考えている医療提供体制のなかで大きな問題だ」と述べ、今月下旬に初会合を開く四病協との協議会でサテライト診療所の問題を議題にとりあげる考えを示した。

(平成16年7月16日)

## 医療費2.8%増

### 04年2月分メディアス

厚生労働省保険局は7月12日までに、2004年2月の「最近の医療費の動向(MEDIA S)」をまとめた。医療保険医療費の総額は、前年同期比で2.8%増となった。このうち被用者保険は1.6%の減少。とくに本人は5.4%の減少となっており、01年度1月以来の減少傾向が続いている。休日数などの影響を補正した医療費総額の伸び率は2.0%増だった。

2月の医療費は国保(9.5%)被用者家族(0.4%増)、老人保健(1.9%増)が伸びた一方で、被用者本人が5.4%減少した。また、公費を含めた医療費総額は9.1%増となった。

医療保険医療費を制度別の診療諸率で見ると、被用者保険本人(70歳未満)の受診率は入院6.8%減、入院外3.6%減。1件あたり日数は入院0.4%減、入院外3.4%減となり、日数の短縮化傾向は依然として続いている。1日あたり医療費は入院3.0%増、入院外3.3%増だった。

国保は9.5%増と高い伸びを示した。受診率は入院0.5%増、入院外2.6%増とともに伸長。1件あたり日数は入院3.1%増、入院外3.2%増となり、1日あたり医療費は、入院2.2%増、入院外1.2%減だった。

老人保健は、受診率が入院2.6%増、入院外1.0%増と増加。1件あたり日数は、入院3.7%増、入院外1.6%減となった。1日あたり医療費は入院1.1%増、入院外3.7%増だった。

(平成16年7月16日)

## 医事紛争情報

メディアファクスより転載

### 医師派遣窓口を一本化 札幌医大

札幌医科大学(今井浩三学長)は5月27日、今年1月に医師派遣窓口を一本化してから初めての「医師及び歯科医師派遣対策委員会」を開催し、医師派遣の処理状況を報告した。

報告によると、今年1月から5月14日までの間に、495医療機関から1761件の派遣要請(継続分1448件、新規分313件)があり、そのうち派遣継続要請分では99.5%にあたる1441件(常勤349件、常勤外1092件)が「派遣可」となった。とくに常勤医の派遣継続要請については100%派遣可能としていた。一方、「派遣不可」とされたケースは7件(0.5%)。「要請内容が日直・日当直で、これまでは研修医が派遣されていたケース。新医師臨床研修制度で派遣できなくなり調整がつかなかった」ためだという。

新規の派遣を求めた313件については、135件(43.1%)が「派遣可」とされた。内訳は常勤13件、常勤外122件。

派遣が認められたケースを市町村別で見ると、「札幌市内の医療機関への派遣」が691件(44.1%)、「札幌市以外の市」が587件(37.4%)、「町村」が290件(18.5%)となり、札幌市内への派遣件数が4割を超えた。ただし、常勤医の派遣件数に限って見ると、「札幌市内」は92件(25.8%)にとどまり、「札幌市以外の市」が216件(60.5%)、「町村」へは49件(13.7%)となっている。同大では「札幌市以外の地域により多く常勤医を派遣している」としている。常勤医派遣では、道外への派遣が5件5人あった。

同大では、「新派遣制度のスタートにあたり、医師引き揚げの事態にならないよう留意し調整した」としている。また派遣対策委員会の学外委員を勤めている北海道医師会の飯塚弘志会長は、「新しい派遣制度の下で、短期間だったが良く

やった」と100%に近い継続分については評価したが、新規分については「まだ不十分」と述べ、さらなる対応を求めた。

### 止血用の綿により下半身マヒ

高知市民病院で肺結核の手術を受けた女性患者が、止血用の綿で神経を圧迫され下半身まひになる事故があり、高知市が患者に2000万円の損害賠償を支払うことで5月24日までに示談が成立した。同市は6月開会の市議会に議案を提出する。

同病院によると、患者は高知県南国市に住む70歳代の女性で、2002年8月に肺結核の手術を受けた。医師が止血のため、体内で溶ける種類の綿を胸部に詰めて手術を終えた。

女性がしびれを訴えたため、翌日になって緊急手術で綿を除去。しかし血液を吸って膨張した綿が神経を圧迫し、まひが残ったという。女性は身体障害1級と認定され、車いすで生活している。大脇嶺院長は「ミスとは考えていないが、重大な結果となり、申し訳ない」と話している。

### 出産時の判断を誤ったとして

#### 1億4000万円の賠償

産婦人科病院の医師が出産時の判断を誤ったために仮死状態で生まれ、重い障害が残ったとして東京都練馬区の男児(5)と親が約1億7500万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、名古屋地裁の佐久間邦夫裁判長は5月27日、病院を経営する名古屋市名東区の医療法人に約1億4000万円を支払うよう命じた。

佐久間裁判長は判決で、医師は男児の出産中、分娩室とは別の部屋で書類を整理しながら監視装置のモニター画面を見ており、心拍数が異常の兆候を示したのに判断を誤ったうえ、その後速やかに出産させる手段をとらなかったと認定した。賠償額については、男児が労働できた期間は49年間で、平均寿命までの75年間の介護が必要と判断。両親への慰謝料などを加算した。医療法人側は「適切な処置だった」として控訴の

方針を示している。

判決によると、男児は1999年4月、同法人が経営する名古屋市千種区の産婦人科病院で仮死状態で出生。2000年4月に身体障害者1級の認定を受けた。

### 診察終え帰宅後急変，死亡

6月13日に交通事故で富山市の富山医科薬科大病院(小林正院長)に運ばれた女性(70)が、診察を終えて帰宅後に容体が急変して死亡し、同病院が内部の医療事故調査委員会で事実関係を調べていることが16日わかった。

富山県警小杉署によると、女性は13日夕、同県小杉町の交差点で、娘の車の助手席にいて交通事故に遭い、同病院に運ばれたが、腰の打撲と診断され帰宅した。その後、容体が急変し、再び同病院に運ばれたが、事故の約7時間半後に亡くなったという。

14日に金沢大学医学部で行った司法解剖で、腰の骨折による出血が確認された。同署は「交通事故で亡くなった可能性があり、引き続き調べる」としている。

同病院は「遺族の同意が得られ次第、(内部調査の結果を発表したい)」としている。

### 副作用を見落とし患者死亡

愛知県豊橋市の豊橋市民病院(瀬川昂生院長)で昨年6月、リウマチの女性患者(63)が抗リウマチ剤の過剰投与で再生不良性貧血を起こし、合併症で死亡していたことが6月7日わかった。同病院は投薬ミスを認め、遺族に謝罪した。

同病院によると、女性は2001年1月に通院を開始。02年5月から、再生不良性貧血を引き起こす可能性がある抗リウマチ剤を毎日1錠投与し、昨年3月には投与量を毎日2錠に増やした。昨年5月、女性が体調不良を訴えて緊急入院。再生不良性貧血が判明し、抗リウマチ剤の投与を中止したが、肺炎と敗血症を併発して6月12日に死亡した。

同年4月の血液検査で再生不良性貧血との結

果が出ていたが、男性主治医(36)が検査結果を見落とし、入院するまで約3週間にわたって抗リウマチ剤の投与を続けていたという。

同病院は先月、3100万円を支払うことで遺族と合意した。瀬川院長は「誠に申し訳ない。今後このようなことがないように注意したい」としている。

### アトピー悪化は医師の過失として賠償命令

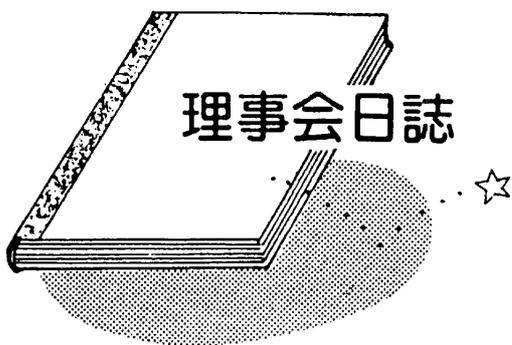
ステロイド剤の代わりに刺激の強い薬剤を用いた不適切な治療でアトピー性皮膚炎が悪化したとして、東京都の女児(8)と両親が、都内で皮膚科医院を運営する医療法人と院長に約1150万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、東京地裁は6月16日、医院側に約640万円の支払いを命じた。女児らの代理人弁護士によると、非ステロイド治療で医院側の過失を認めた判決は初めて。

判決理由で片山良広裁判長は「刺激やかゆみを感じさせる治療で、かえって症状を著しく悪化させ、全身衰弱をもたらした」と指摘。「医師として因果関係を知り得たのに治療を続けた過失がある」と判断した。

判決によると、女児は足に湿疹が消えなかったため2000年4月、この医院を受診し、アトピー性皮膚炎と診断された。院長の勧めで、レーザー照射や刺激の強い外用剤を使った非ステロイド治療を受けたが、直後から全身に炎症が広がり、高熱や脱毛などの症状が続いた。

医師は症状の急変を「別の病院で処方されていたステロイド外用剤を中断したことによるリバウンド」と説明し、漢方薬や小児への使用を禁じられた軟膏を処方したが症状はさらに悪化。女児は約3か月後に金沢大病院に入院してステロイド剤による治療を受け、約1年で回復した。

訴訟で病院側は「非ステロイド治療で知られた医院なので、患者も納得していたはずだ」と反論していた。



平成16年 6 月22日(火) 第 8 回全理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 国民健康保険診療(調剤)報酬明細書の過誤調整状況について  
協力することになった。  
平成14年10月の健康保険法の一部改正以降,特に給付割合等に関する過誤調整が増加している状況に伴うもの。国保連合会から,各保険医療機関宛に事務連絡文書により通知の予定である。
2. 6/26(土) (県医) 本会定例総会等について  
当日の役員の分担等の最終確認が行われた。
3. 本会外の役員等の推薦について  
2004年世界医師会(WMA)東京総会組織委員会委員の委嘱について  
秦会長の推薦が承認された。
4. 8/3(火) (日医) 都道府県医師会長協議会の開催について  
志多副会長の出席が決まった。秦会長は,日医理事として出席。
5. 本会医学賞について  
2論文が決定され,6月26日(土)開催の定例総会において医学賞が贈呈される。
6. 7/31(土)・8/1(日) (北海道) 全国有床診療所連絡協議会総会の開催について  
稲倉常任理事の出席が決まった。

7. 8/4(水)~8(日) (綾町) 小児糖尿病生活指導講習会開催に伴うご支援のお願いについて  
協力することが承認された。
  8. 不妊治療費助成事業の証明書記載に係る文書料について  
文書料については,有料にすることになった。
  9. 7/29(木) (日医) 都道府県医師会救急災害医療担当事連絡協議会について  
早稲田常任理事の出席が決まった。
  10. 業務委託について  
県主治医研修の委託について  
委託契約の締結が承認された。  
在宅医療の推進のための実地研修事業の委託について  
委託契約の締結が承認された。
  11. 7・8月行事予定について
  12. 本会救急医療委員会委員について  
委員の委嘱が承認された。
  13. その他  
7/13(火) 役職員懇談会の開催について  
承認された。  
職員夏期手当について  
規程により,承認された。
- (報告事項)
1. 週間報告について
  2. 6/15(火) (日医) 日医理事会について
  3. 6/16(水) 宮崎市郡医師会理事会について
  4. 6/18(金) 西諸医師会通常総会について
  5. 6/20(日) (奈良) 奈良県医師会館視察について
  6. 6/16(水) (県医) 広報委員会について
  7. 6/16(水) (宮崎市保健所) 県不妊治療助成事業検討会議について
  8. 6/18(金) (県医) 学校医部会理事会について
  9. 6/19(土) 宮崎市郡医師会定時総会について
  10. 6/19(土) 日向市東臼杵郡医師会定時総会について

## 医師連盟関係

## (報告事項)

1. 6/15(火) (日医)日医連常任執行委員会について
2. 西島英利選挙事務所開設のお知らせについて(日医連委員長より)
3. 6/24(木) (東京)西島英利選挙事務所開き及び出陣式のお知らせについて

## (協議事項)

1. 6/24(木) (宮崎神宮・山形屋前)参議院議員候補上杉光弘必勝祈願祭並びに出陣式について  
市内役員及び事務局により対応することになった。
2. 6/30(水) (都城市)都城市北諸県郡医師連盟臨時大会へのご出席について  
秦委員長等が出席することになった。

## 医師国保組合関係

## (協議事項)

1. 国保組合加入者の所得調査の実施について  
協力することが決定し、日州医事にも掲載することになった。

## 医師協同組合・エムエムエスシー関係

## (協議事項)

1. 組合員新規加入について  
申請の4件が承認された。

平成16年7月6日(火) 第4回常任理事会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 8/7(土) (福岡)九医連第264回常任委員会の開催について  
提案事項があれば、会長へ提出することになった。  
なお、本会担当により開催されるものであり、現在、九州各県医師会へは、提案事項等を照会中である。
2. 9/25(土) (宮観ホテル)九医連第1回各種協

## 議会の開催種目について

本会が九州医師会連合会の担当県で、九医連副会長である稲富沖縄県医師会長と相談のうえ、開催種目としては、1)医療保険、2)介護保険、3)地域医療各対策協議会を決定し、早速、九州各県医師会へ案内し依頼することになった。

なお、各県医師会からの提案事項は原則として、1題提出いただき、また、主として、日医への提言等をお願いすることになった。

3. 8/29(日) (日医)第111回日医臨時代議員会について

本会が九州医師会連合会の担当県により、早速、九州各県医師会へ日医臨時代議員会における質問事項を照会し、取り纏めのうえ、来る8月7日(土)福岡市において開催の九医連第264回常任委員会において検討のうえ、日医へ提出することになった。

本県からは、介護保険関係を提出の予定である。秦会長は、日医理事として、出席する。

4. 世界医師会準会員の更新について  
秦会長、大坪・志多副会長の3名の更新が承認された。
5. 表彰候補者の推薦について

公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

候補者3名の推薦が決まった。

救急医療事業功労者の知事表彰候補者の推薦について

候補者4名の推薦が決まった。

6. 共催名義等使用許可について  
H17/2/26(土) (県医) Medical Tribune 不眠症セミナー開催のお願いについて  
共催名義等使用が承認された。
7. 会計実地検査における指摘事項に係る保険医療機関への確認・点検の実施について

協力することが承認され、会員へ周知することになった。

なお、会計検査院による会計実地検査対象以外の保険医療機関に対しても、指摘事項について、確認・点検実施に伴うもの。

現在、県においては、市町村に対して、地方自治法に定める「技術的助言等」を実施しており、市町村においてのレセプト点検の方法等を助言しており、この技術的助言等を行ったときに、診療報酬の請求内容に疑義が生じた場合には、当該保険医療機関に赴いて内容の確認・点検を求めるものである。

8. 宮日総合美術展賞金申請のお願いについて  
協力することが承認された。

9. 臨床研修医師に対する日医医賠償保険への加入に関する件について

前回の調査結果に基づき、新制度創設の可否についての調査である。

臨床研修医師に対する日医医賠償保険への加入に関し、新会員区分を創設し日医医賠償保険の被保険者にする制度について、「進めて良い」と回答することになった。

10. 成年後見制度について

提案事項に対する2件の回答の対応については、担当理事に一任することになった。

なお、7月15日(木)に成年後見制度運営協議会の開催に伴うもの。

11. 9/16(木)日医)産業保健活動推進全国会議の開催について

濱砂常任理事の出席が承認された。

12. 行事予定について

7月及び8月行事予定が決まった。

13. その他

7/13(火)役員懇談会について

8月5日(木)に延期することになった。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 6月末日現在会員数について

3. 6/23(水)日医)日医医業税制検討委員会について

4. 6/26(土)県医)県医定例総会・医師総決起大会等について

5. 6/23(水)支払基金)支払基金幹事会について

6. 6/24(木)県医)県学校保健・学校安全に関する文部科学大臣表彰推薦審査会について

7. 6/28(月)東京)支払基金本部理事会について

8. 7/1(木)ホテル JAL CITY)九州ブロック保健所長会総会について

9. 6/23(水)福祉総合センター)県社会福祉協議会運営適正化委員会について

10. 第104回九州医師会医学会「ご案内」冊子の九州各県医師会長等への送付について

11. 6/23(水)県医)医学会誌編集委員会について

12. 6/25(金)県医)園医部会理事会について

13. 7/1(木)県医)社会保険事務局との打合せ会について

14. 6/23(水)県医)広報委員会について

15. 7/4(日)東京)日医医療安全推進者養成講習会について

16. 6/24(木)福祉総合センター)県社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業契約締結審査会について

17. 6/24(木)県医)県学校保健会理事・評議員会について

18. 7/3(土)県医)プライマリ・ケア研究会等について

19. 6/25(金)県医)勤務医部会理事会について

20. 6/29(火)県庁)地方公務員災害補償基金県支部審査会について

21. 6/30(水)県医)労災診療指導委員会について

22. 7/3(土)中央福祉相談センター)県痴呆性高齢者グループホーム連絡協議会総会・研修会について

23. 6/29(火)県医)県臨床研修運営協議会小委員会について

## 医師連盟関係

## (報告事項)

1. 6/23(水)福岡)福岡ブロック医師連盟主催  
西島英利支援総決起大会について
2. 6/24(木)上杉光弘必勝祈願祭・出陣式について
3. 6/30(水)上杉事務所)自民党県連支部長会  
について
4. 7/1(木)県医)県医連選対実行小委員会に  
ついて
5. 7/3(土)上杉事務所)上杉光弘選挙緊急対  
策会議について
6. 7/3(土)自民党県連)自民党県連選対会議  
について

平成16年7月13日(火) 第9回全理事会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 8/10(火)県医)各都市医師会長協議会の開  
催について  
8月3日(火)日医)都道府県医師会長協議  
会の報告を主として開催される。
2. 8/20(金)県警本部)県犯罪被害者等支援連  
絡協議会交通専門部会の開催について  
河野常任理事の出席が決まった。
3. 宮崎大学医学部4年生衛生・公衆衛生学実  
習に関するお願いについて  
協力することが承認され、本会役員4名  
が担当講師として対応することになった。  
実習期間は、9月13日(月)から9月17日(金)  
のなかで、都合のよい1日か2日間程度、  
学生6名の実習に伴うもの。
4. 本会外の役員等の推薦について  
日本医師会の委員会委員の委嘱について  
IT問題検討委員会委員として、富田常  
任理事に委嘱依頼であり、承認された。  
県防災会議の委員及び幹事の推薦につ

## いて

- 委員に秦会長、幹事に早稲田常任理事  
の推薦が決まった。
5. 会内委員会委員の委嘱について  
各種委員会委員等の人選について、内定  
した。
  6. 県内准看護学校専任教員研究協議会補助金  
交付について  
協力することが承認された。
  7. 産業廃棄物に関する税の構想案について  
(県税務課より)  
次回に理事会において検討することになっ  
た。なお、各都市医師会に通知し、意見を  
伺うことになった。

## (報告事項)

1. 週間報告について
2. 7/7(水)県医)医家芸術展世話人会について
3. 7/10(土)・11(日)宮観ホテル)九州地区医師  
会立共同利用施設連絡協議会について
4. 6/24(水)県医)互助会定時評議員会について
5. 7/10(土)県医)勤務医部会総会・講演会に  
ついて
6. 7/12(月)県医)救急医療委員会について
7. 各都市医師会からの報告について

## 医師連盟関係

## (報告事項)

1. 7/8(水)県医)県医連選対実行小委員会に  
ついて
2. 7/11(日)参議院議員選挙結果について

## 医師国保組合関係

## (協議事項)

1. 7/29(水)県医)医師国保通常組合会について  
開催が承認され、議事は、規約の一部改  
正、平成15年度事業報告、決算等。
2. 自家診療給付承認申請について  
申請のあった1件について、種々の問題  
があり、不承認になった。

## (報告事項)

1. 7/6(火) (県医) 医師国保定例事務監査について

平成16年 7月20日(火) 第5回常任理事会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 厚生功労に係る平成17年春の叙勲候補者の推薦について

候補者1名の推薦が決まった。

2. 共催名義等使用許可について

宮大医学部すずかけ祭より名義後援許可のお願いについて

後援名義使用が承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

日本医師会の委員会委員の委嘱について  
医師会共同利用施設検討委員として、  
早稲田常任理事に委嘱依頼であり、承認された。

県高齢者サービス総合調整推進会議委員  
及び寝たきり予防推進本部員の委嘱について

河野常任理事の推薦が承認された。

ナースセンター事業運営委員会委員の推薦について(県看護協会長より)

早稲田・夏田常任理事の推薦が決った。

県福祉サービス運営適正化委員会任期満

了に伴う委員候補者の推薦について  
大坪副会長の推薦が決定した。

4. 業務委託について

へき地出張診療所医療業務の委託について

委託契約の締結が承認された。

5. 県立病院のあり方について

継続審議することになった。

6. 診療情報の提供に関する指針および医療における個人情報保護の調査について

各理事の意見を伺って対応することになった。

7. 産業廃棄物に関する税の構想案について

ご意見等があれば、提出方をお願いされた。

8. 広報活動について

現事業は、従来どおり実施することとし、  
新規事業は、今後検討することになった。

9. 8・9月の行事予定について

## (報告事項)

1. 外国の医師等の受入れについて

2. 7/14(水) (県医1階) 広報委員会について

3. 7/15(木) (家庭裁判所) 成年後見制度運営協議会について

4. 7/15(木) (県庁) 成人病検診管理指導協議会  
乳がん部会について

5. 7/16(金) (日医) 日医年金委員会について

## 県 医 の 動 き

( 7 月 )

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 社会保険事務局との打合せ会(志多副会長他)<br/>九州ブロック保健所長会総会(会長)<br/>県医連選対実行小委員会(志多副会長他)</p> <p>3 プライマリ・ケア研究会世話人会(会長他)<br/>プライマリ・ケア研究会総会(会長他)<br/>県痴呆性高齢者グループホーム連絡協議会<br/>総会・研修会(河野常任理事)<br/>プライマリ・ケア研究会(会長他)<br/>上杉光弘選挙緊急選対会議(早稲田常任理事)<br/>帖佐悦男教授就任祝賀会(会長)</p> <p>4 日医医療安全推進者養成講習会(東京)<br/>(富田常任理事)</p> <p>6 医師国保定例事務監査(会長他)<br/>第4回常任理事会(会長他)</p> <p>7 医家芸術展世話人会(大坪副会長他)</p> <p>8 産業医研修会(実地)(日南)<br/>県医連選対実行小委員会(志多副会長他)</p> <p>10 勤務医部会総会・講演会(濱砂常任理事他)<br/>全医協連常務会(東京)(志多副会長)<br/>九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会<br/>懇親会(会長)</p> <p>11 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会<br/>(会長)<br/>全医協連理事会(東京)(志多副会長)<br/>全医協連広報部会(東京)(西村常任理事)</p> <p>12 産業医研修会(延岡)<br/>救急医療委員会(会長他)</p> <p>13 第9回全理事会(会長他)</p> <p>14 日本病院会 e-japan 戦略 における医療<br/>(東京)(事務局)<br/>広報委員会(富田常任理事他)<br/>損保ジャパンとの懇談会(会長他)</p> <p>15 宮崎政経懇話会(稲倉常任理事)<br/>成年後見制度運営協議会(早稲田常任理事他)<br/>成人病検診管理指導協議会乳がん部会<br/>(西村常任理事)<br/>産業医研修会</p> <p>16 日医年金委員会(河野常任理事)<br/>県外科医会理事会(大坪副会長)</p> <p>20 日医連常任執行委員会(日医)(会長)<br/>日医理事会(日医)(会長)<br/>日医医療に関する規制改革検討チーム会議<br/>(日医)(会長)<br/>第5回常任理事会(大坪副会長他)<br/>常任理事と各課長との懇談会(大坪副会長他)</p> | <p>21 県社会福祉協議会長期生活支援資金審査委<br/>員会(早稲田常任理事)</p> <p>22 県社会福祉協議会運営適正化委員会<br/>(大坪副会長)<br/>給与検討委員会(大坪副会長他)</p> <p>23 県環境審議会(早稲田常任理事)<br/>日医医業税制検討委員会(日医)<br/>(稲倉常任理事)<br/>県内科医会医療保険委員会(志多副会長他)<br/>県健康づくり協会ヘリカルCT肺がん検診<br/>制度管理委員会(会長)</p> <p>24 九医協連購買保険部会(福岡)<br/>(志多副会長他)<br/>産業医研修会(前期)(濱砂常任理事)<br/>延岡市医師会病院見学会・新築落成祝賀会<br/>(延岡)(会長他)</p> <p>26 支払基金本部理事会(東京)(会長)<br/>介護支援専門員研究大会準備委員会<br/>(河野常任理事)<br/>県産婦人科医会常任理事会(西村常任理事他)<br/>広報委員会(富田常任理事他)<br/>県内科医会理事会(志多副会長他)</p> <p>27 地方公務員災害補償基金県支部審査会<br/>(河野常任理事)<br/>県社会福祉協議会運営適正化委員会<br/>(大坪副会長)<br/>医協運営委員会(会長他)<br/>県医連執行委員・若手医連代表者合同会議<br/>(会長他)</p> <p>28 都道府県医師会医師年金担当職員連絡会<br/>(日医)(事務局)<br/>支払基金幹事会(会長)<br/>労災診療指導委員会(河野常任理事他)<br/>県社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業契<br/>約締結審査会(早稲田常任理事)<br/>宮崎市郡医師会例会(会長)</p> <p>29 都道府県医師会救急災害医療担当理事連絡<br/>協議会(日医)(早稲田常任理事)<br/>日医健康スポーツ医学委員会(日医)<br/>(河野常任理事)<br/>宮崎地方社会保険医療協議会(会長他)<br/>医師国保通常組合(会長他)<br/>県卒後臨床研修運営協議会小委員会<br/>(夏田常任理事他)</p> <p>30 日本消化器集団検診学会九州地方会会長招<br/>宴(会長)</p> <p>31 全国有床診療所連絡協議会総会(北海道)<br/>(稲倉常任理事他)</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 追悼のことば

日向市東臼杵郡医師会

寺尾博二先生

(昭和2年3月24日生 77歳)

弔 辞

謹んで寺尾博二先生のご逝去を悼み、ご霊前に、日向市東臼杵郡医師会を代表しまして、告別の辞を捧げます。

先生は元来お元気で、総会、懇親会、忘年会には欠かさずご出席になり、私たちとよく款談されていました。平成10年2月に体調を崩されましたが、お元気になり喜んでいましたところ、平成14年3月に短腸症候群で入院と自宅での療養、奥様や家族の手厚い看護それにご子息の公成先生の助言を受けられ、回復へと向かっているとお聞きしていましたが、7月1日午前8時58分、77歳の生涯を閉じ帰らぬ人となりました。先生の訃報に接し、唯々驚愕し、申し上げる言葉もなく深い悲しみに包まれました。奥様を始めご遺族の皆様方の悲しみとご落胆は如何ばかりかと、お察し申し上げ衷心よりお悔やみ申し上げます。生者必滅は世の習いとは申せ、まことに「槿花一日自為榮」の切なるものがあり、もはや先生の温顔に二度と拝することが出来ず残念でなりません。

先生は、昭和2年3月24日広島県広島市堺町にお生まれになり、第75期海軍兵学校に入学、しかし、終戦、方向を変えられ昭和25年3月に九州大学医学部をご卒業後、同大学付属病院インターン、第二外科入局(4月に医師免許を取得され)昭和27年5月から長崎県松浦市中島鉱業所病院

勤務、昭和29年12月から国立熊本病院産婦人科入局、昭和33年5月宮崎県北郷村第一診療所勤務、昭和34年1月児湯郡都農町立病院勤務、昭和38年4月広島県安芸郡音戸町立病院勤務、昭和39年5月宮崎県北郷村第二診療所開業、昭和44年5月宮崎県門川町旭町に寺尾医院開業、昭和49年9月に門川町西栄町に移転、寺尾産婦人科外科医院として現在に至っておられました。

衛生環境の不備、道路事情も悪く貧困も手伝い出産時は大変な苦労もあった、と聞かされたものでした。このような困難な状況の中、誠心誠意、30年間地域医療に大きく貢献をされました。

この間、昭和55年4月から59年3月まで4年間当医師会の理事、兼宮崎県医師会理事、平成になって2期4年間当医師会の理事として医師会の充実発展に寄与されました。

平成10年11月に門川町長から医療分野で町民功労賞、平成13年11月には宮崎県知事から公衆衛生功労賞、平成14年11月に「母子保健家族計画事業功労」として厚生労働大臣から表彰を受賞されました。これらの功績に会員一同、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

先生、惜別の情断ち難いものがありますが今ここに在りし日の先生の面影を偲びつ哀悼の誠を捧げ安らかなるご冥福をお祈り申し上げますとお別れの言葉と致します。

寺尾先生、どうぞ安らかにお眠り下さい。

平成16年7月3日

日向市東臼杵郡医師会

会長 甲斐文 明

## 会 員 消 息

平成16年7月末現在 会員数 1,661名

( A 会員 805名 , B 会員 856名 )

( 男 性 1,517名 , 女 性 144名 )

### 入 会

B	大橋 剛 (宮崎)	H16.6.1	(医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市新別府町江口950-1 ☎0985-26-1599
B	下窪 徹 (宮崎)	H16.6.1	(医)耕和会 迫田病院	宮崎市城ヶ崎3丁目2-1 ☎0985-51-3555
B	長田 淳 (延岡)	H16.6.1	国民健康保険 北浦診療所	東臼杵郡北浦町大字古江2492-1 ☎0982-45-3331
B A ²	内野 典子 (宮崎)	H16.7.1	宮崎市郡医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1 ☎0985-24-9119
B	黒川 由加 (宮崎)	H16.7.1	(医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市下北方町目後899 ☎0985-29-4700
B A ²	西村 卓朗 (宮崎)	H16.7.1	宮崎市郡医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1 ☎0985-24-9119
B	本部 浩一 (宮崎)	H16.7.1	宮崎社会保険病院	宮崎市大坪西1丁目2-1 ☎0985-51-7575
B A ²	劉 宏仁 (宮崎)	H16.7.1	(医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市矢の先町150-1 ☎0985-24-2605
B A ²	有川 圭介 (都城)	H16.7.1	(医)社団健仁会 有川医院	都城市上川東1丁目27-6-1 ☎0986-24-6677
A	川畑 眞治 (都城)	H16.7.1	川畑医院	都城市年見町8-2 ☎0986-46-3225
B	西村 勝次郎 (延岡)	H16.7.1	(医)隆誠会 延岡保養園	延岡市緑ヶ丘5丁目14-30 ☎0982-33-6396
B	林田 和之 (延岡)	H16.7.1	延岡市医師会病院	延岡市出北6丁目1621 ☎0982-21-1302
B	桑原 五美 (日向)	H16.7.1	(医)向洋会 協和病院	日向市大字財光寺1194-3 ☎0982-54-2806

### 異 動

A	河野 清秀 (南那珂) (医療法人へ変更)	H16.4.1	(医)社団月陽会 きよひで内科クリニック	日南市戸高1丁目6-10 ☎0987-22-5111
B A ²	立山 浩道 (宮崎) (勤務先変更等: B B A ² )	H16.7.1	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市恒久885-1 ☎0985-50-1800
A	橋口 典久 (宮崎) (医療法人へ変更)	H16.7.1	(医)隆典会 橋口医院	宮崎市江平中町7-18 ☎0985-24-3762
B A ²	松岡 篤 (宮崎) (勤務先変更等: B B A ² 宮大 宮崎)	H16.7.1	宮崎市郡医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1 ☎0985-24-9119

- B^{A2} 柏木 輝行 (都城) H16.7.1 橘病院 都城市中町15-24  
(会員区分変更: B B^{A2}) ☎0986-23-7236
- A 長倉 穂積 (都城) H16.7.1 (医)長倉医院 北諸県郡三股町大字樺山3491-2  
(会員区分変更: B^{A2} A 医療法人へ変更等) ☎0986-52-2109
- B^{A2} 長倉 泰郎 (都城) H16.7.1 " " (会員区分変更: A B^{A2} 医療法人へ変更等)
- B 落合 隆志 (延岡) H16.7.1 延岡市医師会病院 延岡市出北6丁目1621  
(勤務先変更等) ☎0982-21-1302
- B 葉 高文 (延岡) H16.7.1 延岡保養園 延岡市緑ヶ丘5丁目14-30  
(勤務先変更等: 日向 延岡) ☎0982-33-6396

## 退 会

- B 金丸 勝弘 (延岡) H16.5.31 国民健康保険北浦診療所 東臼杵郡北浦町大字古江2492-1  
☎0982-45-3331
- B^{A2} 市川 明子 (宮崎) H16.6.30 宮崎市郡医師会病院 宮崎市新別府町船戸738-1  
☎0985-24-9119
- B^{A2} 新宮 世三 (宮崎) H16.6.30 宮崎県赤十字血液センター 宮崎市大字恒久885-1  
☎0985-50-1800
- B 奈須 康子 (宮崎) H16.6.30 (医)耕和会 宮崎市城ヶ崎3丁目2-1  
迫田病院 ☎0985-51-3555
- B^{A2} 益山 松三 (宮崎) H16.6.30 宮崎市郡医師会病院 宮崎市新別府町船戸738-1  
☎0985-24-9119
- B^{A2} 山内 憲之 (宮崎) H16.6.30 " "
- B 稲森 美香 (南那珂) H16.6.30 串間市国民健康保険病院 串間市大字西方4351  
☎0987-72-1234
- B 森 治樹 (南那珂) H16.6.30 (医)文誠会 南那珂郡南郷町大字中村乙2101  
百瀬病院 ☎0987-64-0305
- B^{A2} 有馬 智英 (西諸) H16.6.30 (医)信和会 小林市大字堤2939  
小林保養院 ☎0984-22-2836
- B^{A2} 山内 耕 (西諸) H16.6.30 国民健康保険高原病院 西諸県郡高原町大字西麓871  
☎0984-42-1022
- B 田邊 龍樹 (宮崎) H16.6.30 宮崎社会保険病院 宮崎市大坪西1丁目2-1  
☎0985-51-7575
- B^{A2} 中川 博敏 (宮崎) H16.7.4 宮崎市郡医師会病院 宮崎市新別府町船戸738-1  
☎0985-24-9119

## 死 亡

- B 寺尾 博二 (日向) H16.7.1 寺尾医院 東臼杵郡門川町西栄町2丁目4-16  
(77歳) ☎0982-63-1447

## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成16年 7 月26日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。現在、下記のとおり情報が寄せられております。

お申込み、お問合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しております。ご覧下さい。

(1) 求人登録 27件 83人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤・非常勤別
内 科	32	常勤(23), 非常勤(9)
消 化 器 科	3	常勤
循 環 器 科	3	常勤(2), 非常勤(1)
呼 吸 器 内 科	2	常勤(1), 非常勤(1)
外 科	3	常勤
整 形 外 科	9	常勤(6), 非常勤(3)
泌 尿 器 科	4	常勤(3), 非常勤(1)
産 婦 人 科	2	常勤
眼 科	2	常勤(1), 非常勤(1)
放 射 線 科	3	常勤
リハビリテーション科	2	常勤
脳 神 経 外 科	4	常勤
神 経 内 科	1	常勤
精 神 科	11	常勤(9), 非常勤(2)
老 健 施 設	2	常勤

(2) 求職登録 6人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤・非常勤別
循 環 器 科	1	非常勤
精 神 科	3	常勤(1), 非常勤(2)
整 形 外 科	1	常勤
内 科	1	非常勤

(3) 病医院施設の譲渡・賃貸 5件

譲 渡 1件

賃 貸 4件

(4) 医療機器等の譲渡 1件

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所(宮崎県医師協同組合)

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師会館1階)

T E L 0985-23-9100(代) F A X 0985-23-9179

E m ail: iskyou @ m iyazakim ed.or.jp

## 7月のベストセラー

- |    |                        |                     |           |
|----|------------------------|---------------------|-----------|
| 1  | 新本格魔法少女りすか             | 西 尾 維 新             | 講 談 社     |
| 2  | 博士の愛した数式               | 小 川 洋 子             | 新 潮 社     |
| 3  | 百器徒然袋 - 風              | 京 極 夏 彦             | 講 談 社     |
| 4  | 空中ブランコ                 | 奥 田 英 朗             | 文 藝 春 秋   |
| 5  | グッドラック                 | A・ロピラス<br>F・T・デ・ベス  | ポ プ ラ 社   |
| 6  | 自省録                    | 中曾根 康 弘             | 新 潮 社     |
| 7  | いよいよインフレがやってくる!        | 浅 井 隆               | (株)第二海援隊  |
| 8  | ダ・ヴィンチ・コード(上)・(下)      | ダン・ブラウン<br>越前敏弥 = 訳 | 角 川 書 店   |
| 9  | 上司は思いつきでものを言う          | 橋 本 治               | 集 英 社     |
| 10 | 三谷幸喜のありふれた生活3<br>大河な日々 | 三 谷 幸 喜             | 朝 日 新 聞 社 |

宮脇書店本店調べ  
提供：宮崎店(宮崎市青葉町)  
☎(0985)23-7077

宮崎県医師協同組合だより

# 2004消耗品夏季キャンペーン

期間：7月20日(火)～8月20日(金)

価格は期間中の特別価格です。  
期間後は通常価格となります。  
従来のキャンペーン価格よりも  
お安くなりました。

1. ディスポーザブル注射針(ニプロ)
  - 1箱(100本入)..... ¥256
  - 1梱包(100本入×30)..... ¥7,680

2. ディスポーザブルシリンジ(ニプロ)

薬液取り違い防止のため、押し子に色を付けました。  
ピンク・ブルー・グリーンの種類を取り揃えております。

規格	容量	1箱	1梱包	規格	容量	1箱	1梱包
3cc (針無)	100入	798円	7,980円 (100入×10)	20cc (針無)	50入	882円	8,820円 (50入×10)
5cc (針無)	"	936円	9,360円 (100入×10)	30cc (針無)	"	2,100円	16,800円 (50入×8)
10cc (針無)	"	1,036円	10,360円 (100入×10)	50cc (針無)	25入	1,650円	13,200円 (25入×8)

3. 翼静針付輸液セット(21G 22G 23G)ニプロ
  - 1箱(50入)..... ¥2,475
  - 1梱包(50入×8)..... ¥19,800

4. 輸液セットIS-1A1(ニプロ)
  - 1箱(50入)..... ¥1,740
  - 1梱包(50入×8)..... ¥13,920

輸液セットISA-200A21(ニプロ) プラスチックピン針・エアー針なし

- 1箱(50入)..... ¥1,700
- 1梱包(50入×8)..... ¥13,600

5. 翼静針(ニプロ)
  - 1箱(50セット)..... ¥1,035
  - 1梱包(50セット×20)..... ¥20,700

6. 血管内留置針(セーフレット・キャス)
  - 1箱(50本入)..... ¥4,900

サイズ表

18G×2	20G×2	22G×1	24G×1
18G×1¼	20G×1¼	22G×1¼	24G×¾

7. バルーンカテーテル(ニプロ) 保険適用
  - 1箱(ラテックス・10入)..... ¥2,300(2管一般型)

8. ディスポ手袋(ニプロ)
  - (1)エキザムゴム手袋(S・M・L)(100枚入)..... ¥500
  - (2)エキザムプラスチック手袋(S・M・L)(100枚入)..... ¥400

期間中30,000円を1口として下記の  
いずれかの試供品を提供いたします。  
1. サージカルテープ(12mm)..... 1箱  
2. エキザムゴム手袋..... 1箱  
但し、衛生材料は除きます。

9. ユローズバック(UB-2HT)ニプロ
  - 1箱(5入)..... ¥1,238

7月1日より

新発売!

## (株)損保ジャパンの 「ドクタージャパン」(終身医療保険)

### < 特長 >

1. ご加入時よりも市場金利が上がった時には、保険料が下がります。  
しかも、市場金利が下がっても保険料はアップしません。
2. ご加入後にもしも三大疾病(がん, 急性心筋梗塞, 脳卒中)になった場合には、  
その後の保険料は免除されます。
3. 終身補償ですので、一生涯あらゆる病気・ケガの入院補償が対象になります。
4. 入院保険金には免責日数がありませんので、日帰り入院から補償されます。
5. 手続は健康状況に関する告知のみで、医師の診断は不要です。
6. 初回保険料からご指定の口座引き落としとなりますので、完全キャッシュレスです。
7. 加入タイプは、1日補償5,000円, 7,000円, 10,000円, 12,000円, 15,000円の5通り  
と1入院支払限度日数は60日タイプと120日のタイプの2通りがあります。
8. 保険料の払込は、終身払いと短期払い(60歳もしくは65歳までの払い込み)があります。

### < 保険料の目安 >

20歳代	月約 2,000円	前後
30歳代	月約 2,500円	前後
40歳代	月約 4,000円	前後

* 死亡補償より生存補償をご検討されている方にピッタリの保険です!

問合せ先

宮崎県医師協同組合・(有)エム・エム・エス・シー  
(担当)鳥井元・岩村

TEL 0985(23)9100 FAX 0985(23)9179

### 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成16年 7月23日現在

8		月			
1	日	9:00 (秋田) 日本産婦人科医会性教育指導セミナー	18 水		↑
		9:00 (北海道) 全国有床診療所連絡協議会総会 10:30 (東京) 全医協連休診共済会理事会	19 木	13:30 (日医) 日医医師会共同利用施設検討委員会 14:00 産業医研修会(実地) 15:30 (日医) 日医Ⅱ問題検討委員会	
2	月	19:00 宮崎大学医学部卒後臨床研修センター連絡会	20 金	13:30 県犯罪被害者等支援連絡協議会交通専門部会 16:30 互助会会計監査	
3	火	14:00 (日医) 都道府県医師会長協議会	21 土	14:00 日産婦学会宮崎地方部会学術集会	↑ 国保審査
		16:00 (日医) 世界医師会東京総会組織委員会 19:00 在宅医療のための「実地研修会」打合せ会		14:30 (熊本) 全国国保組合協会九州支部監査会 15:00 (熊本) 全国国保組合協会九州支部幹事会 15:30 (熊本) 全国国保組合協会九州支部総会 16:30 (熊本) 全国国保組合協会九州支部役員研修会	
4	水	13:30 産業医研修会			
5	木	18:30 第10回全理事会 19:00 役員懇談会			
6	金	18:00 県外科医会夏期講演会 18:30 医師年金制度普及懇談会	22 日	12:30 (福岡) 九医協連会計監査 14:00 (福岡) 九医協連理事会	↓ 社保審査
7	土	15:00 (福岡) 九医連常任委員会	23 月	19:00 県産婦人科医会常任理事会	↑ 査
		16:00 (福岡) 九州学校検診協議会幹事会 17:00 (福岡) 九州各県医師会学校保健担当理事者会		24 火	
8	日	9:30 (福岡) 九州ブロック学校保健・学校医大会	25 水	10:00 (日医) 日医社保指導者講習会 15:00 支払基金幹事会 15:00 労災診療指導委員会 19:00 広報委員会	↓ 医家
		12:00 (福岡) 九医連学校医会評議員会		26 木	
9	月	19:00 産業医研修会 19:00 九内協・九内懇準備委員会			
10	火	18:00 第11回全理事会 19:00 各郡市医師会長協議会	27 金		
11	水		28 土	14:00 (福岡) 日産婦医会九州各県支部長会・福岡県産婦人科医会50周年記念祝賀会 14:30 産業医研修会(実地) 15:00 (大分) 九州地区医師国保組合連合会理事会 15:30 (大分) 九州地区医師国保組合連合会全体協議会	↑ 芸術展
12	木	13:30 グループホームサービス評価委員会			
13	金				
14	土	(夏期休暇)			
15	日				
16	月	19:00 広報委員会	29 日	9:00 (日医) 九州ブロック日医代議員会連絡会議 9:30 (日医) 日医臨時代議員会	↓
17	火	13:00 (日医) 日医理事会	30 月	13:30 (東京) 支払基金本部理事会	↓
		16:00 (日医) 日医医療に関する規制改革検討チーム会議 19:00 第6回常任理事会 20:00 常任理事と各課長との懇談会		31 火	

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成16年 7 月23日現在

9		月			
1	水	15:00 県准看護師試験委員会	17 金	15:00 宮大医学部 4 年生公衆衛生学 実習	↑ 国 保 審 査 ↓
2	木	14:00 (東京) 全国医師国保組合連合会 理事会 13:30 県犯罪被害者等支援連絡協議会 幹事会	18 土	(沖縄) 九州医師協同組合通 常総会 10:00 (島根) 全国医師会共同利用施 設総会 14:00 県訪問看護ステーション連絡 協議会総会・研修会	
3	金		19 日	9:00 (島根) 全国医師会共同利用 施設総会	
4	土	13:30 介護支援専門員実務研修受講試 験対策研修会	20 月	(敬老の日) 10:30 (東京) 日医医療安全推進者養 成講習会	
5	日	12:00 (福岡) 日本プライマリ・ケア学 会九州支部世話人会	21 火	13:00 (日医) 日医理事会 19:00 第 8 回常任理事会 20:00 常任理事と各課長との懇談 会	
6	月		22 水	15:00 支払基金幹事会 16:00 産業保健推進センター運営 協議会	
7	火	19:00 第 7 回常任理事会	23 木	(秋分の日)	
8	水		24 金	19:00 広報委員会	
9	木	13:30 県犯罪被害者等支援連絡協議会 総会 15:00 産業医研修会(実地) 19:00 プライマリ・ケア研究会	25 土	15:00 九医連常任委員会 15:00 九医連各種協議会 15:00 九州ブロック広報担当理事 連絡協議会	
10	金		26 日	8:30 九医連親善ゴルフ大会	
11	土	14:30 産業医研修会(前期)	27 月	19:00 県産婦人科医会常任理事会	
12	日		28 火	18:00 医協運営委員会 19:00 第14回全理事会	
13	月	13:30 (東京) 支払基金本部理事会 19:00 産業医研修会	29 水	15:00 労災診療指導委員会	
14	火	15:00 宮大医学部 4 年生公衆衛生学 実習 19:00 第13回全理事会	30 木		
15	水	19:00 広報委員会			
16	木	10:30 (日医) 産業保健活動推進全国 会議			

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位。当日，参加証を交付。

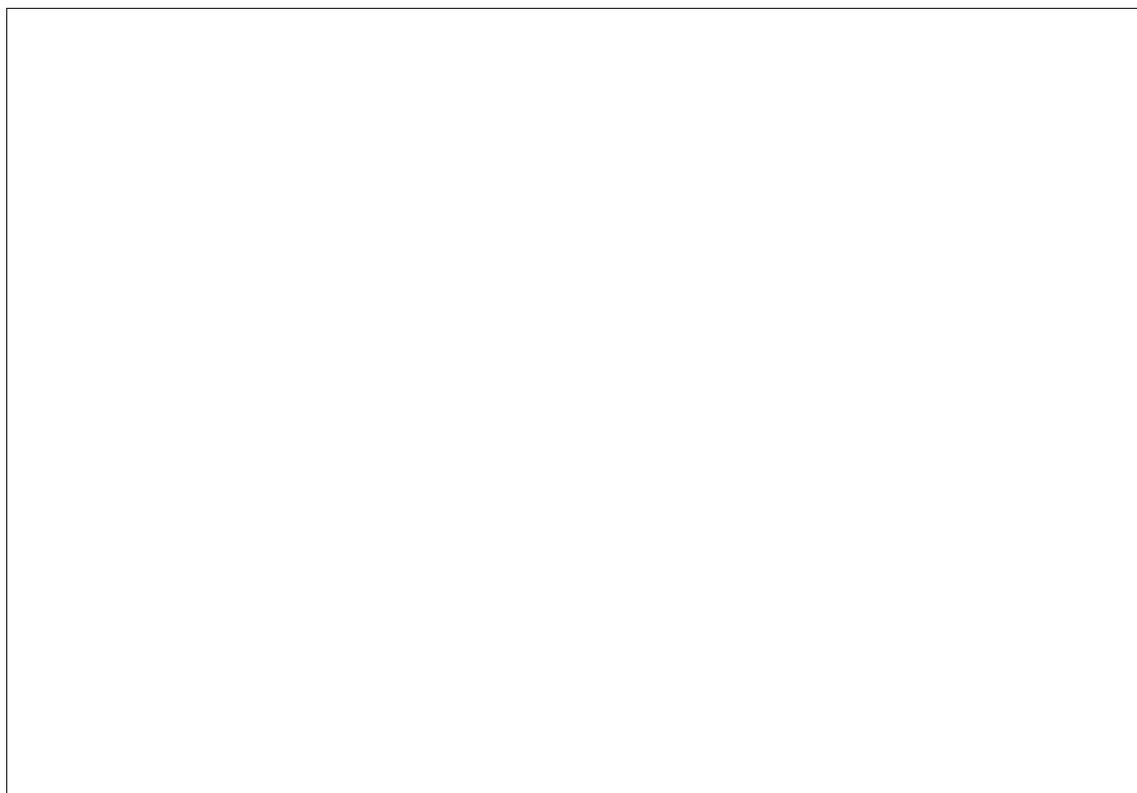
がん検診 = 各種がん検診登録・指定による研修会    太字 = 医師会主催・共催  
アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日 時	場 所 会 費	演 題	そ の 他
南那珂医師会医学 会 ( 5 単位 )	8 月 4 日(水) 18 : 30	南那珂医師 会館	画像診断と IV R , 放射線治療 宮崎県立日南病院放射線科 清水 勅君	共催 南那珂医師会 第一製薬(株)
延岡医学会学術講 演会 ( 5 単位 )	8 月 5 日(木) 18 : 45 ~ 20 : 30	延岡市医師 会病院	内視鏡的粘膜切開剥離法について 宮崎県立延岡病院内科 田井 博 炎症性腸疾患の最新の治療について 同病院内科 山本 章二郎	共催 延岡医学会 アストラゼネカ(株) 後援 延岡内科医会
木曜会学術講演会 ( 3 単位 )	8 月 5 日(木) 19 : 00 ~ 20 : 00	ホテル中山 荘 500円	2 型糖尿病治療 - 最新の話題 - 宮崎大学医学部第 3 内科 水田 雅也	主催 木曜会 共催 ファイザー(株) 山之内製薬(株)
日本東洋医学会専 門医制度委員会九 州支部宮崎県部会 学術大会(ひむか東 洋医学研究会) ( 3 単位 )	8 月 7 日(土) 13 : 30 ~ 17 : 40	県医師会館 6,000円 ( 専門医 ) 1,000円 ( 一般 )	痛みの漢方治療 日本東洋医学指導医 無敵 剛介 桂枝湯とその加減方について 日本東洋医学指導医 木下 恒雄	主催 日本東洋医学会専門 医制度委員会宮崎県 部会 後援 宮崎県医師会
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 ( 5 単位 )	8 月 16 日(月) 18 : 30 ~ 21 : 00	ガーデンベ ルズ小林	生活習慣病実地診療のポイント - 期 待されるスタチンの多面的作用 - 佐賀大学医学部循環器・腎臓内 科教授 野出 孝一	主催 西諸医師会 西諸内科医会 共催 ファイザー(株)
臨床医のための循 環器疾患研究会 ( 3 単位 )	8 月 19 日(木) 18 : 40 ~ 20 : 40	宮崎観光ホ テル	高コレステロール治療の最新情報 脂質・生活習慣病研究所長 中谷内科クリニック院長 中谷 矩章	主催 臨床医のための循環 器疾患研究会 興和(株) 日研化学(株)

名 称	日 時	場 所 会 費	演 題	そ の 他
第35回南那珂消化器カンファレンス ( 3 単位 )	8 月19日(木) 19 : 00 ~ 20 : 00	宮崎県立日南病院	症例検討会	主催 南那珂消化器カンファレンス
南那珂医師会医学会 ( 5 単位 )	8 月20日(金) 19 : 00 ~	南那珂医師会館	抗うつ薬 , 抗不安薬 , 睡眠薬の使い方 宮崎県立富養園精神科医長 小川 泰洋	共催 南那珂医師会 グラクソ・スミスクライン(株)
第25回宮崎てんかん懇話会 ( 3 単位 )	8 月20日(金) 18 : 30 ~ 20 : 30	宮崎観光ホテル 1,000円	てんかんの神経機構 - 脳幹機序解明のための実験的アプローチ 旭川医科大学神経医学講座教授 千葉 茂	共催 宮崎てんかん懇話会 協和発酵工業(株)
第24回宮崎救急医学会 ( 3 単位 )	8 月21日(土) 13 : 00 ~ 19 : 00	宮崎県立日南病院	ヘリコプター搬送による救急医療について 宮崎大学医学部救急医学講座教授 寺井 親則 他 一般演題	主催 宮崎救急医学会
西臼杵郡医師会学術講演会 ( 5 単位 )	8 月24日(火) 19 : 00 ~ 20 : 00	国民宿舎高千穂荘	内科医から見た誤嚥性肺炎 熊本大学大学院医学薬学研究部 呼吸器病態学分野教授 菅 守隆	主催 西臼杵郡医師会 共催 住友製薬(株)
日向市東臼杵郡内科医会学術講演会 ( 5 単位 )	8 月26日(木) 19 : 00 ~ 20 : 30	日向市東臼杵郡医師会館	糖尿病の1次予防2次予防について ( 仮 ) 古賀総合病院長 栗林 忠信	共催 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡医師会 武田薬品工業(株)
第 3 回宮崎 BCM 研究会 ( 3 単位 ) がん検診	8 月27日(金) 18 : 30 ~ 20 : 45	宮崎観光ホテル 500円	大腸癌化学療法の EBM と最近の話題 京都大学大学院医学研究科疫学研究情報管理学講座教授 坂本 純一	共催 宮崎 BCM 研究会 ワイズ(株)
第 2 回宮崎癌性疼痛学術講演会 ( 3 単位 ) がん検診	8 月27日(金) 18 : 40 ~ 20 : 30	宮崎観光ホテル	乳がんの癌性疼痛治療について 静岡県立静岡がんセンター緩和医療科部長 安達 勇	共催 宮崎緩和ケア研究会 協和発酵工業(株) ヤンセンファーマ(株)

名 称	日 時	場 所 会 費	演 題	そ の 他
宮崎県立日南病院 2次救命処置講習会 (3単位)	8月28日(土) 12:00 ~18:00	宮崎県立日 南病院	宮崎県立日南病院2次救命処置講習会 宮崎 ACLS 普及委員会 宮崎善仁会病院副院長 廣兼 民徳	主催 宮崎県立日南病院
宮崎県 Airway フォーラム (3単位)	8月28日(土) 16:00 ~18:30	宮崎観光ホ テル	喘息治療における抗ロイコトリエン 薬の位置付け 東京女子医科大学第1内科教授 玉置 淳 アレルギー性鼻炎の病態とロイコト リエン (財)脳神経疾患研究所附属総合 南東北病院アレルギー・頭頸部 センター所長 今野 昭義	共催 宮崎県内科医会 宮崎県耳鼻咽喉科医 会 小野薬品工業(株) 後援 宮崎県医師会
第27回宮崎整形外 科セミナー (3単位)	9月3日(金) 19:00 ~	MRT-micc 1,000円	骨疾患治療における骨代謝制御薬の 有用性 - ビスフォスフォネートを中心 - 産業医科大学整形外科教授 中村 利孝	共催 宮崎県臨床整形外科 医会 宮崎県整形外科医会 エーザイ(株) アベンティスファ ーマ(株)
第9回宮崎県呼吸 ケア研究会 (3単位)	9月18日(土) 15:00 ~18:30	JA AZM 500円	COPD 診療のトピックス - 呼吸リハビリテーションを中心に - 順天堂大学医学部呼吸器内科 教授 福地 義之助	共催 宮崎県呼吸ケア研究会 帝人在宅医療九州(株) 後援 宮崎県医師会 他
第7回宮崎神経眼 科セミナー (3単位)	9月18日(土) 18:30 ~20:30	宮日会館 2,000円	チャレンジ神経眼科学7 - 眼科腫瘍性疾患のアップデート - 大阪赤十字病院眼科部長 柏井 聡	共催 宮崎神経眼科ネット ワーク 参天製薬(株)
第31回宮崎県スポ ーツ医学研究会 (3単位)	10月2日(土) 15:00 ~18:20	県医師会館 1,000円	肩肘の投球障害の診断と治療 東京大学大学院総合文化研究科 生命環境科学系身体運動科学研究 室助教授 渡會 公治 アンチ・ドーピングの取り組み - 静岡県の対応について - 静岡県体育協会スポーツドクター 協議会長 鈴木 勝彦 内科的スポーツ障害とメディカル チェック 横浜市スポーツ医科学 センター長 村山 正博	共催 宮崎県スポーツ医学 研究会 ファイザー(株)

名 称	日 時	場 所 会 費	演 題	そ の 他
第11回宮崎県警察 医会総会・特別講 演 ( 3 単位 )	10月 2 日(土) 15 : 30 ~ 16 : 45	宮崎北警察 署	DNA 多型分析による親子鑑定と個人 識別 大分大学医学部法医学教授 岸田 哲子	主催 宮崎県警察医会
第54回日本法医学 会九州地方会 ( 3 単位 )	10月 9 日(土) 13 : 00 ~ 17 : 00	JA A ZM	心臓性突然死(仮) 東海大学医学部基盤診療学系法 医学教授 武市 早苗 他 一般講演多数	主催 宮崎大学医学部法医学講座 共催 宮崎県警察医会



## 診療メモ

## 非アルコール性脂肪性肝炎

はじめに

最近 非アルコール性脂肪性肝炎 (nonalcoholic steatohepatitis; NASH ナッシュ) が話題になっています。2003年12月17日、NHK ためしてガッテンで「あなどれない! 脂肪肝の新常識」として放送され、大きな反響がありました。これまで我が国では、単純性脂肪肝(非アルコール性)は予後の良い疾患とされ、医療従事者の間でもあまり注目されていませんでした。ところが、最近脂肪肝の一部には脂肪の沈着だけでなく、炎症細胞の浸潤、すなわち脂肪性肝炎(NASH)が生じ、さらに肝硬変や肝癌に進行する症例が少なからず存在することが明らかになりました。その結果、我が国でもNASHが俄然注目を浴びるようになったわけです。ほっといてはいけない脂肪肝: ナッシュ(NASH)とは、どのような疾患が簡単に解説します。

NASH の概念

1980年 Ludwigらは飲酒歴がないにも関わらず、肝組織所見がアルコール性肝炎に類似する症例を報告し、NASHという新しい疾患概念を提唱しました。

脂肪性肝障害はアルコール性と非アルコール性に分けられ、後者を非アルコール性脂肪性肝障害(nonalcoholic fatty liver disease; NAFLD)と呼びます(図1)。NAFLDは、さらに肝細胞に脂肪沈着のみが見られる脂肪肝(単なる変性疾患)と脂肪沈着に壊死炎症反応と線維化を伴うNASHに分けられます。NASHの一部は肝硬変や肝不全へ進行し、ときには肝癌が合併する例もあります。

NASH の発生機序

NASHの発生機序として“Two hits theory”が提唱されています。First hitは肝細胞への脂肪蓄積で、肥満、糖尿病、高脂血症などインスリン抵抗性が特に関与していると考えられています。続いて何らかのSecond hitが加わることにより、炎症細胞浸潤や線維化をきたします。Second hitにはインスリン抵抗状態に伴う脂肪

酸増加、脂質の過酸化、その他の原因で引き起こされるフリーラジカルや活性酸素といった酸化ストレスの関与、TNF- $\alpha$ などのサイトカイン、エンドトキシンなどの関与が考えられています。

NASH の頻度

肥満人口の多い米国では、成人4人に1人がNAFLD、30人に1人がNASHとされています。一方、我が国の成人ではNAFLDおよびNASHの有病率はそれぞれ1人/10人、1人/100人程度(75~100万人程度)と推測されていますが、詳細な患者数は不明です。我が国でも食生活の欧米化に伴い、肥満人口が倍増し、BMIが25を越す肥満人口も2,300万人に達していますのでNASHの患者数はますます増加することが予想されます。さらに、人間ドックにおける肝機能障害を有する成人の割合は、1984年には10%以下でしたが、最近では25%以上と倍増しています(図2)。アルコール性肝障害を除くと、その大部分は脂肪肝であり、その中にNASHが含まれていると考えられます。

NASH の診断(表1)

NASHに特徴的な血液検査は現在のところありませんので、肝生検による組織診断が必須となります。

NASH の臨床像

NASHは若年発症例もありますが、主に40~50代で発症し、性差はありません。インスリン抵抗性に関係の深い肥満、高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病を合併することが多く、トランスアミナーゼは50~100 IU/L、AST<ALT、軽度のGPT異常が見られます。

NASH の治療

現在確立された治療はありませんが、生活習慣病に合併するNASHの場合、まずやせること、すなわち適度な運動と食事療法が治療の基本となります。薬物治療としては、ウルソデオキシコール酸、インスリン抵抗性改善薬、ビタミンEなど多くの薬剤治療が試みられていますが、まだ標準的な薬物療法は確立していません。

### まとめ

欧米においても, Ludwig が初めて NASH を提唱した時は, あまり認知されていませんでしたが, 今では原因不明の肝硬変の大部分は NASH によるものと考えられています。我が国でもようやく NASH が注目されるようになりましたが, NASH の成因は多彩で, まだまだ不明な点が多

い症候群です。表 2 のような患者さんを診察された場合, 脂肪肝 = たいしたことないと, 短絡的に考えずに NASH も鑑別疾患のひとつに挙げていただき, 大学病院に紹介していただければ幸いです。

(宮崎大学医学部第二内科

楠元寿典, 林 克裕)

	脂肪肝 (fatty liver)	脂肪肝炎 (Steatohepatitis)
アルコール性 脂肪性肝障害 (AFLD)	アルコール性 脂肪肝 (AFL)	アルコール性 脂肪肝炎 (ASH)
非アルコール性 脂肪性肝障害 (NAFLD)	脂肪肝 (FL)	非アルコール性 脂肪肝炎 (NASH)

図 1 非アルコール性脂肪肝炎の概念

笹森典雄：人間ドック全国集計成績，日本病院会雑誌 49：2002から

図 2 全国人間ドック調査 6 項目異常頻度

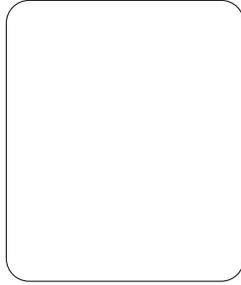
表 1 NASH の診断基準

1. 非飲酒者であること  
日本酒1合あるいはビール大瓶 1 本/日以下
2. 肝組織像が脂肪肝炎(steatohepatitis)
  - 1) 脂肪変性がある(中心静脈周辺, 大脂肪滴)
  - 2) 炎症がある(慢性肝炎と違い肝小葉内)
  - 3) 繊維化がある(アルコール性に似る?)
3. 他の肝障害の原因がないこと

表 2 どんなときに NASH を考えるか

1. アルコール摂取量が 20 g / 日以下
2. 他の肝疾患の否定  
(肝炎ウイルス, 自己抗体陰性)
3. ALT > AST で, 6 か月以上異常変動
4. エコー検査で脂肪肝の所見
5. CT 検査で, Liver / Splen CT 値比 < 0.9

## 私の本



## 戦争と人間

発行所 鉾 脈 社

定 価 1,400円

宮崎市 たにぐちレディースクリニック

たに ぐち し ろう  
谷 口 二 郎

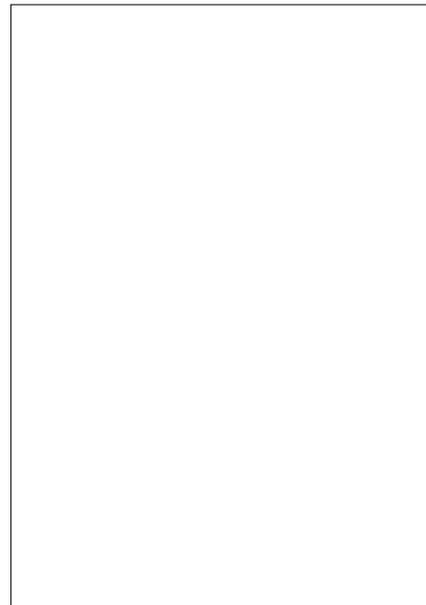
この本をまとめようと思ったきっかけは、故三上謙一郎氏(元MRT勤務、鉾脈社勤務)が平成元年8月に出版された「死者を追って」という本との出会いだ。そこには宮崎市の空襲の様子が克明に記されている。その中に父の日記から引用されている部分もあり、父の視点から戦争というものをもう一度見つめ直したいと思ったのだ。

昭和16年12月7日、太平洋戦争勃発。日本は戦争という巨大な渦に巻き込まれた。宮崎市の空襲で亡くなられた方は120名余り。その遺族の心境を思いやると、戦後生まれの私でさえ胸がしめつけられる。

父、谷口善実は明治34年10月20日宮崎で生まれた。昭和18年2月1日宮崎市上野町で産婦人科病院を開業し、昭和45年5月17日満67歳で永眠。亡くなるまで28年間、宮崎の産婦人科医療に献身的に貢献。父親としてもマイホームパパの一面と、完璧主義の一面を持ち合わせ、8人の子供を無事育てあげた。

父の日記を読むと、宮崎の戦争の様子、当時の医療、子供に対する愛情の深さなどが手に取るように分かる。戦後60年近く経った今、改めて戦争の無意味さ、悲惨さを再確認し、二度と戦争など起こしてはならないという願いを込め、父の日記を引用、公開することにした。

今年も間もなく終戦記念日。読んでいただけると幸いです。



## おしえて！ドクター 健康耳寄り相談室

MRT ラジオ

毎週土曜日 午前11時20分～11時30分 放送

## 医薬品の相互作用について

(平成16年6月12日放送)

内科医会推薦(薬剤師) 矢田部 正 弘

医薬品以外にも、食品、飲食物等でも相互作用が生じる恐れがあること

経口医薬品は吸収、分布、代謝、排泄の間に相互作用が生じること

相互作用によって作用増強または減弱につながる

具体例として、1)アルコールと抗ヒスタミン剤、抗うつ剤、安定剤等で中枢抑制作用増強、2)カリウム排泄型の利尿剤と甘草を含む健康食品や漢方薬で低カリウム血症、3)合成抗菌剤とアルミニウムやマグネシウムを含む制酸剤や胃薬による吸収阻害等、引き起こす可能性があること

相互作用防止のためには、医師または薬剤師に常用薬の医薬品名を伝えること、覚えられないようであれば実物持参かメモする等で正確な情報を伝えると同時に医薬品を安全に服用するための説明を正しく理解すること。

高齢化で増えている変形性  
膝関節症について

(平成16年6月19日放送)

整形外科医会 岡 本 義 久

中高年の太った女性に多い、治療がほぼ確立した病気で、体重の掛かる関節は無理をすると軟骨が磨り減って薄くなり、痛みがでてくる。階段の昇降を多くしたり、長い正座も痛める原因になる。O脚の人もありやすいので注意が必要。肥満の人は体重を減らす事が重要。重いものを持ち歩くのも膝に負担が掛かる。長時間の歩行、正座、しゃがむ姿勢は避けたい。関節軟骨は、体重をかけずに多く膝の曲げ伸ばしをすると、関節液によって栄養を受け軟骨が修復される。ウサギの実験で、両方の膝の軟骨に穴を開け、片方は固定、もう一方は24時間曲げ伸ばしをして、3週間後に観察すると、固定した方の膝の軟骨は、穴の周りも含めて破壊されていた。ところが、24時間曲げ伸ばしをした方の関節軟骨は完全に修復された。人間の場合も、これに近い事が起こる事が分かってきた。関節は、動く為に有るので、動かさないのはよくない事である。しかし、スクワットの様な、無理な運動は関節を痛める事になり、階段や立上がりの動作には、手摺を使うのがよい。太ももの前と外側の筋肉を強くして関節を安定させるのも大切。

水がたまると、水を抜いて、関節軟骨を保護する注射をする事が大変有効であることが分かってきた。よく、水を抜くと癖になるのでは？と聞かれるが、水はぬいても癖にはならない。よく手入れをすると水は溜まらなくなる。O脚の強い人で内側の軟骨がすり減った人には、O脚を直す手術がある。関節破壊が進んでしまった人には人工関節が、痛みがとれて普通に歩けるようになる良い方法である。膝に痛みを感じたら、早めに整形外科で指導を受けて、予防と早期治療で健康な毎日を送っていただきたい。

## 高齢化社会と漢方

(平成16年 6月26日放送)

東洋医会 長 井 章

いよいよ高齢化社会を迎え、今後ますます進む高齢化社会に漢方医療は有意義と考える。

漢方は1方剤で多数の病気の治療が可能であり、また、西洋薬との併用で薬剤の種類を減らし、患者の肉体的・経済的負担を少しでも軽くする事ができると考える。

高齢者に主に用いる漢方方剤について述べた。

脳卒中後遺症・血管性痴呆症には「釣藤散」、不隠や興奮状態には「抑肝散」「三黄瀉心湯」、睡眠障害には「酸棗仁湯」と「サフラン」、虚弱で食欲のない人には「六君子湯」「四君子湯」「人參湯」、気力がなく、食欲がない人には「補中益気湯」、便秘には「潤腸湯」「麻子仁丸」、腰痛・関節痛を伴う排尿時痛・排尿障害には「六味丸」「八味地黄丸」、腰痛を主体とする患者には「牛車腎気丸」、高齢者に多い冷えには「真武湯」「人參湯」、白内障には「八味地黄丸」、皮膚のかゆみに「当帰飲子」を用いる。

高齢者は多くの病気を患っており、肉体的・経済的にも負担がかかっている。漢方療法を併用する事によって負担を軽減する事ができると考える。

## 流行性角結膜炎

(平成16年 7月 3日放送)

眼科医会 齊 藤 真 美

流行性角結膜炎はウイルス性の結膜炎のひとつで、伝染力が強く、時に集団発生を起こす伝染性眼疾患です。ウイルス性結膜炎の中でも流行性角結膜炎は角膜炎も伴っており罹患期間が長いことが特徴です。

原因ウイルスは、アデノウイルス8, 4, 19, 37型で、潜伏期間が7～14日間ほどあり、この頃からすでに伝染力を有します。

症状は強い充血、異物感、流涙、眼脂、眼瞼腫脹、耳前リンパ節の腫脹・圧痛などで、初めは片眼に発症することが殆どです。

診断は臨床症状とウイルス抗原を検出する迅速診断キットを用いて行っていますが、結膜炎の初期や軽症例では偽陰性に出してしまうことがあります。

治療には混合感染を予防する意味で抗生剤の点眼薬と、角膜炎に対してステロイド剤の点眼薬を使用します。完治するのに2～3週間かかります。

感染は患者の涙、眼脂が着いたものを介して起こるため、患者は手洗いを徹底しタオルは専用のものを使用して他の人と使い回しをしないようにしたり、涙や眼脂、点眼時にこぼれてきた点眼液などの拭き取りにはティッシュペーパーを使用するようにします。

### 今後の放送予定

平成16年 8月14日	手のしびれについて	川 野 啓一郎
8月21日	今さら肺結核?	田 中 俊 正
8月28日	行楽シーズンを控えて食中毒の予防について	上 野 満
9月 4日	子供の尿漏れ、特におねしょについて	井 上 勝 己

## 読者の広場

### 読者からの投書 1

グリーンページに「医療先進国ニッポンを目指して」という経済同友会・医療改革委員会の論文が紹介されています。冒頭の文章と後書きを見なければ、グリーンページ全体があなたかも現医師会の主張のように錯覚してしまいます。少し気になりましたので、書かせてもらいました。

(平成16年7月12日 I生)

### 広報委員会の返事 1

ご意見ありがとうございます。確かに一部だけを読むと誤解を生むかもしれません。今後、題目やフォント、レイアウト等に工夫をしてみます。

### 読者からの投書 2

会長のページを読んで、出生率1.29という厳しい数字の持つ意味を考えさせられました。小泉改革に何となくだまされているような気がしていたのは、我々医師だけでなく国民全体も同様に実感していたのだと、今回の参議院選挙の結果が物語っているような気がします。

(平成16年7月13日 M生)

日州医事では、会員の皆さんからのご意見を募集しています。

(宮崎県医師会 FAX 0985 - 27 - 6550)

## ご意見・ご感想を FAX, E-Mailで 募集致します

宮崎県医師会 広報委員会

FAX : 0985-27-6550

E-Mail: genko@m iyazakim ed.or.jp

「読者の広場」では、読者の皆様から広くご意見・ご要望をお聞きしたいと思っております。本誌に対する感想だけではなく、県医師会執行部へのご意見もお答えできるものには答弁をお願いしたいと考えております。多数の応募をお待ちしております。

字 数 400字以内

注：FAX の際は、このページを切り取り、  
裏面の原稿用紙もご利用になれます。





## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。  
詳細につきましては、所属郡市医師会へお問い合わせください。

送付日	文 書 名	備 考
6月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過酸化水素に係る適正な販売等の徹底について</li> <li>・医療用医薬品再評価結果平成16年度(その1)について</li> <li>・硫酸に係る適正な販売等の徹底について</li> <li>・「平成16年度診療報酬改定関連通知の一部訂正について」等の通知について</li> </ul>	
6月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1595, 1596)</li> <li>・日本医師会認定健康スポーツ医制度健康スポーツ医学再研修会承認申請一覧</li> <li>・咽頭結膜熱(プール熱)増加に伴う注意喚起について</li> </ul>	
6月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳卒中登録事業における協力医療機関への訪問について</li> <li>・感染症・食中毒情報(1597)</li> </ul>	
6月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1598)</li> <li>・平成16年院内感染対策講習会について</li> </ul>	
6月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1599)</li> </ul>	
6月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1600, 1601)</li> </ul>	
6月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関における医療事故防止対策の強化・徹底について</li> <li>・第31回理学療法士・作業療法士養成施設等教員講習会の開催について</li> <li>・国民健康保険診療(調剤)報酬明細書の過誤調整状況について</li> <li>・感染症・食中毒情報(1602)</li> </ul>	
6月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「介護保険における福祉用具の選定の判断基準について」送付について</li> </ul>	
6月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1603, 1604)</li> <li>・平成16年度介護支援専門員実務研修受験試験「受験の手引き」について</li> </ul>	
6月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1605)</li> <li>・膵臓移植希望者選択基準及び腎臓移植希望者選択基準における型の取扱いについて</li> <li>・シンフィツム(いわゆるコンフリー)及びこれを含む食品の取扱いについて</li> </ul>	
6月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1606)</li> </ul>	
7月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診実施医療機関登録の確認について</li> <li>・腸管出血性大腸菌感染症対策の徹底について</li> <li>・病原微生物検出情報, 同普及版の送付について</li> </ul>	
7月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1607, 1608)</li> <li>・医療法施行規則の一部を改正する省令等の施行について</li> </ul>	

送付日	文 書 名	備 考
7月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1609)</li> <li>・「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について(日医より)</li> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正に伴う留意事項について</li> </ul>	
7月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結核患者収容モデル事業実施要領の一部改正について</li> <li>・「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について(県より)</li> <li>・感染症・食中毒情報(1610)</li> </ul>	
7月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1611, 12)</li> </ul>	
7月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品添加物「アカネ色素」を既存添加物名簿から削除することについて</li> <li>・感染症・食中毒情報(1613)</li> </ul>	
7月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「異種移植の実施に伴う公衆衛生上の感染症問題に関する指針」に基づく3T3J2株及び3T3N IH 株をフィーダー細胞として利用する上皮系の再生医療への指針について</li> <li>・「広告が可能な医師及び歯科医師の専門性に関する資格名簿について」の一部改正について</li> <li>・厚生労働省共済組合証の無効について</li> </ul>	
7月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1614)</li> <li>・腸管出血性大腸菌O-121感染症事例の発生について</li> </ul>	
7月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1615)</li> <li>・広告が可能な医師の専門性に関する資格名簿について</li> </ul>	
7月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1616)</li> <li>・「使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について」等の通知について</li> <li>・海外で発生した高病原性鳥インフルエンザに係る情報の提供について</li> <li>・非医療従事者による自動体外式除細動器(AED)の使用について</li> </ul>	
7月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤師法の一部を改正する法律について</li> <li>・「使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部訂正に伴う留意事項について」等の通知について</li> <li>・診療報酬請求書等の記載要領通知等の一部改正および厚生労働省「疑義解釈資料」の送付について</li> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について</li> <li>・第33回医療功労賞受賞候補者の推薦について</li> <li>・感染症・食中毒情報(1618)</li> </ul>	
7月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1619)</li> <li>・外国の医師等の受入れについて</li> <li>・平成16年度における組合員証などの確認について</li> <li>・「結核医療の基準」の一部改正について</li> </ul>	
7月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・食中毒情報(1620, 21)</li> <li>・タミフルカプセル75の取扱いについて</li> <li>・組合員証無効通知(裁判所共済組合より)</li> </ul>	



日州医事の表紙は毎月美しい写真に飾られます。今月号は8月らしく打ち上げ花火です。大淀川上空に開いた色彩豊かな光の大輪。一瞬の華やかさを見事に捉えた鮮烈な作品に、すっかり見とれました。

先月号から、はまゆう随筆を掲載しています。今月号は10名の先生方のエッセイを紹介し、いずれも含蓄に富む、日州医事ならではのお話です。どうぞお楽しみ下さい。なお、はまゆう随筆の掲載は今月までの予定でしたが、嬉しいことに予想を上回る多数の原稿を頂戴しました。このため、引き続き9月号まで掲載

いたします。ご協力ありがとうございました。

国の借金が遂に700兆円を突破したそうです。何とかしなければなりません。とはいえ、いかにすべきなのでしょう。今こそ私たち一人ひとりが、この国の将来について真剣に考えねばならない時代かと思えます。グリーンページでは政府が今年6月に策定した「骨太の方針2004」について、志多副会長が解説されています。ぜひ御一読下さい。

お知らせです。第104回九州医師会医学会が本年10月30日(土)、31日(日)の2日間、宮崎市一ツ葉のシーガイア・ワールドコンベンションセンター・サミットを主会場に行われます。今年は秦県医師会会長を学会長に、本県医師会が主催します。ご案内のパンフレットは既にお手元に届いていることと思いますが、歴史散歩バスツアーなど本県独自の企画も盛り込まれております。多数の参加をお願いいたします。

今年は血液センターから献血依頼の電話が時々かかってくる。昨年までは殆どありませんでした。人口の高齢化や、お礼の図書券の廃止などにより、献血者が平成11年度の6万8千人から、平成15年度は5万2千人まで、実に20%以上も減少したのだそうです。高齢化は仕方ないとしても、文庫本一冊程度の図書券を「売血にあたる」として廃止させた国の姿勢に私はどこか釈然としません。(荒木康)

* * * * *

この度広報委員を担当させて頂いてからふた月目の校正を終えました。今まで日州医事は拾い読みする程度でしたが、今回ねむたい目をこすりながら隅々まで読ませて頂くと会員皆様の興味あるお話、自分に為になる情報など話題満載であることに気がきました。医師であるにもかかわらず医師会活動からかなりかけ離れたところに居る自分と、自分と同じ様な興味をお持ちの先生の存在に気づき、少しばかりやっかいな役回りだな(すみません)と思う反面、とても素晴らしいチャンスをいただいた、という気持ちにもなってきました。次号の校正が楽しみです。(林)

* * * * *

参院選挙が終わりました。今回の選挙は日本医師会の結束力が問われる選挙でした。25万という得票数はどう評価されるのでしょうか。日本の医師数は約25万人だそうです。選挙離れや医師会離れの意味。医師会員間のネットワークの不備。いずれにせよ、医師会の存在意義は何なのでしょう。「日本の医療行政は国に一任し、それに従って肅々と医療に従事する」「目の前の患者のことだけを思い、将来の日本の医療のあり方などは考えない」と考えている医師はいないと思いますが、この選挙結果は微妙です。(丹)

* * * * *

この6月に、内閣府の経済財政諮問会議により「骨太の方針2004」が策定されました。この会議は、官・民を合わせた10名のメンバーで構成され(<http://www.keizai-shimin.go.jp/about/member.htm>)、一連の構造改革における小泉総理のシンクタンクの役割を果たしているものと思われます。この経済至上主義の10名の答申が、「ドグマ」としてトップダウンで強行されてはなりません。特に、我々の生活や生命に直結する社会保障問題等は、議論を尽しボトムアップ的に国策に反映させるべきだと思います。(川名)

(川名)

自宅のインターネット環境を1.5メガADSLから、100メガ光ケーブルに変更しました。さすがに快適ですが、今度はパソコン本体が役不足になったようで、またひと悩みしそうです。夏休みに入り、小学校の子供会のラジオ体操が始まりました。二人の娘と近くの公園迄出かけて行って、みんなで朝から一汗流しています。何十年も前から続く日本の夏の風物詩です。皆さんもいかがですか。(森)

* * * * *

月末に久しぶりに上京しました。東京は特別の猛暑で、ス・ツにタオル片手で歩き回りました。ゴルフ中の方がまだ汗が少なく、宮崎の方が涼しく感じました。私どもはお産後の処置をする時、新生児の保温のため冷房なしで行いますが、汗が目に入ったりして暑さで苦労します。これは上田孝先生の随筆に書かれた内的要因に入るのでしょくか。夏は平準化した医療を心がけたいものです。また、白尾一定先生のslow lifeの考え方には胎児の発育や自分の体調にも思い当たる事が多く、同感でした。(神尊)

* * * * *

この夏、皆様はどのようにお過ごしでしょうか。「大淀川河口に知る人ぞ知るポイントがある」と言っても、釣りの話ではありません。うだるような暑さを逆に楽しんでやろうと、以前に子どものために買ってあったボディ・ボードを車に積んで出かけてみました。海の大好きな子ども達は、30分もすると波を捕え、もう帰ろうとします。やっとボードにつかまっていた次男でさえ、今は一丁前に沖で波を待つぐさです。監視役として彼等を見守っていた私も、帰り際には「次はこの体重でも沈まないボードを買って挑戦しよう」と考えていました。今宵は、冷えたビールを片手にbig waveに乗った夢でも見て涼しく過ごすとしてよう。(比嘉)

(比嘉)

## 日州医事投稿についてのお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、御意見などの投稿を随時受け付けております。以下の要領に依ってご投稿ください。

1. 原稿は400字詰原稿用紙10枚以内（約4,000字以内）  
写真・図（カラー印刷はできません）も歓迎しますが、これも含めて、上記以内になるようにお願いします（写真1枚は約300字に相当します）。
2. 原稿の採否、掲載月は広報委員会にご一任いただきます。  
なお、編集の都合により、用字・句読点等について修正することがあります。
3. 原則として、原稿はお返しいたしません。返戻を希望される方はその旨ご連絡ください。
4. 投稿後の加筆修正はご遠慮ください。
5. 原稿用紙は県医師会で用意しておりますが、市販の原稿用紙やワープロ印字のものでも結構です。原稿は、郵送の他、FAX、電子媒体にても受け付けております。テキスト形式で保存し、ディスクまたはメールにて下記へお届けください（投稿項目、タイトル、ご氏名を先頭に付記してください）。

宛 先：〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

宮崎県医師会広報委員会

FAX 0985-27-6550

E-mail: genko@m iyazakim ed.or.jp

本誌記事に対するご意見やご要望、アイデアなどもお待ちしております。

日 州 医 事 第660号（平成16年8月号）

（毎月1回10日発行）

発行人 社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

TEL 0985-22-5118(代) FAX 27-6550

<http://www.miyazakimed.or.jp/>

E-mail: office@m iyazakim ed.or.jp

代表者 秦 喜 八 郎

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 川 名 隆 司

副 委 員 長 森 継 則

委 員 田 尻 明 彦, 山 内 励, 荒 木 早 苗

長 嶺 元 久, 神 尊 敏 彦, 比 嘉 昭 彦

荒 木 康 彦, 林 透

担 当 副 会 長 大 坪 睦 郎

担 当 理 事 富 田 雄 二, 丹 光 明

事 務 局 学 術 広 報 課 久 永 夏 樹, 竹 崎 栄 一 郎

カ ッ ト 武 藤 布 美 子

印 刷 所 有 限 会 社 ケ イ ・ プ ロ デ ュ ー ス

定 価 350円(但し 県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)

● 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。